

臺灣警察遺芳錄

特261

504



\*0008138000\*

0008138-000

特261-504

台灣警察遺芳錄

台灣總督府警務局

ABH



臺灣警察遺芳錄

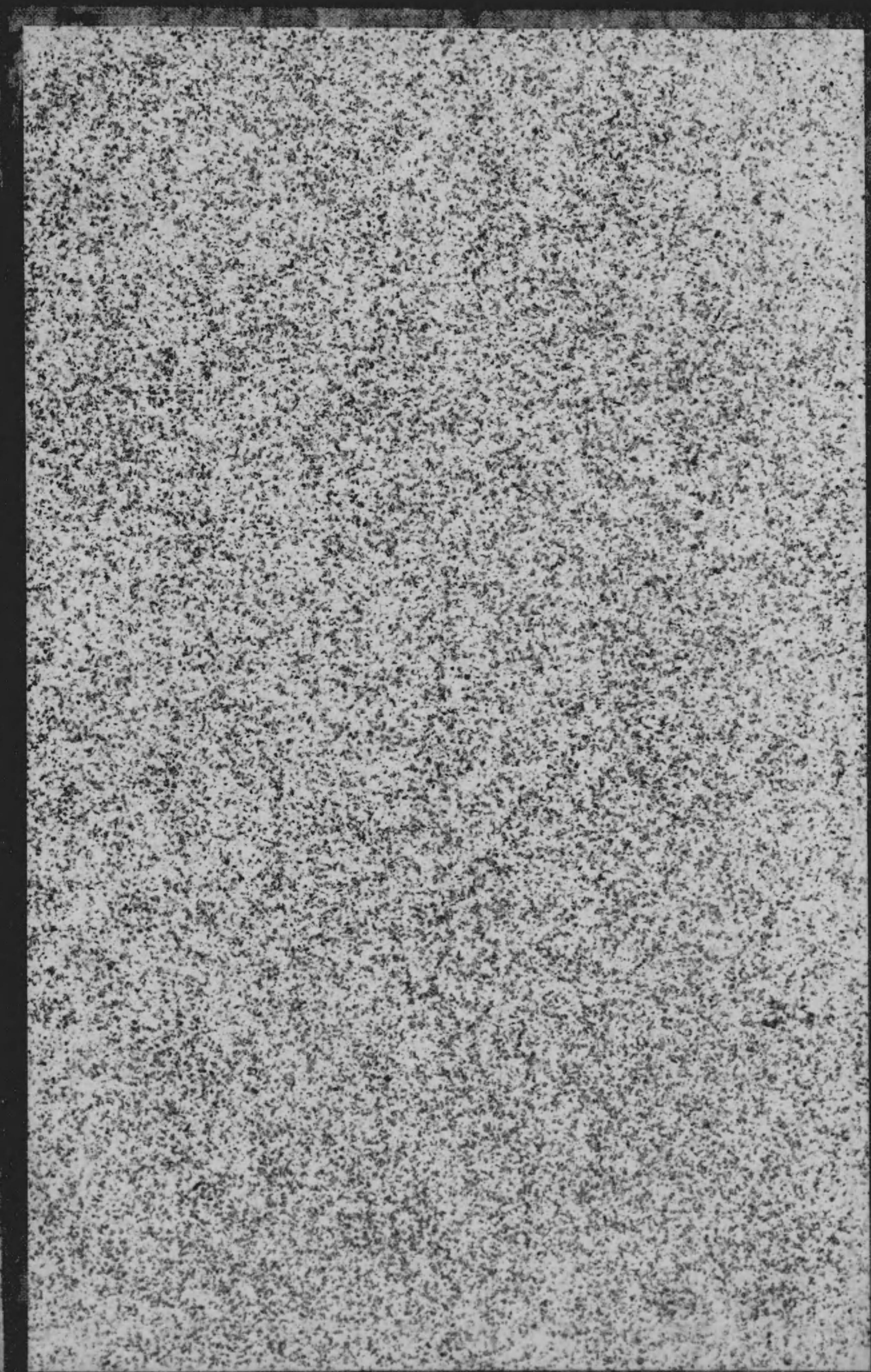
特251

5

509

不足







冊261  
504



臺灣警察遺芳錄





# 臺灣警察遺芳錄 目次

臺灣警察遺芳錄刊行の辭	……………	(卷頭)	……………	一
凡 例	……………	(卷頭)	……………	一
寫 眞 版	……………	(卷頭)	……………	一—二七
第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者	……………	(本文)	……………	一
第二部 蕃地に於ける殉職者	……………	(本文)	……………	三九
第三部 暴動其他公務上の殉職者	……………	(本文)	……………	一九七
第四部 在職中の死亡者	……………	(本文)	……………	二三一
氏名索引(アイウエオ順)	……………	(卷末より)	……………	一



五月 臺灣 (マニラ) …… (一)

六月 臺灣 (マニラ) …… (二)

七月 臺灣 (マニラ) …… (三)

八月 臺灣 (マニラ) …… (四)

九月 臺灣 (マニラ) …… (五)

十月 臺灣 (マニラ) …… (六)

十一月 臺灣 (マニラ) …… (七)

十二月 臺灣 (マニラ) …… (八)

一月 臺灣 (マニラ) …… (九)

二月 臺灣 (マニラ) …… (十)

三月 臺灣 (マニラ) …… (十一)

四月 臺灣 (マニラ) …… (十二)

五月 臺灣 (マニラ) …… (十三)

六月 臺灣 (マニラ) …… (十四)

七月 臺灣 (マニラ) …… (十五)

八月 臺灣 (マニラ) …… (十六)

九月 臺灣 (マニラ) …… (十七)

十月 臺灣 (マニラ) …… (十八)

十一月 臺灣 (マニラ) …… (十九)

十二月 臺灣 (マニラ) …… (二十)

一月 臺灣 (マニラ) …… (二十一)

二月 臺灣 (マニラ) …… (二十二)

三月 臺灣 (マニラ) …… (二十三)

四月 臺灣 (マニラ) …… (二十四)

五月 臺灣 (マニラ) …… (二十五)

六月 臺灣 (マニラ) …… (二十六)

七月 臺灣 (マニラ) …… (二十七)

八月 臺灣 (マニラ) …… (二十八)

九月 臺灣 (マニラ) …… (二十九)

十月 臺灣 (マニラ) …… (三十)

十一月 臺灣 (マニラ) …… (三十一)

十二月 臺灣 (マニラ) …… (三十二)

一月 臺灣 (マニラ) …… (三十三)

二月 臺灣 (マニラ) …… (三十四)

三月 臺灣 (マニラ) …… (三十五)

四月 臺灣 (マニラ) …… (三十六)

五月 臺灣 (マニラ) …… (三十七)

六月 臺灣 (マニラ) …… (三十八)

七月 臺灣 (マニラ) …… (三十九)

八月 臺灣 (マニラ) …… (四十)

九月 臺灣 (マニラ) …… (四十一)

十月 臺灣 (マニラ) …… (四十二)

十一月 臺灣 (マニラ) …… (四十三)

十二月 臺灣 (マニラ) …… (四十四)

一月 臺灣 (マニラ) …… (四十五)

二月 臺灣 (マニラ) …… (四十六)

三月 臺灣 (マニラ) …… (四十七)

四月 臺灣 (マニラ) …… (四十八)

五月 臺灣 (マニラ) …… (四十九)

六月 臺灣 (マニラ) …… (五十)

七月 臺灣 (マニラ) …… (五十一)

八月 臺灣 (マニラ) …… (五十二)

九月 臺灣 (マニラ) …… (五十三)

十月 臺灣 (マニラ) …… (五十四)

十一月 臺灣 (マニラ) …… (五十五)

十二月 臺灣 (マニラ) …… (五十六)

一月 臺灣 (マニラ) …… (五十七)

二月 臺灣 (マニラ) …… (五十八)

三月 臺灣 (マニラ) …… (五十九)

四月 臺灣 (マニラ) …… (六十)

五月 臺灣 (マニラ) …… (六十一)

六月 臺灣 (マニラ) …… (六十二)

七月 臺灣 (マニラ) …… (六十三)

八月 臺灣 (マニラ) …… (六十四)

九月 臺灣 (マニラ) …… (六十五)

十月 臺灣 (マニラ) …… (六十六)

十一月 臺灣 (マニラ) …… (六十七)

十二月 臺灣 (マニラ) …… (六十八)

一月 臺灣 (マニラ) …… (六十九)

二月 臺灣 (マニラ) …… (七十)

三月 臺灣 (マニラ) …… (七十一)

四月 臺灣 (マニラ) …… (七十二)

五月 臺灣 (マニラ) …… (七十三)

六月 臺灣 (マニラ) …… (七十四)

七月 臺灣 (マニラ) …… (七十五)

八月 臺灣 (マニラ) …… (七十六)

九月 臺灣 (マニラ) …… (七十七)

十月 臺灣 (マニラ) …… (七十八)

十一月 臺灣 (マニラ) …… (七十九)

十二月 臺灣 (マニラ) …… (八十)

一月 臺灣 (マニラ) …… (八十一)

二月 臺灣 (マニラ) …… (八十二)

三月 臺灣 (マニラ) …… (八十三)

四月 臺灣 (マニラ) …… (八十四)

五月 臺灣 (マニラ) …… (八十五)

六月 臺灣 (マニラ) …… (八十六)

七月 臺灣 (マニラ) …… (八十七)

八月 臺灣 (マニラ) …… (八十八)

九月 臺灣 (マニラ) …… (八十九)

十月 臺灣 (マニラ) …… (九十)

十一月 臺灣 (マニラ) …… (九十一)

十二月 臺灣 (マニラ) …… (九十二)

一月 臺灣 (マニラ) …… (九十三)

二月 臺灣 (マニラ) …… (九十四)

三月 臺灣 (マニラ) …… (九十五)

四月 臺灣 (マニラ) …… (九十六)

五月 臺灣 (マニラ) …… (九十七)

六月 臺灣 (マニラ) …… (九十八)

七月 臺灣 (マニラ) …… (九十九)

八月 臺灣 (マニラ) …… (百)

## 臺灣警察遺芳錄刊行の辭

臺灣總督府警務局長 從四位 勳三等 二 見 直 三

明治二十七年、八年戰役の結果に依り臺灣島が日本の領有に歸したのは明治二十八年五月八日で同日帝國政府は海軍中將樺山資紀を海軍大將に昇進臺灣總督に任命併せて臺灣諸島接收の使命を兼帶せしめ此旨清國政府に通牒する處があつた。

曩是臺灣島内に於ては臺灣島の日本政府歸屬を喜ばざる徒輩多く或は本國政府に陳情し或は列國に對し日本政府への干渉を策謀し遂に前巡撫唐景崧を推して臺灣民主國を建設し此の旨列強に通電して臺灣獨立を策する状態にあつた。之が爲め清國政府は理由を臺灣島内の騷擾に藉り其引渡しを遷延するの態度に出でた。然し既に臺灣島が帝國政府の領有に歸した以上島内の鎮撫は日本政府の責任である。帝國政府は斷乎清國政府と形式上の授受を爲すべく全權委員の任命を求めたので清國政府も已むなく李經方を全權として樺山全權と接衝せしむることになつたものである。而して島内の狀況如是なるを以て李經方は上陸を肯へんぜず樺山總督も之を諒察して基隆港外其の乗船横濱丸船中に於て接衝し直に之を終了した。是れが六月二日の



こととして李全權は同深夜直に乗船を馳せて清國に歸還した。

この前後島内の状況を偵察爲した結果に依れば臺灣官民の反抗は意想外に激しいものがある。樺山總督は臺灣守備の爲め渡臺を命ぜられた近衛師團に對し三貂灣より敵前上陸を敢行し島内の反抗分子の武力掃蕩を命ずるに至つた。かくて五月二十九日澳底より上陸した師團主力は六月四日基隆を同七日には先遣部隊の一部を以て臺北城を占領するに至り樺山總督も六月五日基隆より上陸九日臺北入城同十七日には始政紀念式典を擧ぐるに至つた。曩の臺灣巡撫唐景崧は皇軍の臺北入城前密に清國に脱歸し臺北附近の清兵は風を喰ふて遁散したのであるが新竹以南は反日分子の妄動で騷擾音ならざるものがあつた。

於茲近衛師團は直に之が討平に従事しなければならなかつた。然し反徒の抵抗は豫想外に強いものがあり加へて氣候風土の瘴癘は師團兵力を半減する結果を來し容易に全土平定の目算がつかなかつたので總督は已むなく中央政府に應援軍隊の派遣を求むる處があつた。

此の要求は容れられ聽て間もなく高島副總督と共に第二師團其他の部隊増派となつて賊據臺南城三道攻略の作戰は定められた。奈何に反抗意識が強烈であつたとし

ても固より精銳なる我軍隊に敵すべくもなく十一月には反將劉永福の占據する臺南城も陥落し島内は茲に一應平定を見征臺軍も解隊近衛師團は凱旋するに至つた。

曩は樺山總督渡臺當時本島には未だ警察官は一人も在らず警察制度も布かれて居なかつた。新領土の開拓の爲めには警察官の活動に俟つべき處少くないので始政勿々總督府の警保課長は内地に歸り全國から前職現職の警察官を募集して歸臺した。其第一回が到着したのは九月末で五百餘名である。直に平定せられた地方に配置し警察官署を構成して執務せしむることになつたが當時は軍政實施中であつたので警察官は戒嚴令下に於ける軍隊の補助的任務に服するより致し方がなかつた。前叙の如く十一月には全島平定翌年四月一日から民政が開始せられたのであるが領臺の初期には土匪の跋扈が甚しく軍隊警察は之が平定に寧日なかつた。漸く其の鎮定を見たのは明治三十五年のことと前後實に八年の長日月を要してゐる。之れが掃蕩鎮壓には守備隊憲兵警察官には少からざる犠牲を拂はせられてゐるのである。

土匪の騷擾と相前後して本島の治安を害したものに生蕃がある。明治三十一年頃から昭和六、七年迄に之が鎮壓綏撫に従事した警察職員中の犠牲は實に巡查以上のみを以てしても一千に垂んとする状態にある。



更に本島に跋扈せる悪疫も臺灣難治の大原因を爲せるもの、一つである。ペスト、コレラ、赤痢、チフスの傳染病よりマラリア、脚氣等の風土病に至るまで各種の疾病に罹染し在職中死亡するに至つたものも數千の多きに達する。其他特有の無賴漢の跋扈等を鎮壓せんとし或は亂民の暴舉騷擾等の爲めに害を蒙つた警察官も尠くない。

領臺四十有餘年曾て清國政府をして難治の嘆を發せしめ延て化外の語を發するに至らしめた本島も改隸以後歴代當局の施設經營宜しきを得て文運の隆昌産業の發展衛生状態の改善等今や寸毫往日の面影を留めざるに至つてゐる。この治績の一半は既往四十年に於ける警察官の辛勞に歸せねばならぬ。この意味に於て警察界にあつて職に斃れたものは正に臺灣統治上の尊い人柱と謂はねばならぬのである。

是れ茲に警察界殉職先人の事跡を編纂し其の芳烈を千載に傳へんとする所以である。

## 凡例

一、本書は明治二十八年臺灣警察が創始せられて以來昭和十二年末迄に本島警察官在職中死歿せる者の官職氏名原籍死歿理由を輯録し臺灣統治の犠牲となつた者の芳名を後世に遺さんとして編纂したものである。

二、本書の内容は本島警察在職中の死亡者三千五百六十一名中

第一部 領臺後明治三十五年迄の匪擾に殉職した者二百三十九名

第二部 蕃地に於ける殉職者一千八十七名

第三部 暴動其他公務上の殉職者二百二十七名

第四部 在職中の病歿者二千八名

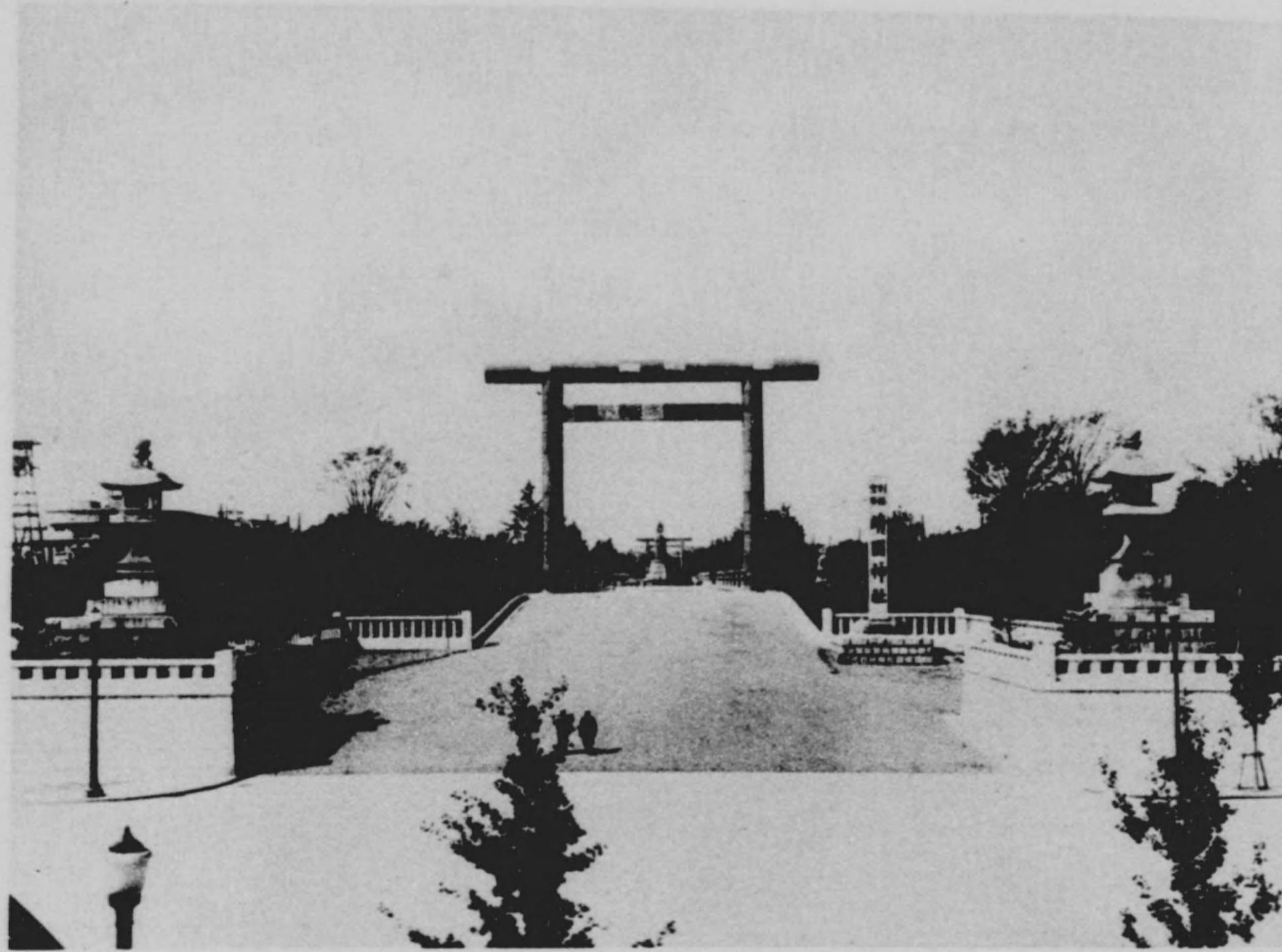
に分ち死歿年月日順に掲載し尙各部の初頭に簡單なる説明を付してある。

三、本書は各州廳死歿者名簿其他警察沿革諸資料を基準として編纂したるものであるが時に資料散逸し今遡て調査の由ないものもある。警察官以外警手隘勇官役人夫等も亦掲載せらるべきであるが現今到底完全なる資料を得難いので巡查以上の警察關係職員竝に警察本署(警務局)員に限定した。

四、殉職者中靖國神社及昭和八年迄に建功神社に合祀せられた者は其旨附記してあるが當然合祀



社 神 る れ 祀 を 官 察 警 職 殉



〔上〕 靖 國 神 社



〔下〕 建 功 神 社

凡 例

二

さるべき者にして選に洩れたと思料せらるゝ者もある。尙昭和十二年勃發せる支那事變に出征死亡した者の多くは靖國神社に合祀せられてゐるが尙査定未了の者もあるので一括して記述を保留した。

五、殉職警察官中特に功績のあつた者の事蹟の詳細に關して別に警察官彰功録編纂の計畫がある。尙死歿警察官の病名の判明せるものを掲げたのは之が何等か統計的資料に役立つことあるべきを豫想してのことである。

紀元二千六百年建國祭の日

警務局警務課長 細 井 英 夫



土 匪 討 伐 時 代

〔上〕 山地捜査中の大島警視總長の一行

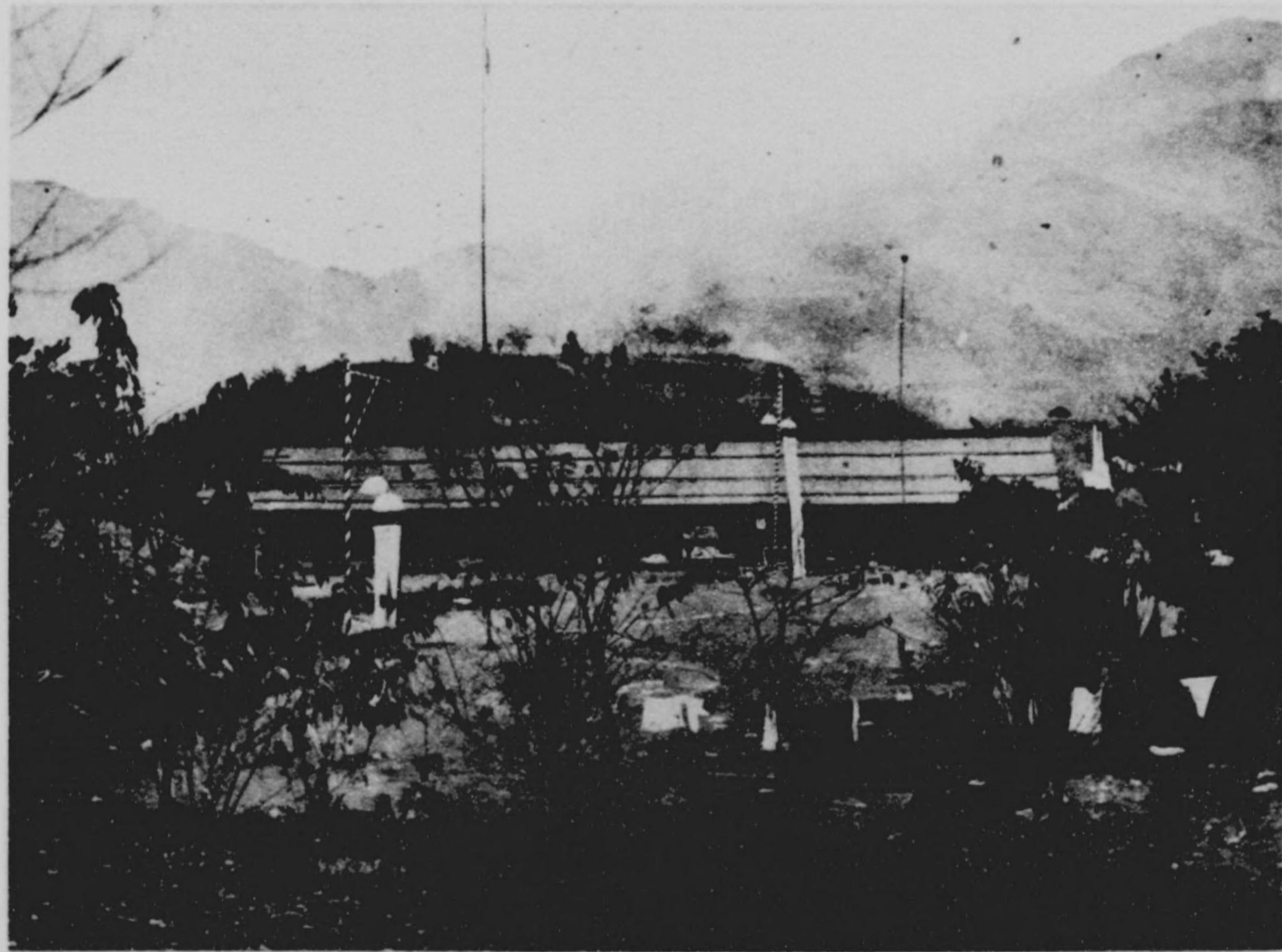
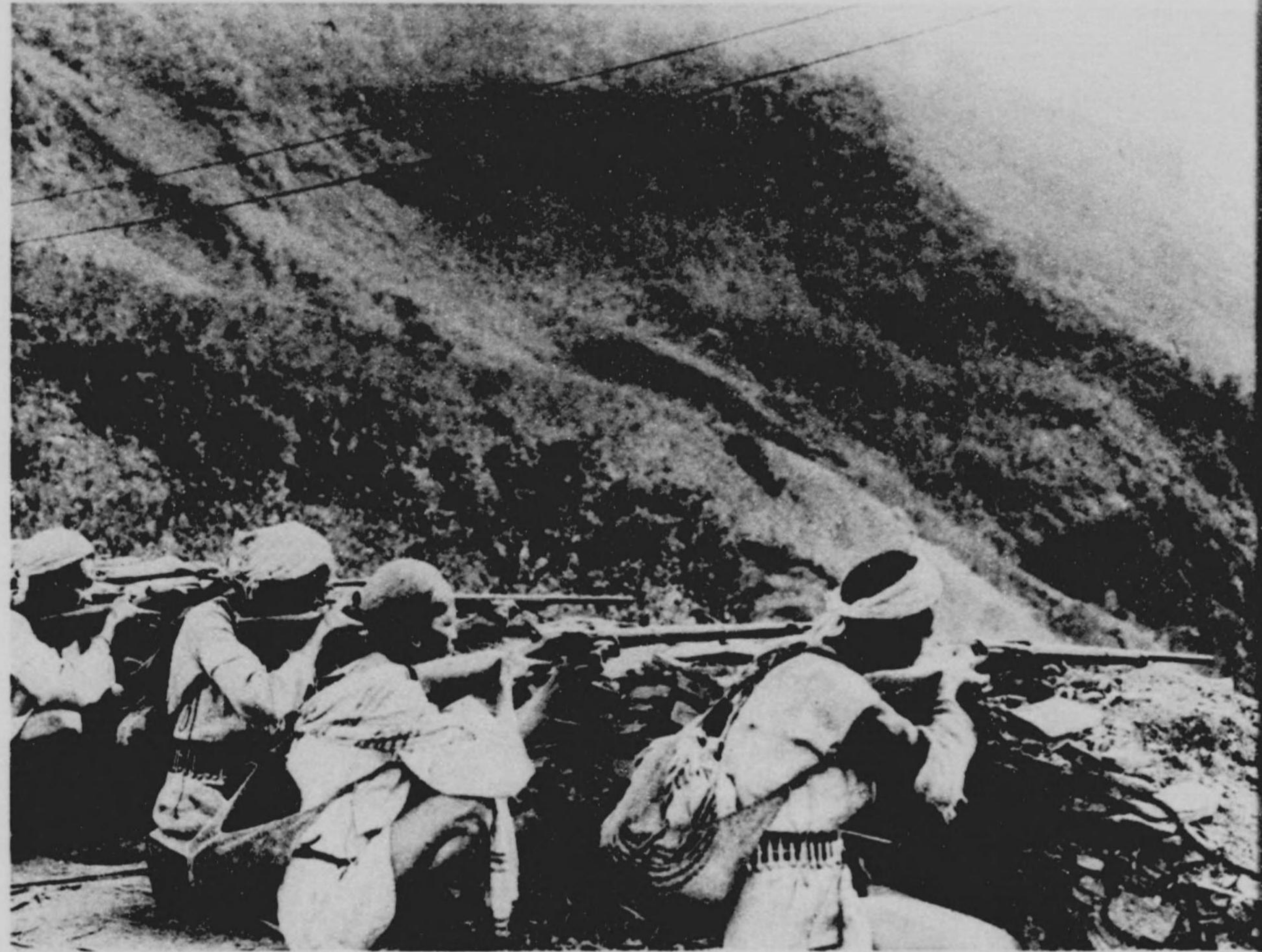


〔下〕 巨魁林添丁の棲家



蕃人跳梁の時代

〔上〕 蕃人の狙撃



〔下〕 事變（二八八頁参照）直後の霧社公學校



(一) 代 時 の 壓 征 人 蕃

〔上〕 蕃 地 鐵 條 網 線 警 戒



〔下〕 隘 勇 線 に 於 け る 交 戦



(二) 代 時 の 歴 征 人 蕃

〔上〕 合観山上に於ける討伐隊の露營



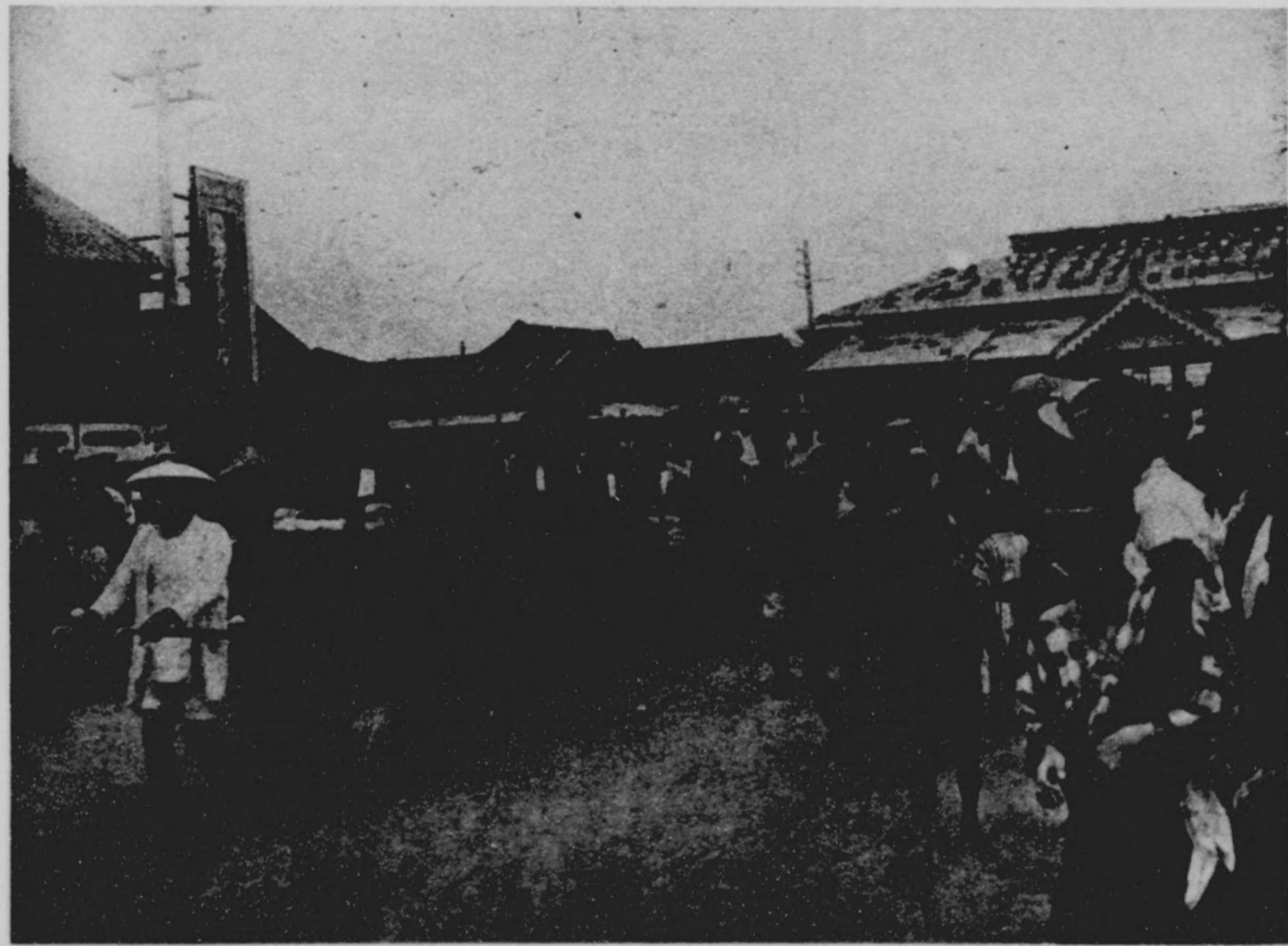
〔下〕 ホンボン山頂に於ける討伐隊員の休憩



暴徒再騷擾時代



〔上〕 襲撃を蒙れる直前の北浦支廳員  
(二〇六頁参照)

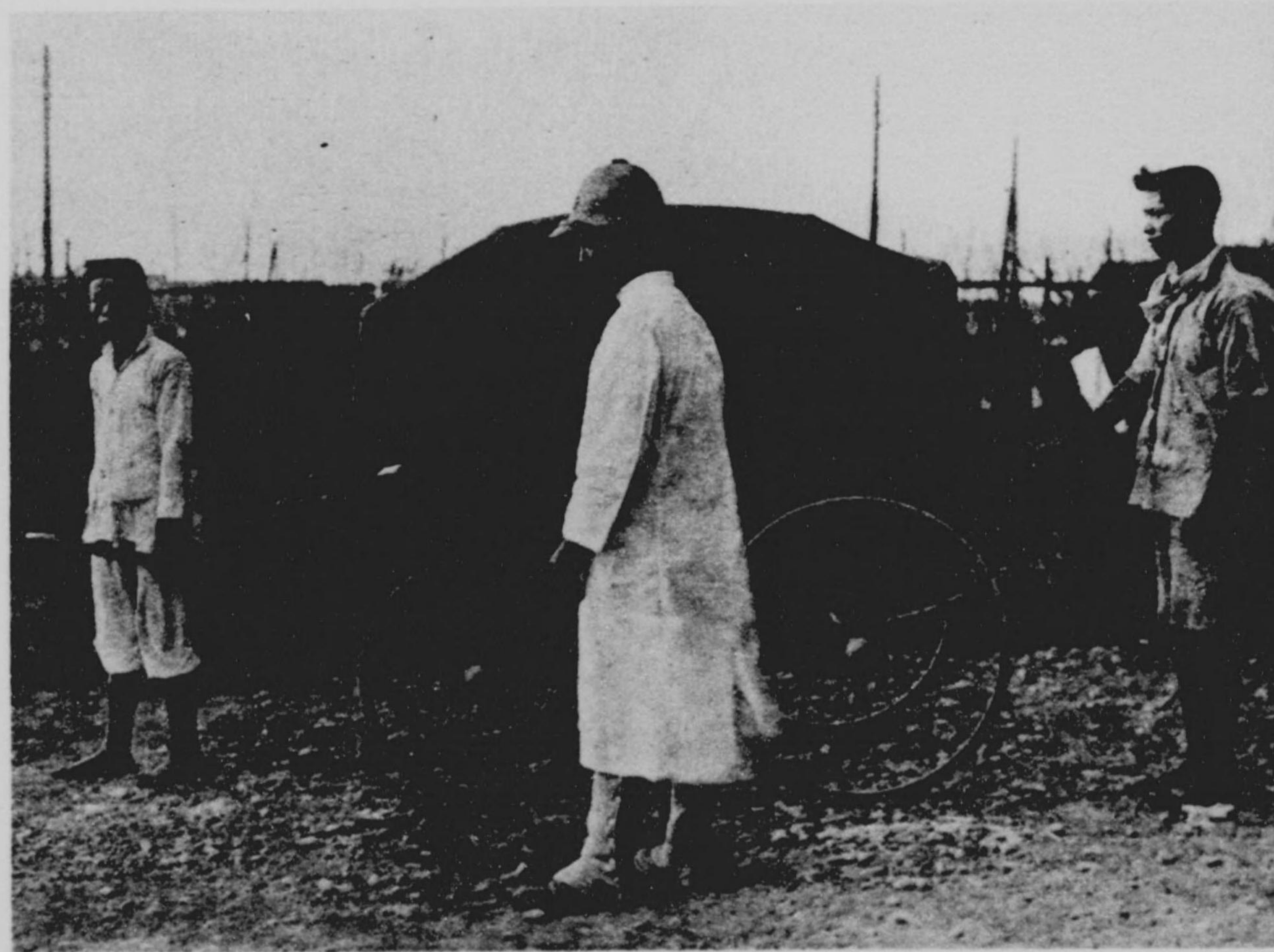
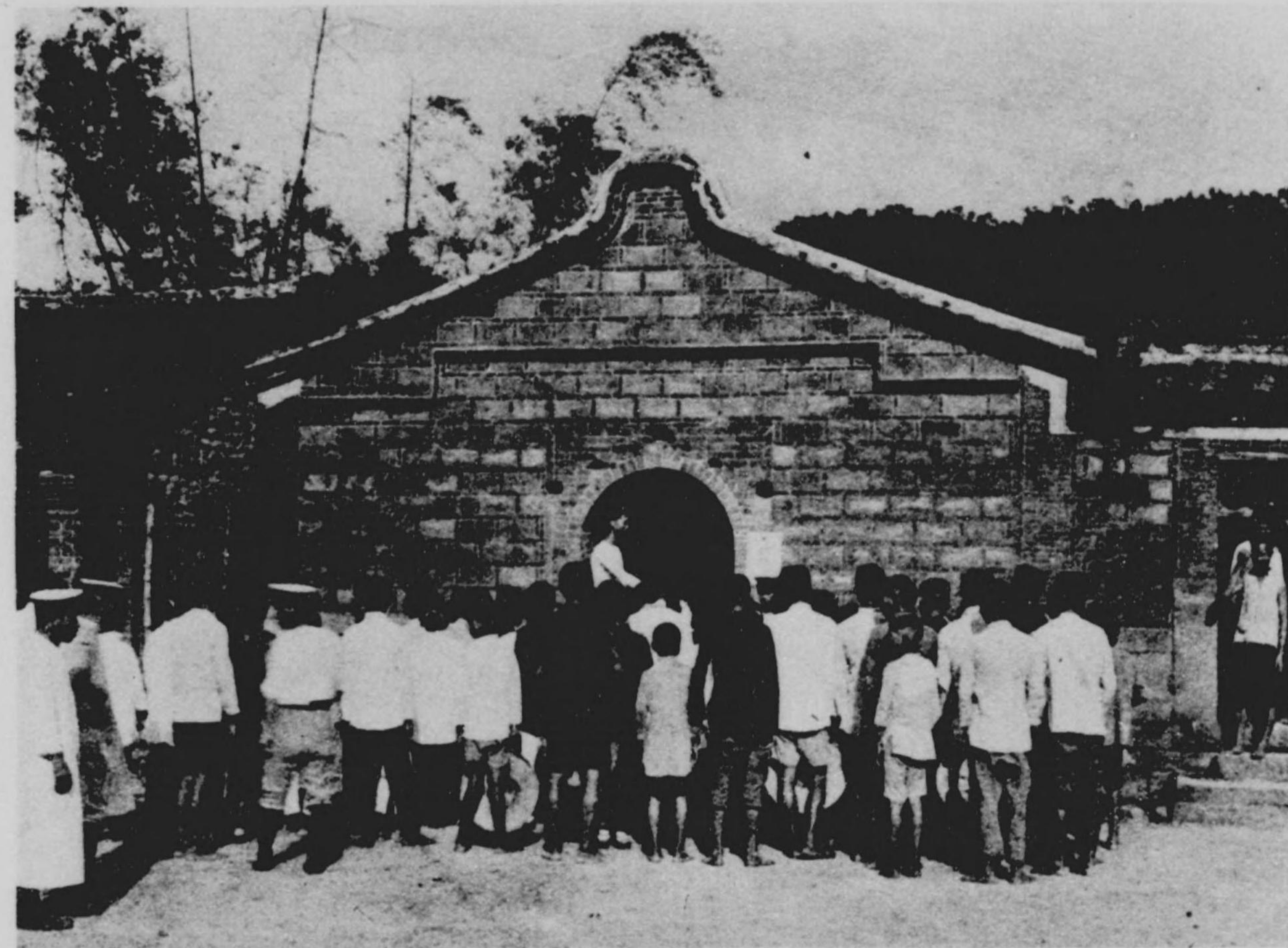


〔下〕 嚙吧咩事件匪徒の押送(二一二頁参照)



官察警の退防病染傳

〔上〕 豫防注射實施の狀況



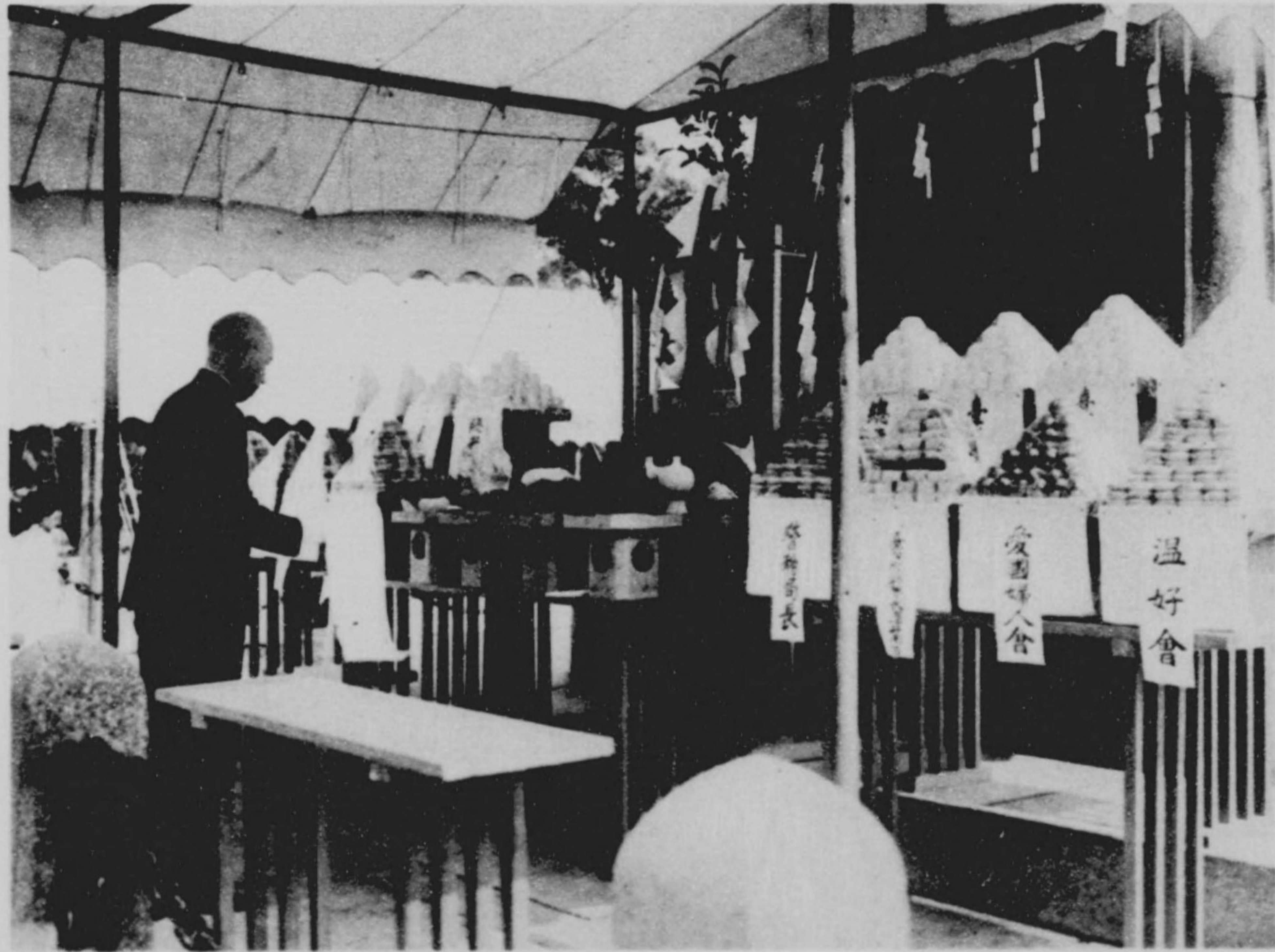
〔下〕 傳染病患者の收容



昔今の典祭魂招察警

〔上〕

明治三十五年嘉義應に於ける土匪討伐戦死者の招魂祭典



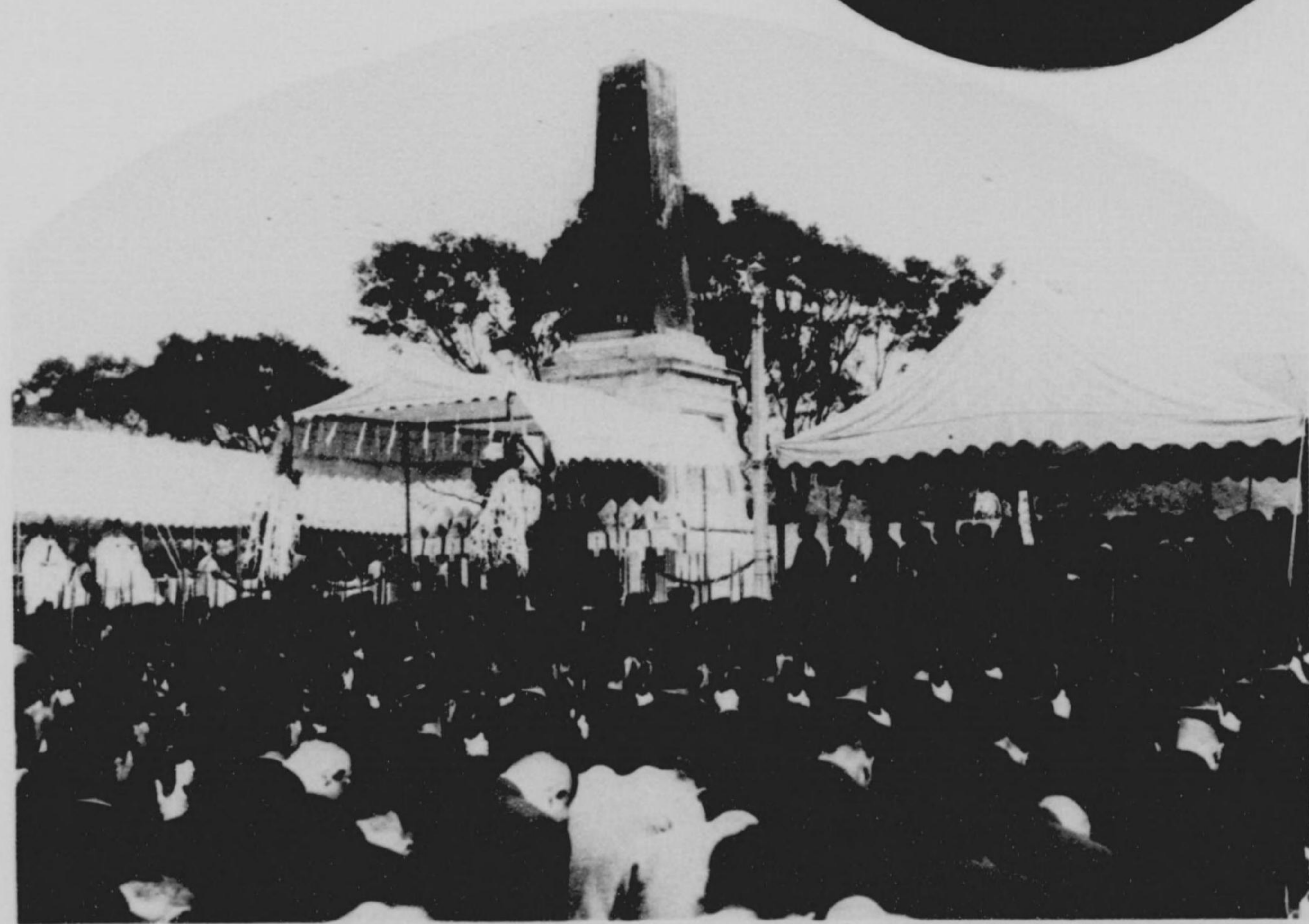
〔下〕

昭和十四年圓山警察招魂碑前に於ける招魂祭典



圓山警察招魂碑とその祭典

〔上〕 臺北市圓山臺灣神社境内の警察招魂碑

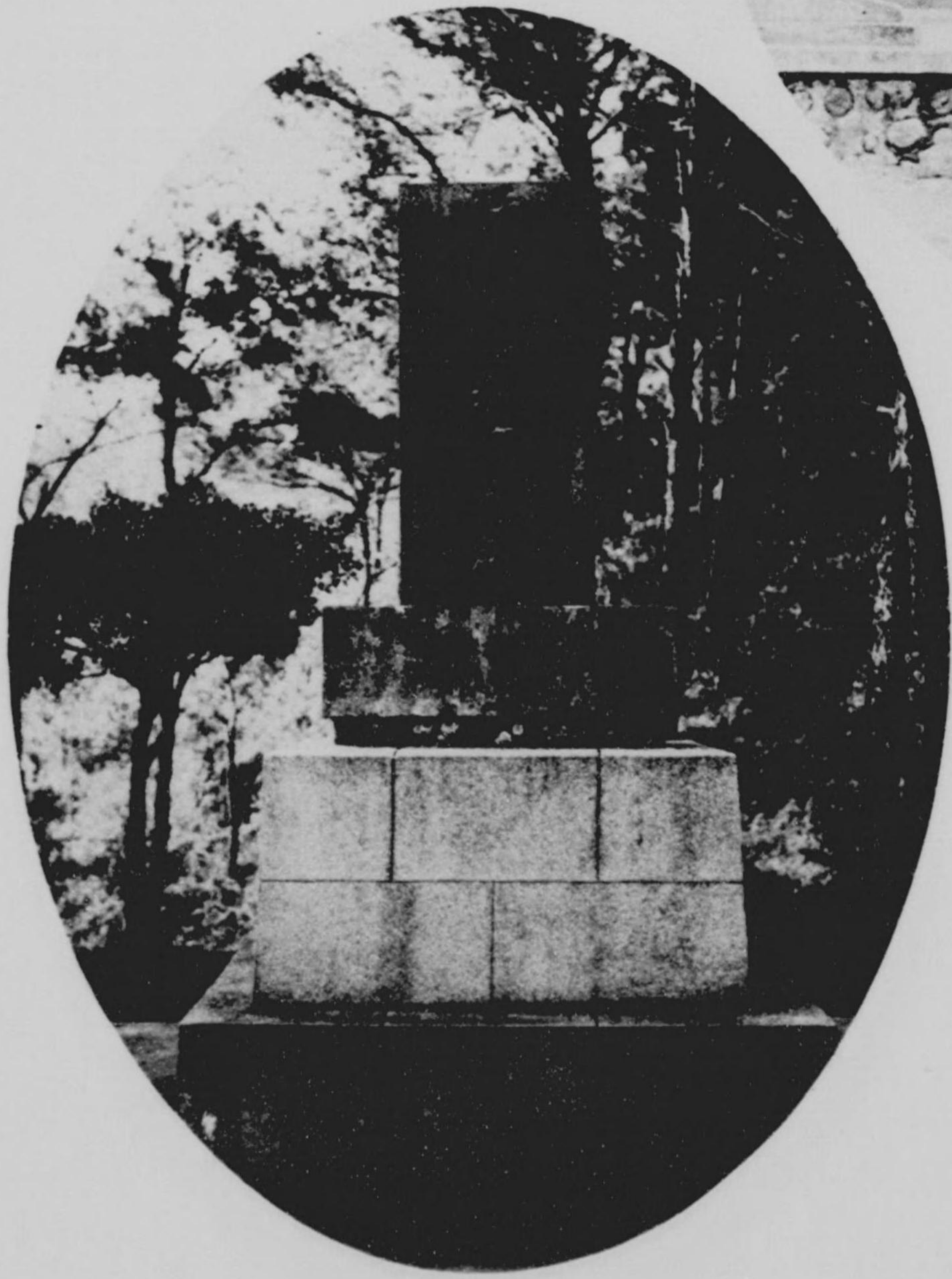


〔下〕 例年四月一日の警察招魂祭



(一) 各地警察記念碑

〔上〕 臺北州羅東郡三星庄所在



〔下〕 臺北州海山郡三峡庄所在



(二) 碑 念 記 察 警 の 地 各

〔上〕 臺北州羅東郡蕃地バヌン所在

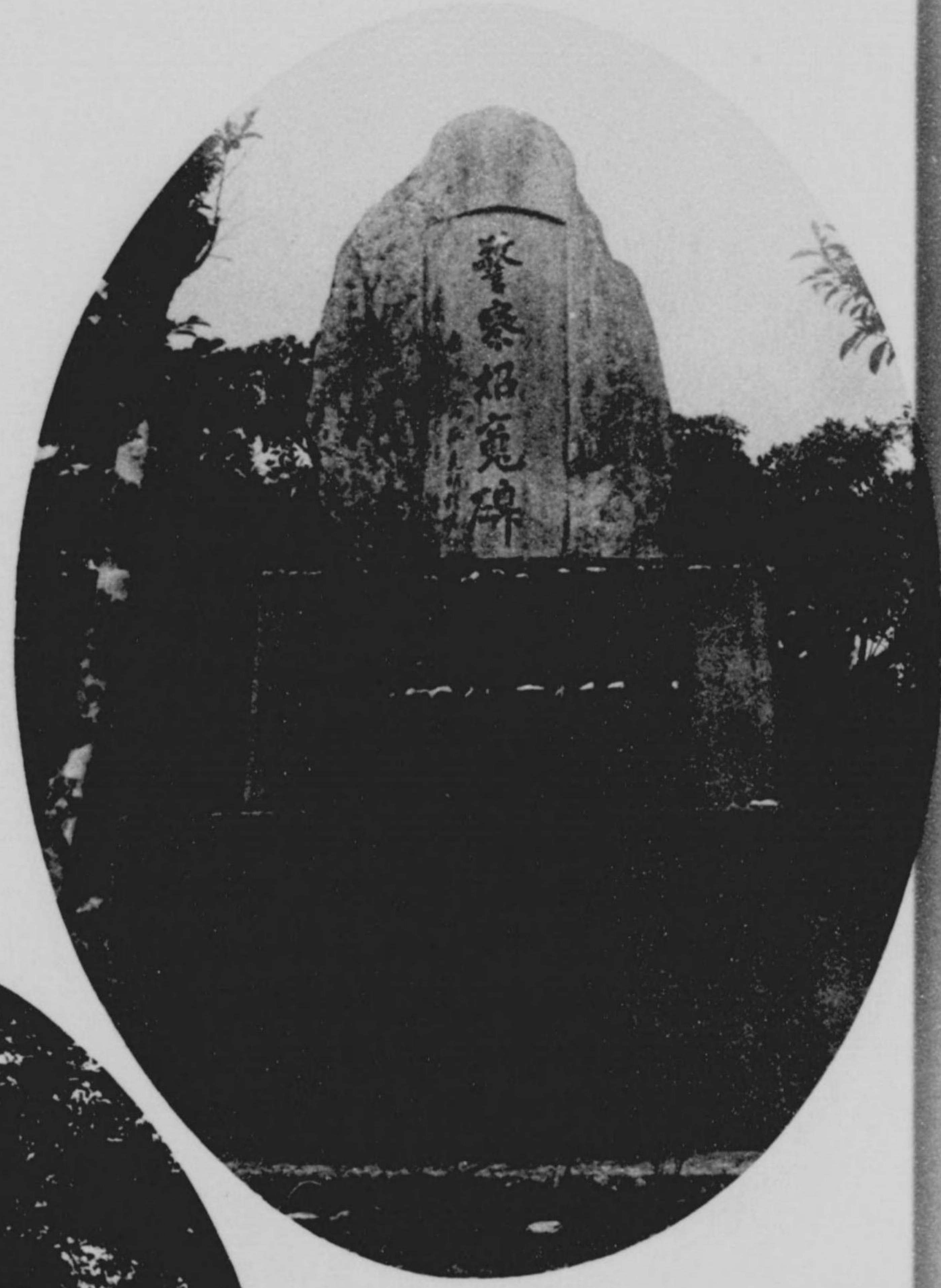


〔下〕 臺北州宜蘭郡宜蘭公園所在



(三) 各地の警察記念碑

〔上〕 臺北州蘇澳郡蘇澳庄所在

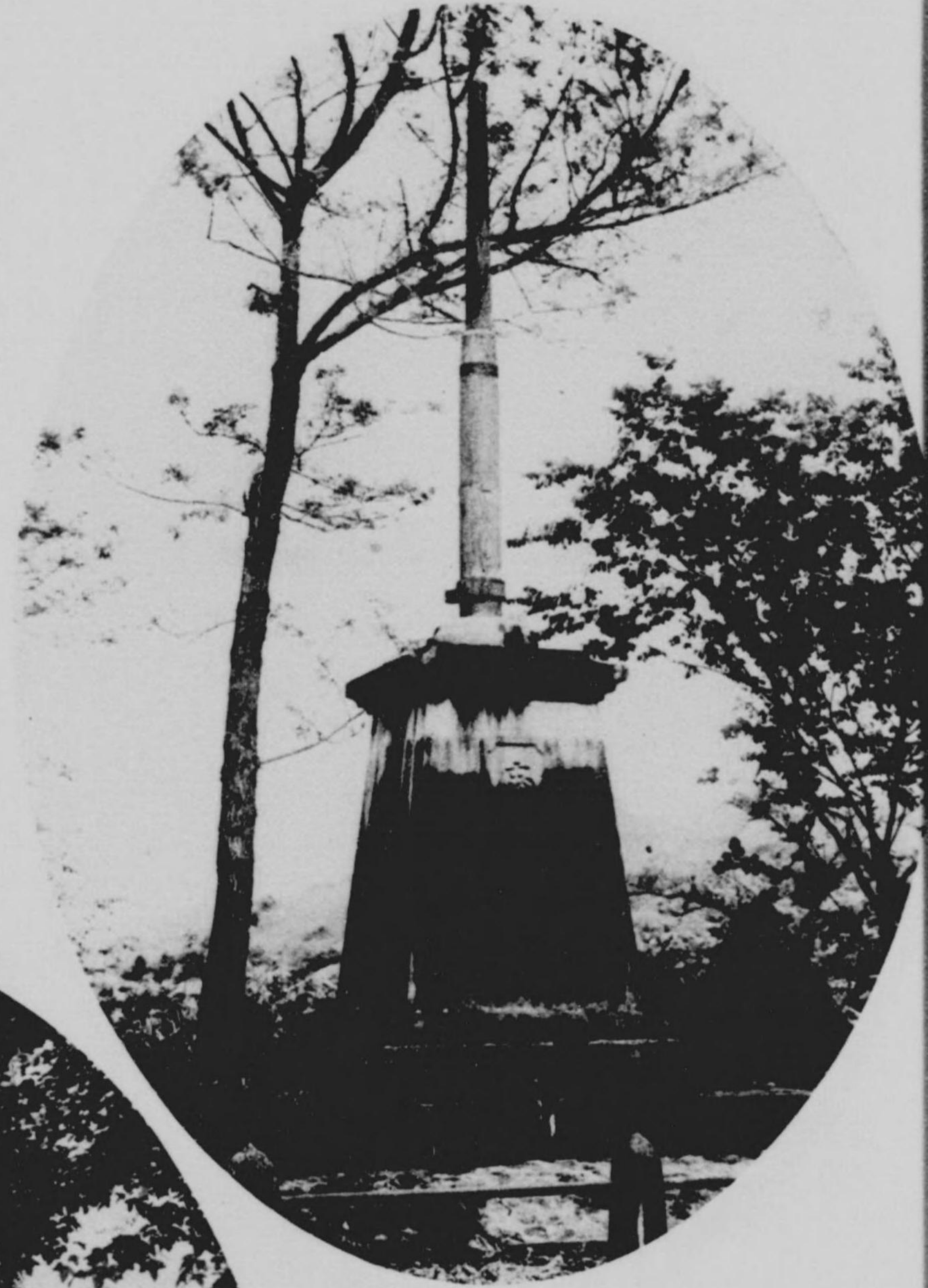


〔下〕 臺北州蘇澳郡蕃地ソオセイ所在



(四) 各地警察記念碑

〔上〕 新竹州大湖郡大湖庄龜山所在

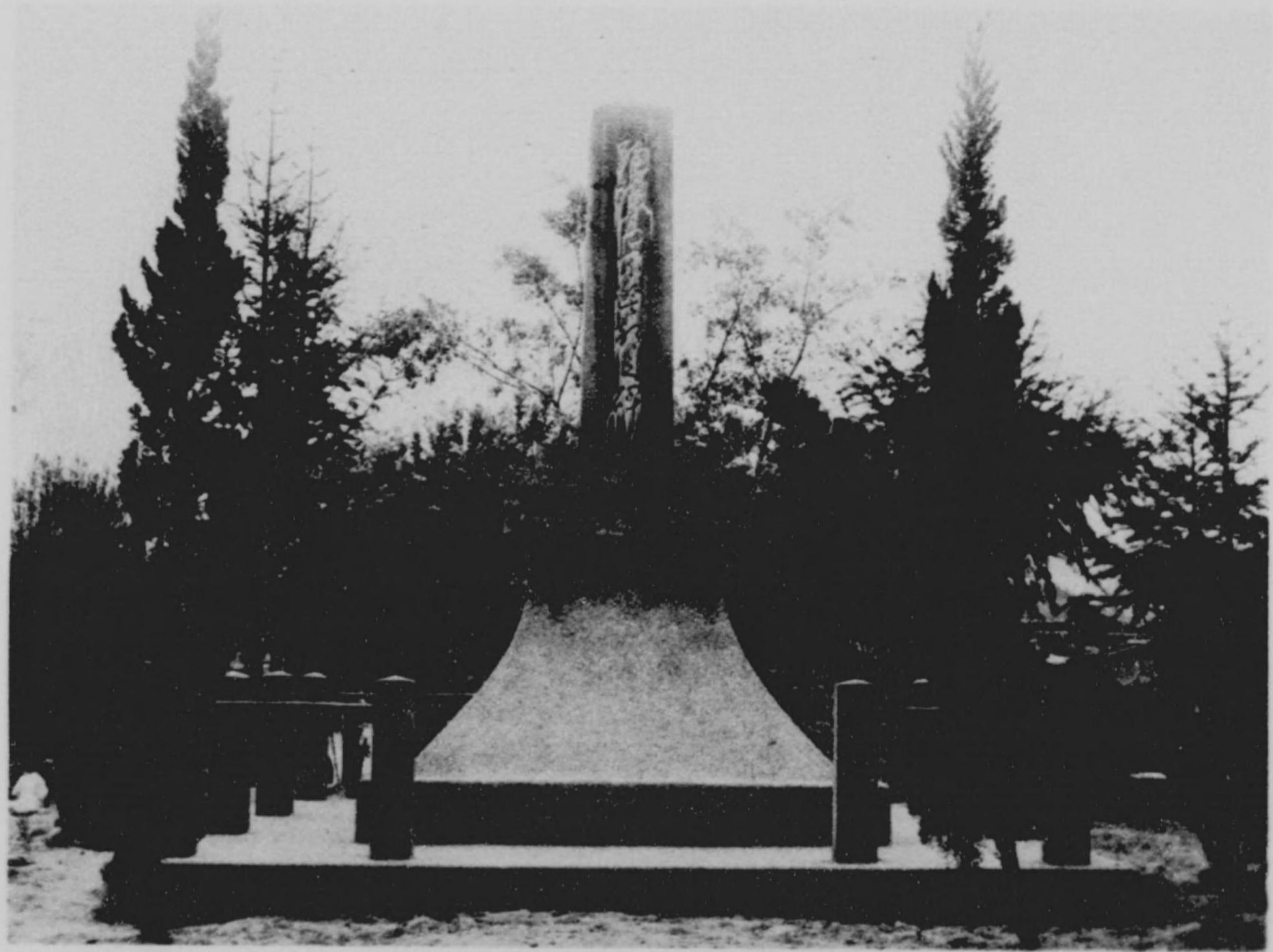
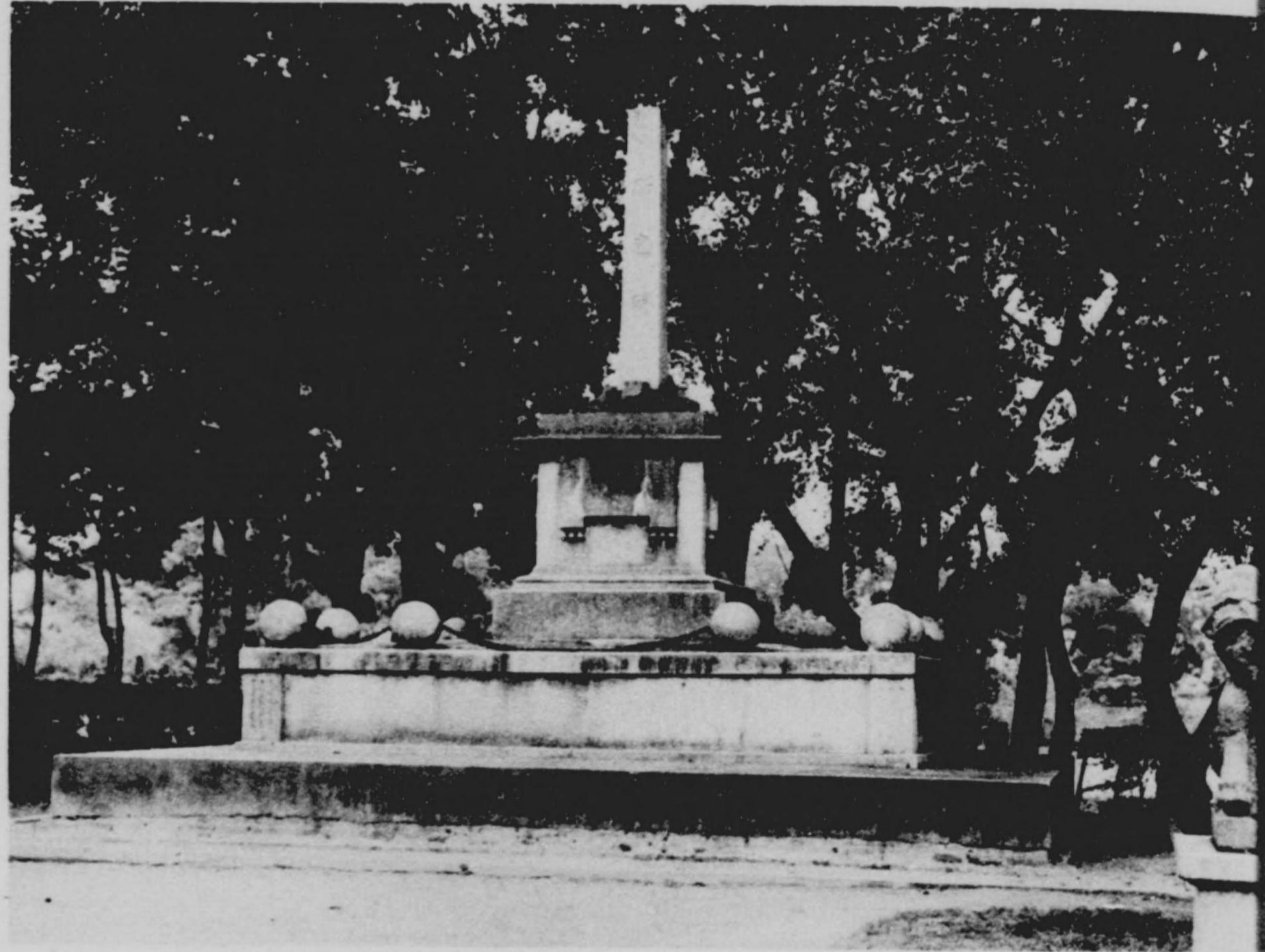


〔下〕 飛田部隊長墓標（同上地所在）



(五) 碑念記察警の地各

〔上〕 臺中州臺中市公園内所在

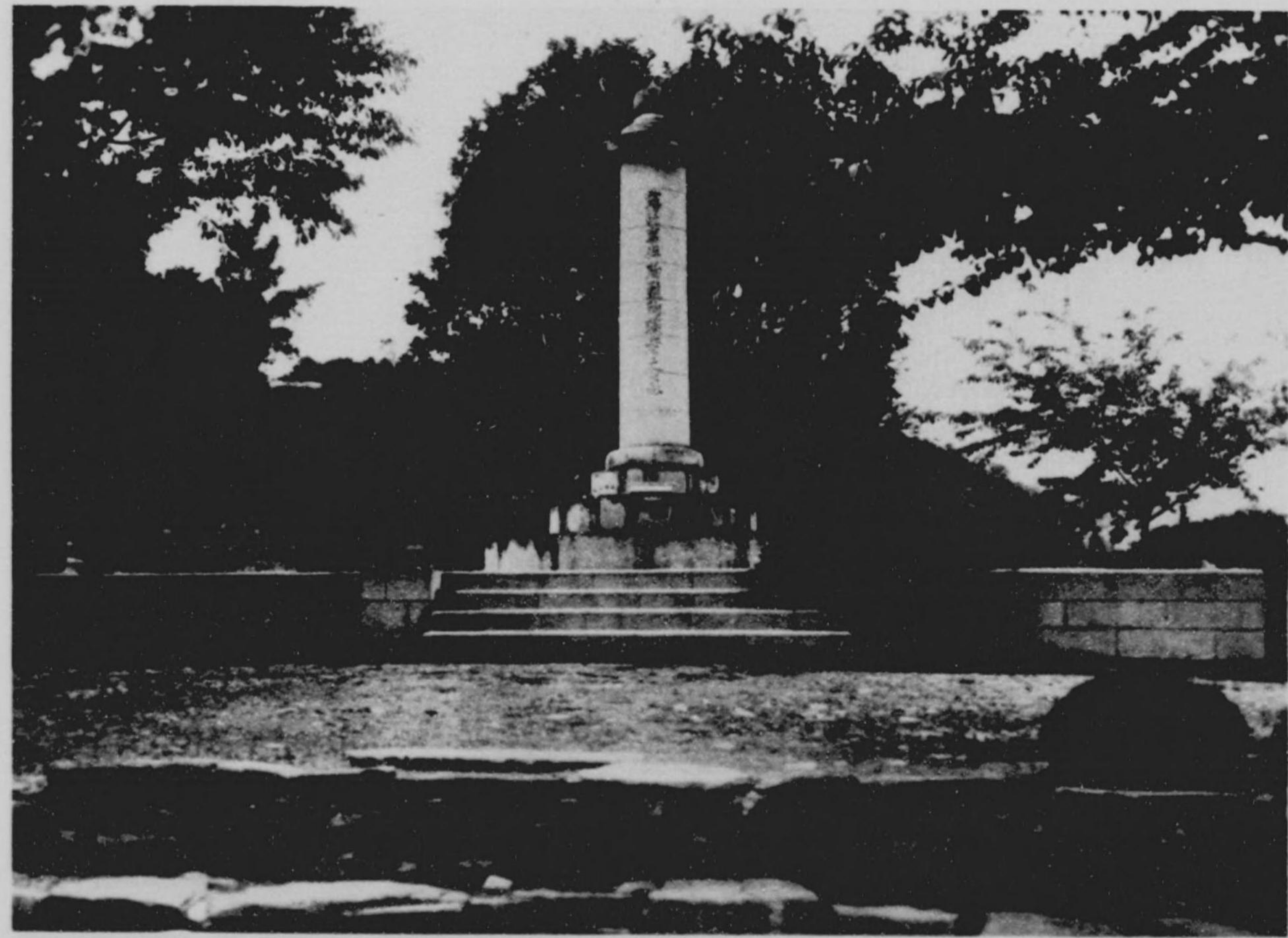


〔下〕 臺中州南投郡中寮庄所在



(六) 碑念記察警の地各

〔上〕 新竹州新竹郡北埔所在



〔下〕 臺中州能高郡蕃地霧社所在



(七) 各地警察記念碑

〔上〕 臺中州能高郡埔里所在

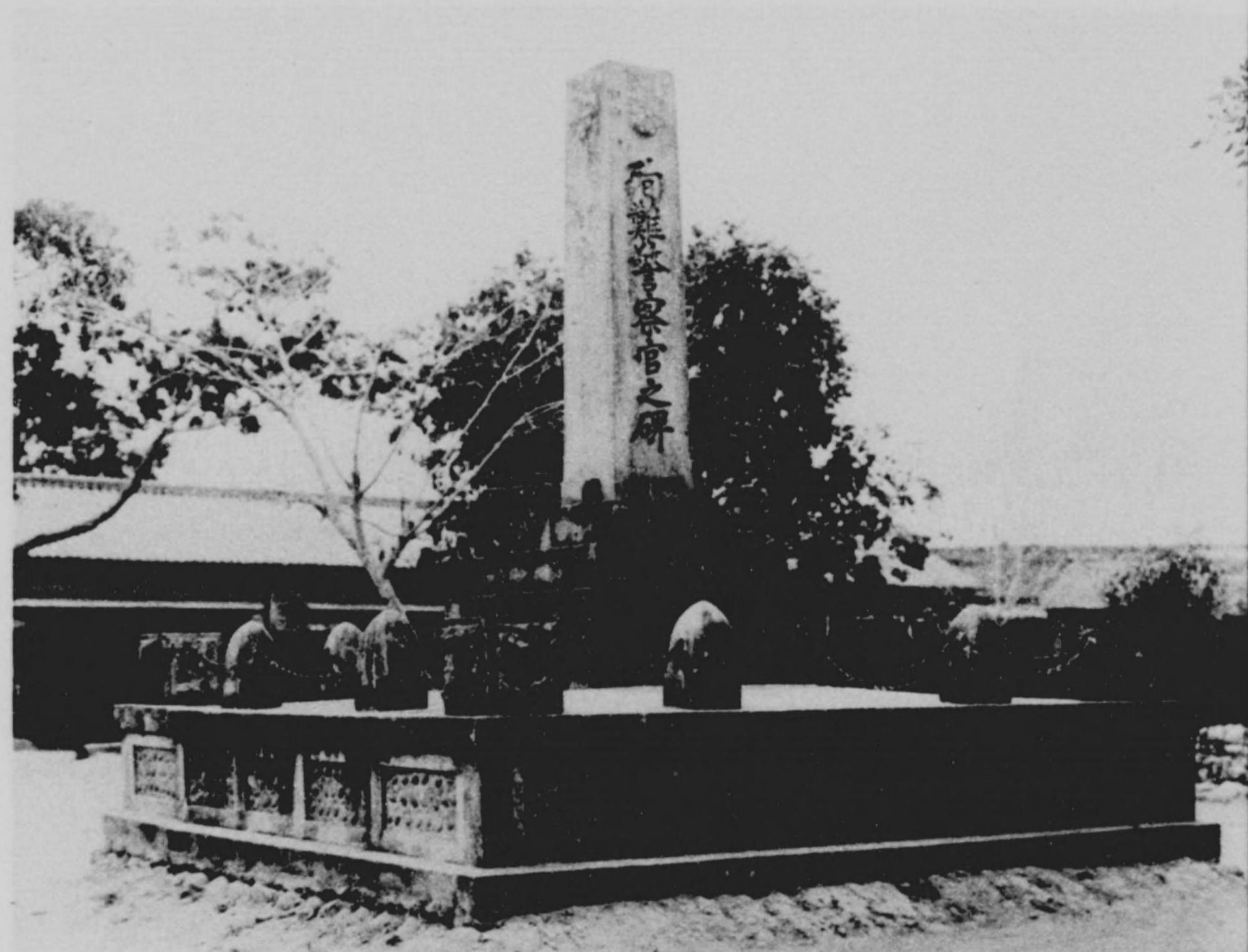


〔下〕 臺中州北斗郡二林所在



(八) 碑念記察警の地各

〔上〕 臺中州豊原郡大雅庄所在

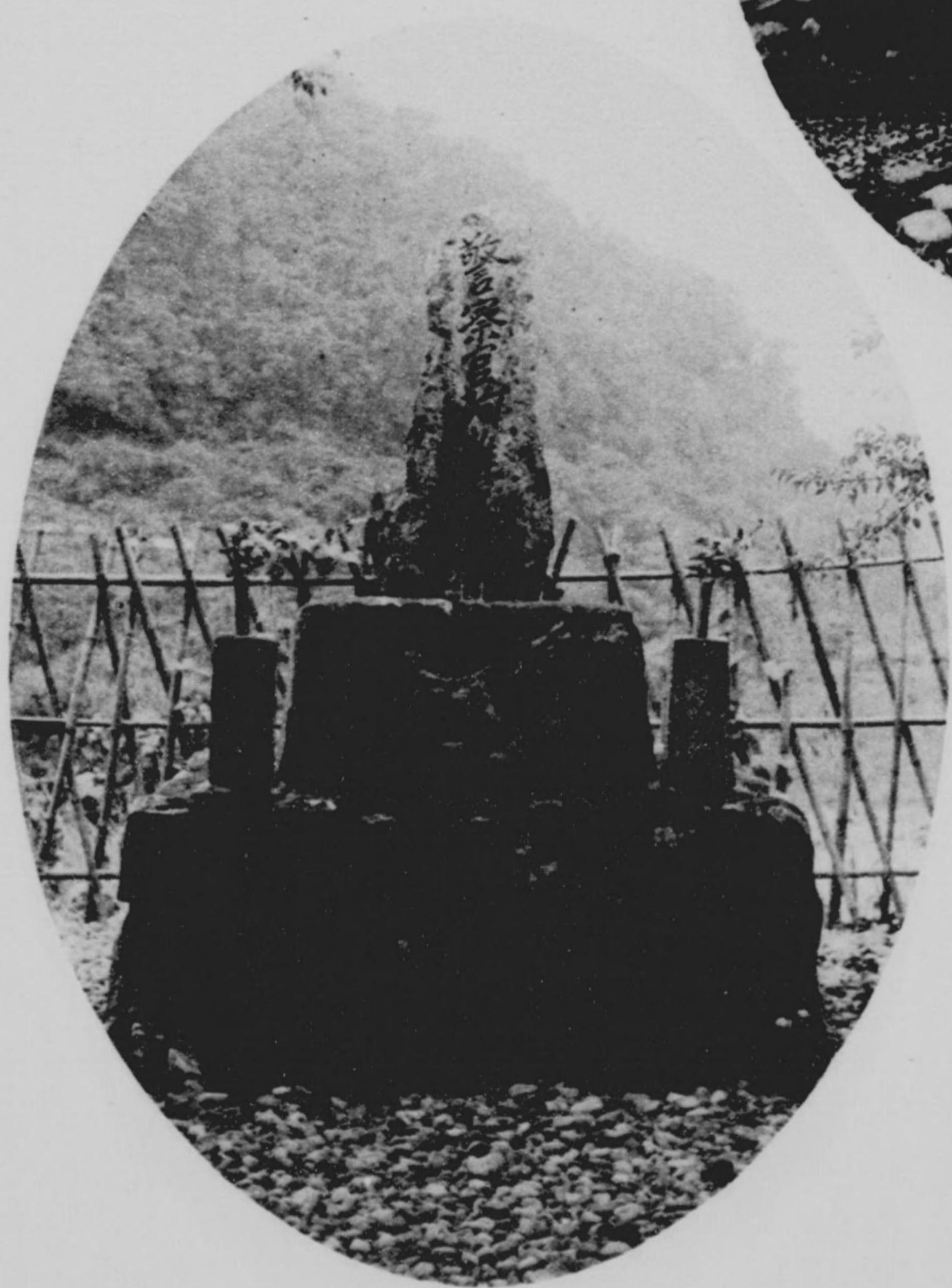
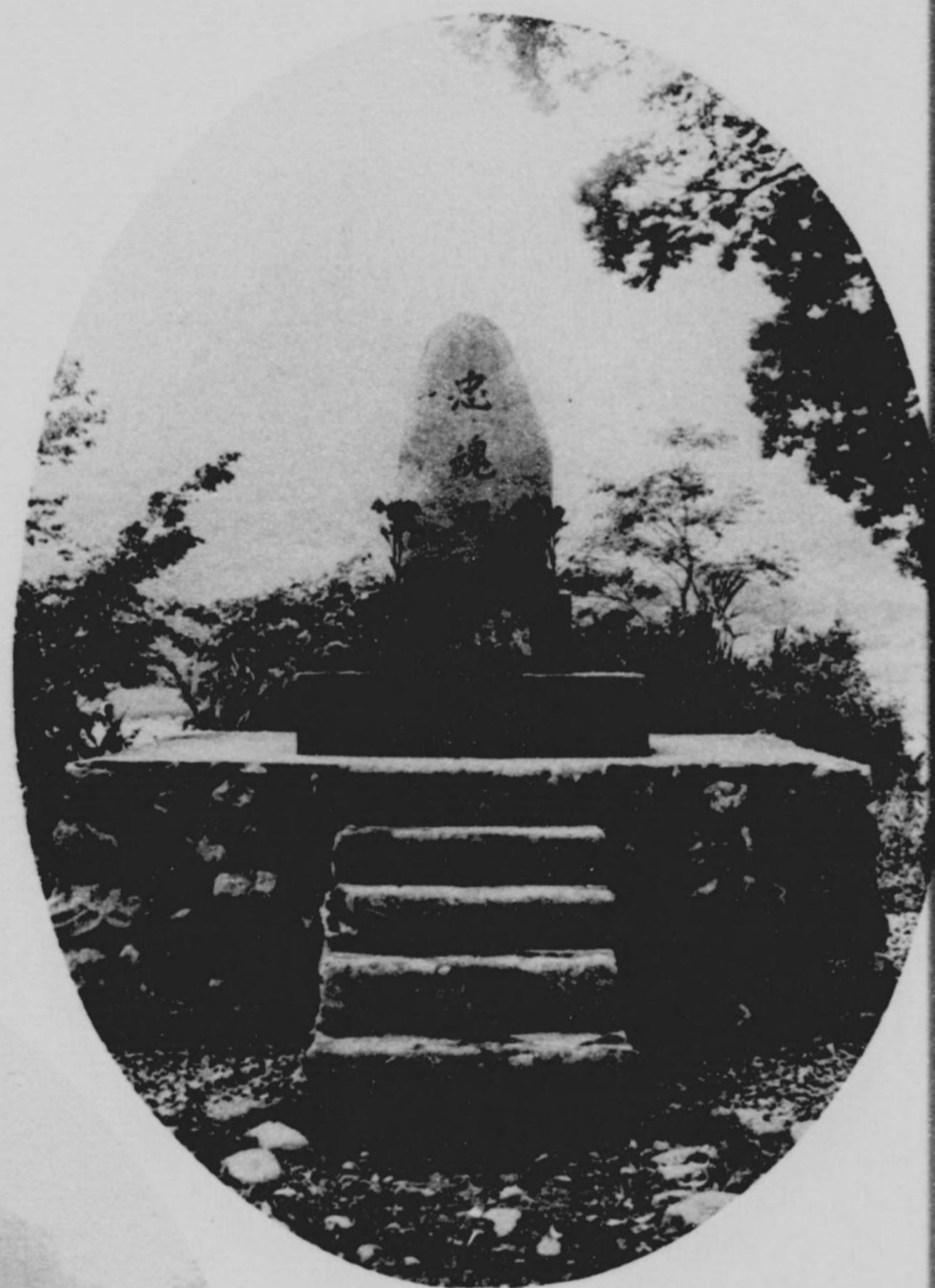


〔下〕 臺中州北斗郡路口厝所在



(九) 碑 念 記 察 警 の 地 各

〔上〕 臺中州東勢郡蕃地雲山坑所在

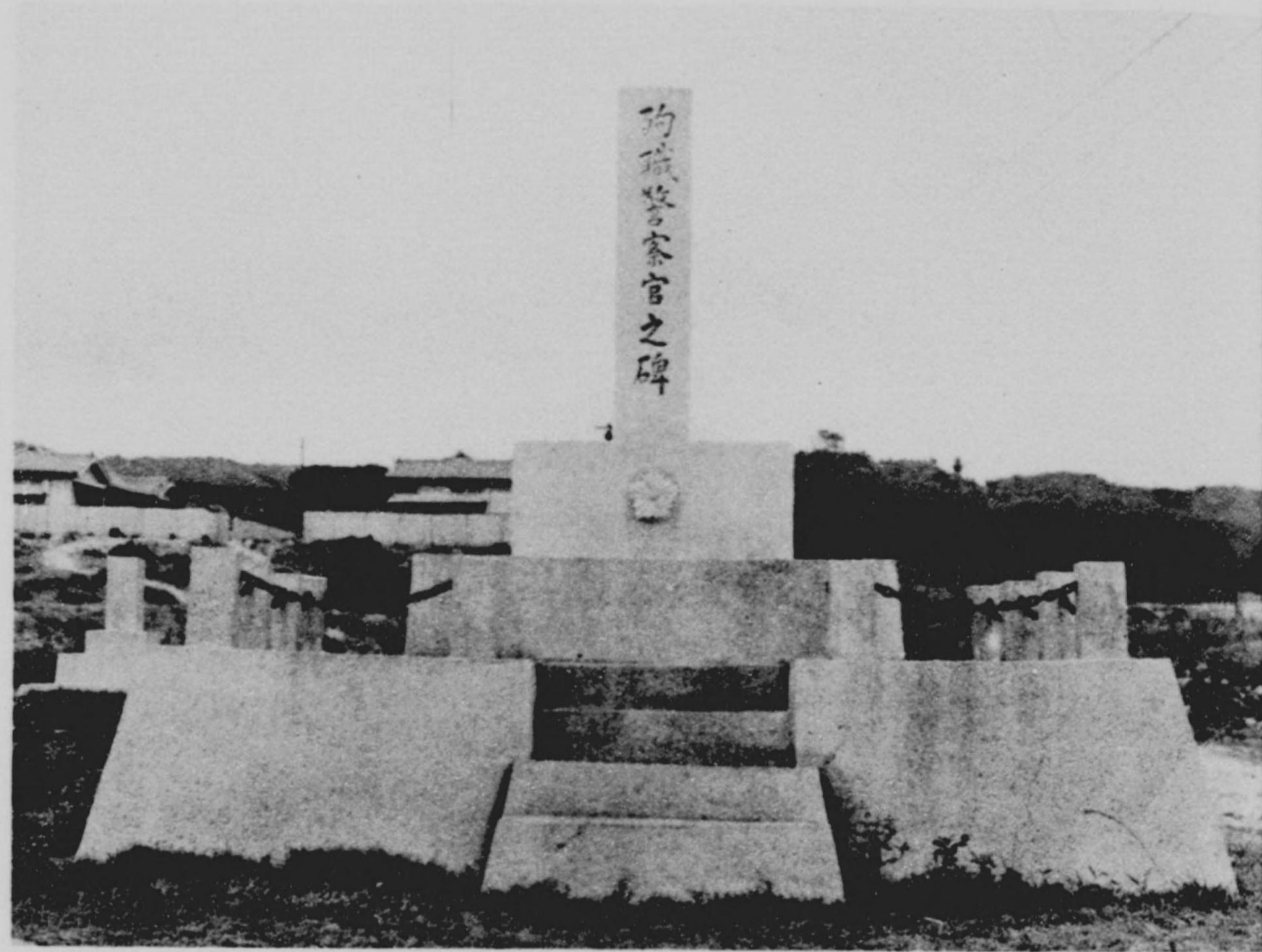


〔下〕 臺中州東勢郡蕃地白冷所在



(十) 各地警察記念碑

〔上〕 臺中州大甲郡大甲庄所在

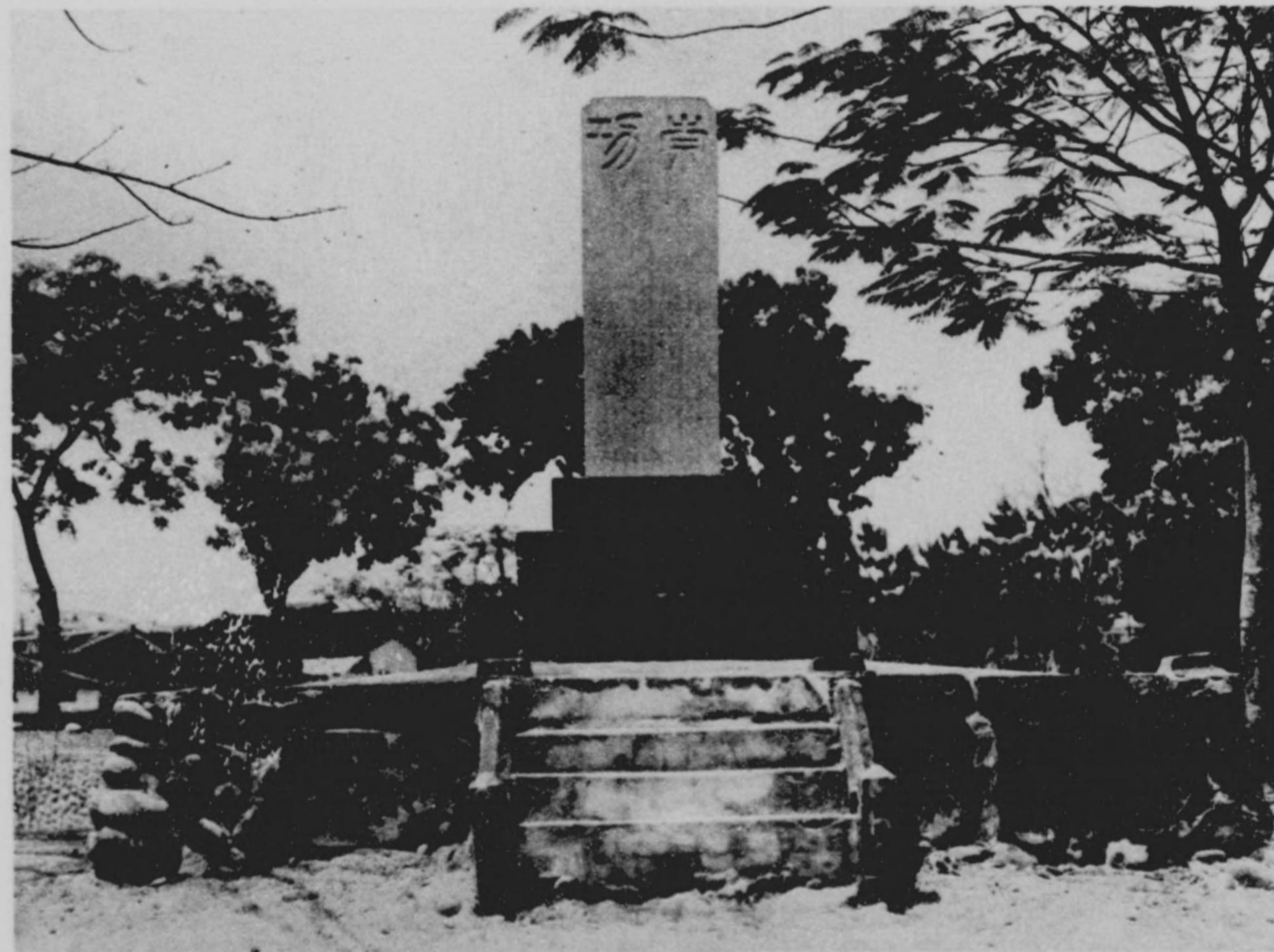


〔下〕 臺中州彰化郡鹿港街所在



(土) 碑念記察警の地各

〔上〕 臺中州竹山郡頂林所在



〔下〕 臺中州南投郡南投街所在



(三) 各地警察記念碑

〔上〕 臺南州嘉義市公園内所在

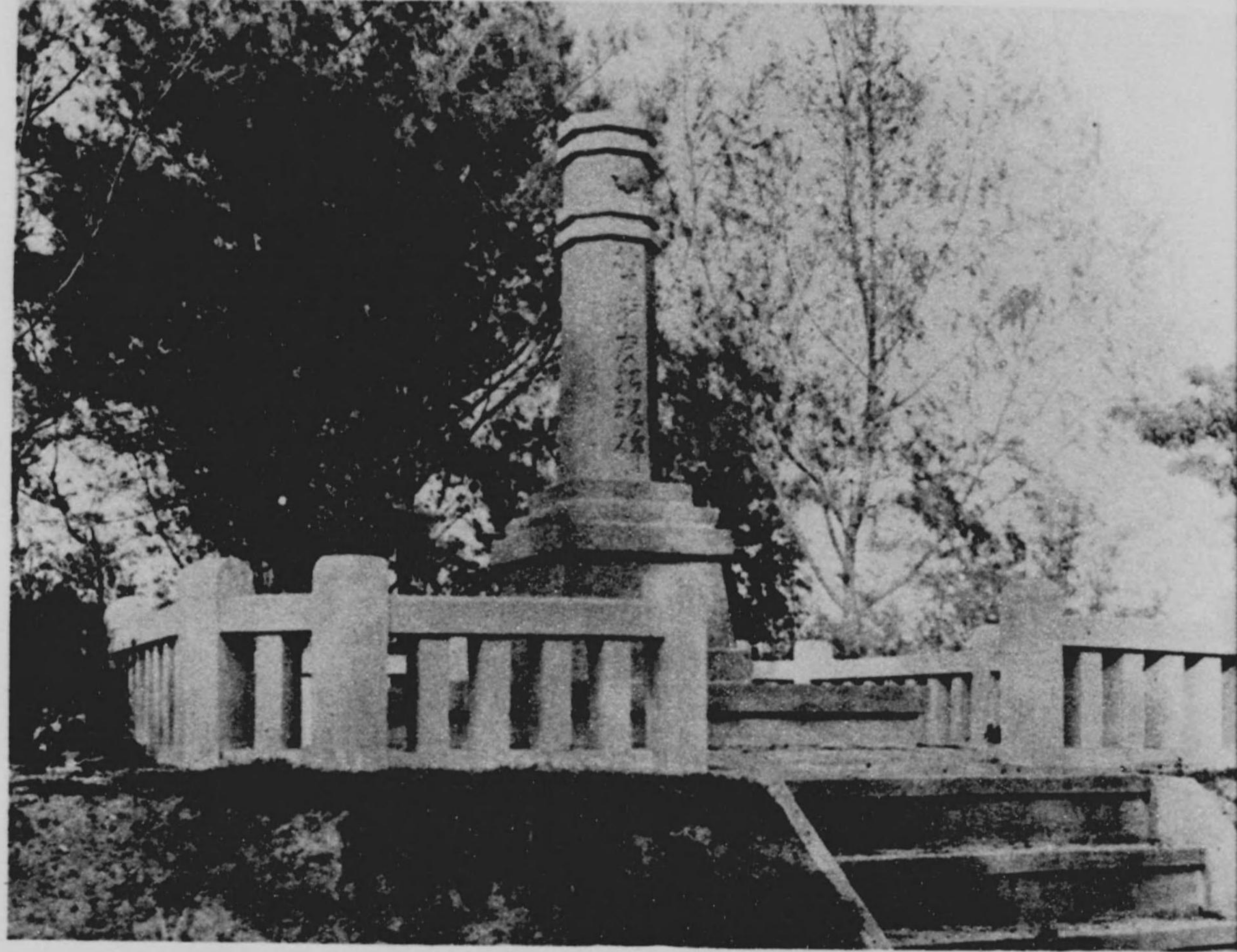


〔下〕 臺南州新營郡土庫庄所在



(三) 各地警察記念碑

〔上〕 臺南州東石郡東石所在

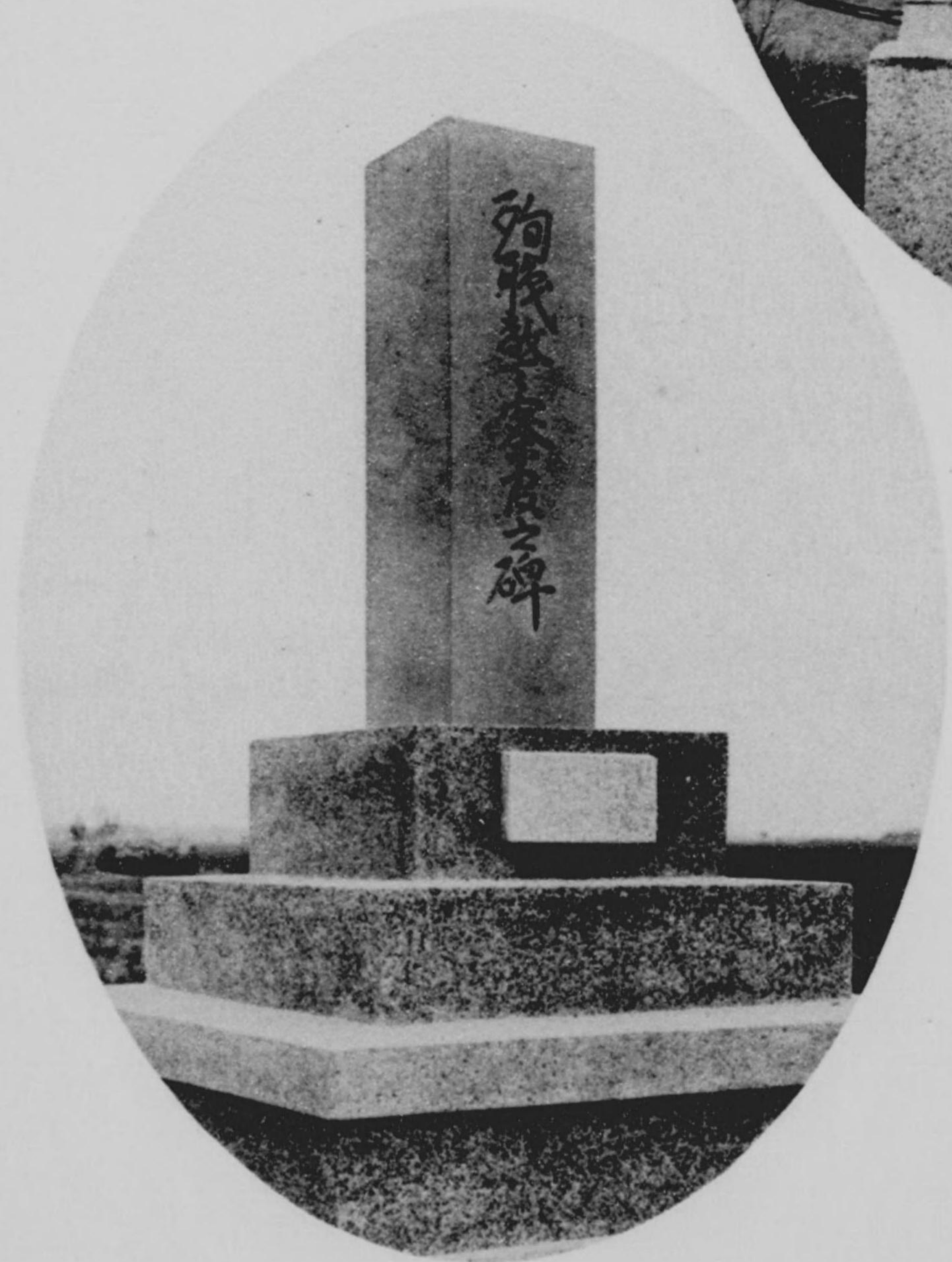


〔下〕 臺南州曾文郡六甲庄所在



(丙) 各地警察記念碑

〔上〕 臺南州虎尾郡崙背所在

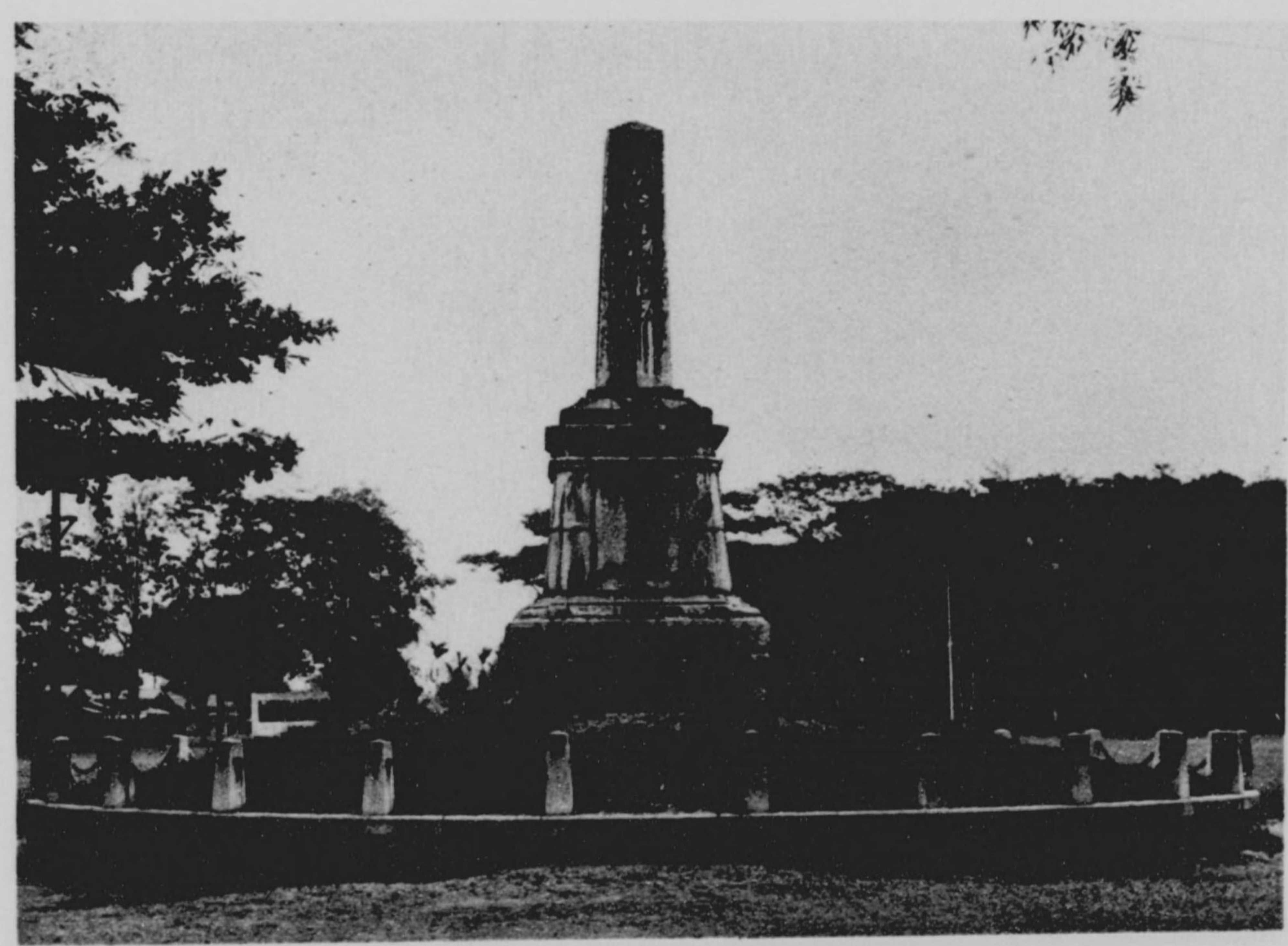


〔下〕 臺南州虎尾郡油車所在



(五) 各地警察記念碑

〔上〕 臺南州新化郡玉井庄所在

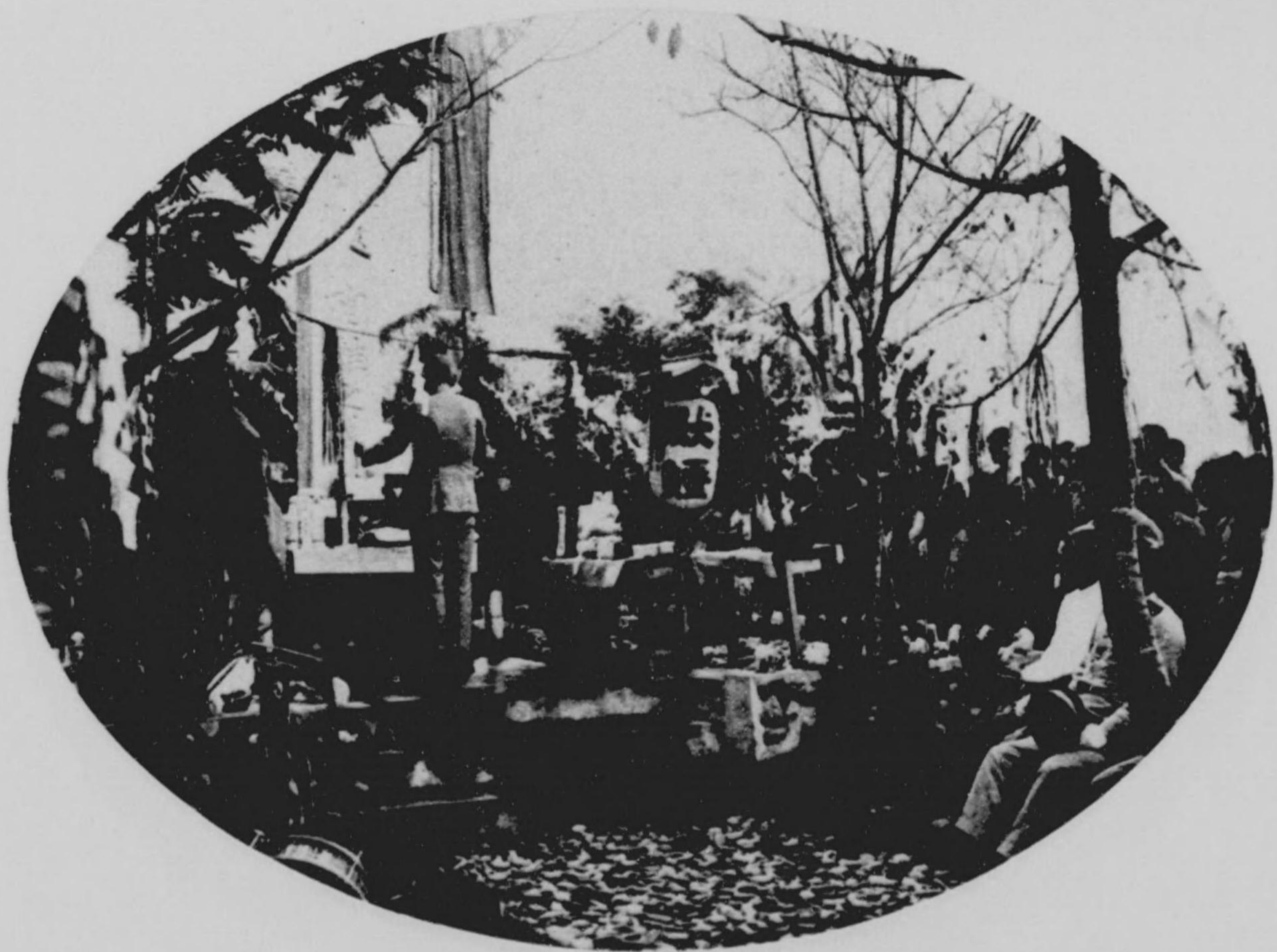


〔下〕 高雄州屏東市公園内所在



(去) 碑 念 記 察 警 の 地 各

〔上〕 高雄州岡山郡岡山庄所在



〔下〕 高雄州屏東郡蕃地ブタイ駐在所々在



(七) 各地の警察記念碑

〔上〕 臺中州東勢郡東勢街所在



〔下〕 臺中州東勢郡蕃地明治所在



(六) 各地警察記念碑

〔上〕 臺東廳玉里郡蕃地カシハナ所在



〔下〕 臺東廳關山郡蓬坂所在



## 第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者

所謂土匪とは土着の匪賊と云ふを意味するものであるが領臺後日本官憲に反抗した者を検討してみると大凡三種に區別することが出来やう。その一は臺灣島授受當時に於て島内各地に於て皇軍に抵抗した者で臺灣を克復する名分の下に唐景崧、劉永福を盟主と仰ぎ矛を逆にせる者先づ反徒と云ふが適切であらう。第二は眞正の意味の土匪で即ち草賊である。正常なる業務につくことを厭い徒黨を組みて掠奪搶掠を事としたものであるが其の發生原因は民族性、風土、清朝政治の腐敗等に依ることが多い。第三は反徒掃蕩の當初當局良莠の甄別容易でなかつた爲め、玉石混淆の禍を蒙り或は密偵通譯等の誣告に依り不慮の嫌疑を蒙り冤枉訴ふるに由なく流れて匪群に入つたものである。第一は征臺軍の活躍に依り殄滅せられ、第三は歸順政策の實現を期として多くは良民となり、第二の者中性奸黠搶掠に馴れたる徒輩のみ爾後數年に亘り全島各地に於て暴虐を恣にし、終に軍隊警察の誅戮掃滅を待ち天壽を全ふすることの出来なかつたものである。而して領臺の當初に於て治安の確保は治臺の急務とせられ土匪鎮壓には主力を注いだのであるが、土匪に有利に討伐軍隊或は警察隊には不利な條件が多かつた爲め早急に之を掃蕩することは出来なかつた。所謂三段警備制と云ふが如き政策も乃木總督の時代に案出せられた對匪策で山脚地方の尤も土匪の跳梁する地方は軍隊が警備に任じ、平地の平穩なる地方は警察官が警戒し、其の中間地方



は憲兵と警察とが連帶で治安の確保を圖ると云ふのであるが、この制度も豫期した成績を擧げることは出來ず却て土匪は「良否を人について辨別することが出來ないので當局は土地を劃して之に對するものである」との誹謗さへ爲すに至つた。明治三十一年三月兒玉陸軍中將が第四代の臺灣總督として來任するや深く前代對匪策の得失を検討して其の禍因が良否の甄別に充分ならざる處にありと認め一方には匪徒刑罰令の如き峻嚴なる罰則を制定して之に臨み、他面招降歸順政策を採り暫く舊惡を看過して大に招降を促し先づ匪情の眞實を探知するに努めた。そして明治三十一年の七月には宜蘭の匪魁林火旺一派の者數百を招降せしめ、次いで臺北附近の簡大獅、陳秋菊等の匪魁を歸順招降せしめ順次此の政策の實施を南部に及したのである。然し土匪なるものは元來游食不良の奸民で一旦の恩惠に感じ其の性行を革め勤克の生活に復することは出來ないので所謂歸順土らず、官に於ても歸順を條件として彼等の際涯なき要求に應ずることは出來ないので所謂歸順土匪なる者も恩に狙れ兇を逞ふして却て官廳を侮る傾向があつた。兒玉總督の對匪策の眞意は固より彼等徒輩を宥恕する者にあらず、唯一時彼等の舊惡を問はずして招降し匪徒の内情を探り且つ藉すに若干の時日を以てして彼等の遷善を待ち尙肯かざるものに對しては斷乎鐵錘を加ふることを躊躇するものでなかつた。これが爲め明治三十一年末より歸順土匪の妄動を逞ふする者は掃滅を加ふるの態度に出て北部の林火旺、簡大獅、蘆錦春等の諸匪魁も誅戮せられ、三十二年には舊臺北縣下の澄清を見るに至つたものである。然し臺灣の行政は北部より先づ其の緒につき順次南

部に及してゐる如く土匪の掃蕩も南部は北部の如く容易には進捗しなかつた。果然明治三十四年の春には中部の匪徒は臺中市街を襲撃するの不逞を敢てし、又同年旱魃甚しく南部農作物の不況より人心一體に不安に陥りしに乘じ匪徒は大舉撲仔脚支廳襲撃を爲し支廳長以下官民多數を殺戮するに至つた。茲於新に置かれた警察本署長は旅團長と會商し中南部六廳々長は守備隊と共に一帯の大討伐計畫を樹て拔本塞源の大掃蕩を企てた。この討伐は其後數箇月に亘り徹底的に行はれ一面逃匿殘匪の誘出を試み、明治三十五年五月斗六廳外數箇所に於いて歸順式を舉行したが歸順式場にて不穩の舉動があつたので一舉數百を殲し、更に其頃今の高雄州下に占據して隱然一王國の觀を與へてゐた南部の巨惡林少猫を誅するに至つて掃匪の大業始めて成就を見るに至つた。本島領有以來實に八年の歳月を閲してゐるものである。以下は即ち匪擾に殪れた警察官である。



第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者

記事

我征臺軍の疾風の如き勢に辟易して全島の土匪は暫く鳴りを静めてゐたが征臺軍の一部が順次凱旋の途につくや先づ北部の土匪が頭を擡げると至つた。即ち陳秋菊、詹振及林李成一派の盲動臺北城及其の近郊の匪擾が之れである。之等の徒は時事に憤慨し前政府總兵劉永福の密書を奉ずと稱して大に匪徒を募りて糾合し陽曆の新春を期して臺北、宜蘭、基隆等所在内地人を殺戮して之を陥れ臺灣島を回復せんと企てたものである。果然十二月二十八日基隆憲兵屯所長上原憲兵大尉(尙英)は宜蘭に赴くべく憲兵四名巡查三名、即川崎健十次郎、長谷川善兵衛、前田重明外通譯一名を伴ひ頂雙溪に至つて賊の重圍に陥り憲兵一名幸じて免れたのみで他は悉く殺戮せられた。

此の騒擾と前後して一月一日早朝匪徒の一團は錫口街を襲ひ守備隊員二名及鐵道工夫十七名、傭員三名を殺戮し錫口街は匪徒の占據する所となり臺北基隆間の鐵道線路は遮断せらるゝに至つた。士林に於ても一月一日早朝匪徒の襲撃を受けた。警察出張所長警部員野重雄は巡查十五名を指揮し之を防いだが匪勢猖獗にして敵すること能はないので臺北城に退いたのである。此時同地芝山巖國語學校に在つた學務部員掛取道助外五名は總督府に至り新正を賀せんと欲し生徒を引率し八仙渡頭に至り匪徒を聞知し芝山巖山に引き歸した。此時忽ち匪徒の爲めに圍まれ奮闘二人を斃したが衆寡敵する能はず悉く殺戮を蒙つたものである。又匪徒の一團は同じく十二月三十一日金包里憲兵屯所を襲撃した。

一月一日匪徒の一團は亦枋橋を攻撃し、亦洞尾も匪襲を受けたが幸にして大事に至らなかつた。一方深坑地方も亦匪騒々しきものがあり深坑警察出張所長川畑莊次郎は巡查部長木田伊藏外數名を出張所に止め自ら巡查部長東島清(後警部となる)、伊地知幸之進、松田秀照、北村鼎四郎、大久保操等五名を率ひ三十日木柵店、景尾街を経て新店街方面を視察して夜木柵附近に達したとき匪徒包圍猛襲を加へたので一行奮戦悉く職死するに至つた。此日深坑出張所には宜蘭の匪徒石碇街を経て臺北

に入るの報あり木田部長同僚巡查と共に偵察に赴き匪徒と遭遇交戦したが賊の優勢を見て歸所防禦を策するに至つたものである。雖て賊徒百數十深坑出張所に來襲したので到底衆寡敵せざるものと爲し新店に至り川畑所長の一隊と合せんとし之に赴く途中巡查内田彌三郎は毒刃に殞れるに至つた。他の者は木柵店に至つて新店附近の匪徒猖獗を知り途を轉じて臺北に達することを得たのであるが一行中巡查日高助市は公館街にて賊彈に斃れた。

此頃臺北城外匪變の風評は頻りであつた。果然三十一日夜十二時臺北城東門厩舎に火事が起り爆竹様の音響と共に忽ち東門外頻りに銃聲起り西門外も亦銃砲の音を聴くに至つた。此に於て始めて匪徒の來襲を確知し警察、憲兵、軍隊は俄かに戦闘準備に移つたが賊は敢て接近せず城門に向つて發砲するのみ城内外の土民は門戸を閉ぢて老幼婦女は難を四方に避け全街寂寥たるものがあつた。間もなく翌正月元旦午前一時五十分に至るや觀音山頂上に烽火が上り次いで三時五十分紗帽山頂に炬火起つた。之れこそ匪徒大舉進襲の信號であつた。四時二十分匪徒城門に薄り小銃を亂發し我兵城壁に依つて之を防ぎ一面傳騎を新竹方面出動部隊に飛ばして來援を求め守戰十數時間午後三時に至り新竹守備隊來着指揮官内藤大佐所部の二個中隊を臨山少佐に附して敵の側背を衝かしめ又砲臺砲三門を利用して砲兵隊を編成し公平砲兵大尉之を指揮し西門外に砲列を布き臨山少佐の一隊を離脱したので匪徒遂に敗れ圍を解いて退いたのである。更らに基隆より南蘇澳に至る東海岸一帯の地方は獨立後備第五大隊の警戒區域に屬し兒玉中佐之が司令官であつたが兵力の大部は基隆、宜蘭の二個所を根據と爲し此外蘇澳、礁溪、頭圍、大里簡に各隊を配置し兒玉中佐諸隊を指揮してゐた。十二月二十八日島取頭圍警察分署長は大里簡方面賊情不穩の報を聴き午後七時高橋警部心得をして宜蘭に急報し分署長自ら配下警察官を率ひ分遣隊員と共に頭圍を發し翌二十九日午前一時大里簡に着し同地守備隊員と合し頂雙溪に向つて發足草嶺を越へんとする比忽ち匪徒數百に遇ひ直に戦端を開き巡查木村總藏敵彈に斃れた。

第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者

官職	氏名	本籍	備考
總督府員 巡查心得	川崎健十郎	鹿兒島縣鹿兒島郡伊敷村字永合六五	靖國神社合祀 建功神社合祀
臺北縣基隆支 總督府員 巡查心得	長谷川善兵衛	長崎縣南松浦郡敷宿村大字川原六〇五	靖國神社合祀 建功神社合祀
臺北縣基隆支 總督府員 巡查心得	前田重明	鹿兒島縣豐後郡福山村大字福澤七	靖國神社合祀 建功神社合祀
臺北縣基隆支 總督府員 巡查心得	山本房太郎	福岡縣築上郡上城井村大字本庄一三〇九	靖國神社合祀 建功神社合祀
臺北縣基隆支 總督府員 巡查心得	大神敬輔	福岡縣早良郡原村大字原八五〇	靖國神社合祀 建功神社合祀
臺北縣基隆支 總督府員 巡查心得	伊丹氏家	福岡縣早良郡原村大字荒江	靖國神社合祀 建功神社合祀
總督府員 巡查心得	小田原勇吉	鹿兒島縣高城郡高城村字村鹿四〇	靖國神社合祀 建功神社合祀
宜蘭警察署 東分署	小島善雄	福岡縣福岡市須崎町土平町七八	靖國神社合祀 建功神社合祀
總督府員 巡查心得	木村總藏	大分縣下毛郡中津町片端町一三六五	靖國神社合祀 建功神社合祀
宜蘭警察署 東分署	原田實	鹿兒島縣薩摩郡宮之城村船木一〇	靖國神社合祀 建功神社合祀
宜蘭警察署 東分署	西島幸太郎	福岡縣早良郡桂濱町字岩町四一五六	靖國神社合祀 建功神社合祀
總督府員 巡查心得	川畑莊次郎	鹿兒島縣鹿兒島郡吉野村字阪元二一	靖國神社合祀 建功神社合祀
臺北縣基隆支 警察出張所	東島清一	佐賀縣佐賀市赤松町五一六	靖國神社合祀 建功神社合祀



第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者

勢を得將に頭圍に薄らんとするの状あり。宜蘭支廳長の通報に依り礁溪守備隊既に退き宜蘭城の包圍する所なるを知つたので此時頭圍に在つた兒玉中佐は頭圍の地形防禦に利あらず兵力微弱にして到底匪徒を撃退すること能はざるを慮り一死を期して賊圍を破り宜蘭隊に合すること決心し兵力の損傷を覺悟して本道を背進したのであるが巡查原田實賊丸に中りて戦死した。賊勢に乗じて攻撃すること甚だ急我軍は或は戦ひ或は退き三十一日午前四時宜蘭に達し守備を堅めて防戦したが河田巡查も宜蘭街で一月一日戦死した。

是是二十九日宜蘭では頭圍地方状況偵察の爲め巡查五名を派遣したのであるが途既に賊徒に遮閉せられたのを知つて引返へし宜蘭城内の警備配置についた。翌三十日午後四時礁溪地方偵察の爲め派遣せられた宜蘭守備兵の一隊は匪徒の攻撃を受け北門河岸に引返し來るの報があり宜蘭警察署長は鹽川警部をして巡查七名を率ひしめ第三渡船場を警戒せしめ又巡查西島幸太郎は南門附近を偵察せしめ武營内に匪徒二名の潜伏せるを認め追究せんとして賊の爲め狙撃せられ死亡するに至つた。三十一日頭圍警察分署の警部二名巡查十七名は兒玉中佐統率の下に頭圍より宜蘭に引揚げ同地の警備力は茲に充實することを得たものである。此頃羅東警察分署管内紅水溝堡大湖底地方に屢々蕃害があるので其の實況を調査し併せて匪徒劉乞食なるものを捜査せんが爲め二十九日巡查部長小島善雄(後警部に昇進)をして巡查小田原吉、伊丹氏家、大神敬輔、山本房太郎の四名並に密偵等を追捕に向はしめたのであるが途中匪徒の包圍に陥り悉く戦死した。

如是明治二十八年歳末より翌正月にかけて臺北近郊の匪擾は到底少數在臺警察軍隊の手に剩す處であつたが幸に一月二日第二師團の補充兵約二千が基隆に到着したので總督は直に其の一隊を宜蘭に赴援せしめ他の一隊を二分して其の一は安藤中佐の應援隊として頂雙溪方面に殘餘の約一千は三個の警備隊及一個の小砲隊を組織編成せしめ比志島兵站監が之を指揮して臺北附近の警備に任することになつた。其後臺北近郊の各地に於ては匪徒去來の風評頻りにあつたが充實せる軍隊及警察隊を以て攻勢に出たので大事に至らなかつた。然し宜蘭方面は所謂懸軍百里容易に之れが危急を救ふことが出来なかつたので同地守備隊及警察隊は孤立無援に陥らざるを得なかつた。匪徒は各方面より氣勢を擧げて屢々肉薄したが我隊よく奮闘容易に敵手に委するを許さなかつた。一月四日午後四

總督府員 巡查心得 臺北縣深坑街 警察出張所	伊地知幸之進	鹿兒島縣鹿兒島郡谷山村上福元五一四	靖國神社合祀
總督府員 巡查心得 臺北縣深坑街 警察出張所	松田秀熊	山口縣佐波郡出雲村大字堀村三〇〇	靖國神社合祀
總督府員 巡查心得 臺北縣深坑街 警察出張所	北村鼎四郎	佐賀縣佐賀市大字柳町五二	靖國神社合祀
總督府員 巡查心得 臺北縣深坑街 警察出張所	大久保操	鹿兒島縣日置郡西市來村大字湊町一一二	靖國神社合祀
總督府員 巡查心得 臺北縣深坑街 警察出張所	内田彌三郎	山口縣厚狹郡高千帆大字東高泊村四八四	靖國神社合祀
總督府員 巡查心得 臺北縣深坑街 警察出張所	日高助市	鹿兒島縣鹿兒島市春日小路町一七四	靖國神社合祀
總督府員 巡查心得 臺北縣深坑街 警察出張所	山崎政孝	福岡縣山門郡城内村大字新外町一三二	靖國神社合祀

時軍隊の應援隊四百餘名來着城内の人心始めて平靜を保つに至つた。六日蘇澳との連絡を通じ亦軍隊は城外に出て賊徒を掃蕩せんとし出發せるも殆んど效を致すことが出来ず翌七日には匪徒大舉再び城門に逼るに至つた。兒玉中佐軍隊警察隊をして防戦に努めたが敵は城を圍んで容易に退かず巡查澁谷治城(後警部に昇進)山崎政孝(後警部に昇進)の兩人敵陣に中りて死し翌八日匪徒七百餘を集めて城に迫り軍隊警察又力戦之を防いたが巡查渡邊吉次郎重傷(後死亡)した。如是宜蘭地方の匪擾は容易に治る模様はなかつたが臺灣北部匪擾の報内地に達し之が勦滅の目的を以て出征を命ぜられた混成第七旅團は大久保少將の統率の下に字品を發し一月十二日基隆に到着翌十三日宜蘭に後部隊は十四日蘇澳に上陸し草場中佐の隊は直に頂雙溪に向ひ安藤中佐の一隊と交代し蘇田隊に相連絡して南北より掃蕩を圍り漸く之を鎮定することを得た。臺北附近の潛匪に關しても總督は軍隊及警察隊を派遣して之が掃蕩に従事し大に威勢を示して彼等を屏息せしめたのである。

明治二十九年六月二十二日雲林匪擾の際柯鐵の徒六月十六日夜半果然土匪約五十名嘉義城北門外街に襲來し民屋に闖入し機を見て城内に突入せんとするもの、如くであつた。濱崎巡查は同僚と共に奮戦したが賊は家を持めて容易に退かず賊彈ついに濱崎巡查の腹部を貫いたので同僚之を收めて退き醫療を加へたが同二十日終に死去した。

明治二十八年征臺軍の本島席捲の際中部の土匪一時山間に難を避けてゐたが雖て翌二十九年五月頃より雲林地方の土匪漸次擡頭物騒然たるものがあり開應後間もない雲林支廳は終に賊徒の包圍する處となつた。雲林警察署長原田則行は部下警察官を指揮して防戦に努めたが匪勢猖獗を極め案算到底敵することが出来ず支廳員警察署員は軍隊と共に一時難を避くるに至つたが防戦中六月三十日平山巡查は戦死した。同日中部一帯の匪擾の爲め南投分署の菅野巡查、埔里社警察署の北川巡查も戦死するに至つたものである。

總督府員 巡查心得 宜蘭警察署頭 分署	河田榮次郎	熊本縣熊本市中坪井町九八	靖國神社合祀
總督府員 巡查心得 宜蘭警察署	澁谷治城	佐賀縣神埼郡背振村大字鹿路	靖國神社合祀
總督府員 巡查心得 宜蘭警察署	渡邊吉次郎	大分縣下毛郡中津町一七五五	靖國神社合祀
臺南縣巡查 嘉義警察署	濱崎世雄	鹿兒島縣始良郡西襲山村字東郷二七	靖國神社合祀
臺中縣巡查 臺中縣雲林警察署	平山寅之助	茨城縣行方郡大和村字宇崎三九ノ二	靖國神社合祀
臺中縣巡查 南投分署	菅野菊太郎	岡山縣上房郡中津井村	靖國神社合祀
臺中縣巡查 埔里社警察署	北川信正	高知縣安藝郡北川村	靖國神社合祀

第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者



第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者

明治二十九年六月二十八日頭分署管内福徳坑庄内溪底に匪徒の現住するところを密報するものがあり頭分署長五代警部(友祥)は調査十二名土人二名を率ひて之に赴いた一行午後九時署を發し匪徒の居宅を距る約六丁の處に達した時十数名の匪徒は溪間を濶中より現はれ一行に向つて猛烈な射撃を加へて来た。我隊も之に應じ激戦數刻飛丸忽ち五行向部の頸部を貫いて即死するに至つた。

明治二十九年九月三十日臺南縣下荊桐脚庄に於て土匪攻撃中戦死した。

臺北警部 宜蘭警察署頭 分署長	五代友祥 鹿兒島縣鹿兒島市長 田町 三十歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
臺南縣巡查 警務課	山田虎吉 千葉縣千葉市千葉町 三十一歳	靖國神社合祀
臺北縣警部 三角湧警察分 署	樺山資實 鹿兒島縣日置郡伊作 村湯ノ浦二五 二十八歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
臺北縣警部 三角湧警察分 署	大寺雄熊 鹿兒島縣鹿兒島市荒 田町一六〇 二十六歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
臺北縣警部 三角湧警察分 署	蘭牟田渡一郎 鹿兒島縣肝屬郡垂水 村字田神四五三 三十四歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
臺北縣巡查 三角湧警察分 署	高橋隆一 大分縣北海郡市濱 村大字江無田四一 二十七歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
臺北縣巡查 三角湧警察分 署	山中淺次郎 埼玉縣北足立郡大宮 町六五四 四十一歳	靖國神社合祀 建功神社合祀

明治二十九年十一月三十日北斗警察分署村上巡查は分署長と共に社頭街の匪徒掃蕩に赴き先頭に在つたが潜匪突如銃撃し來りついに賊弾に殺れた。(警部に昇進)

許厝寮庄の匪魁某在宅せるの報を聞き明治二十九年十二月二十四日午前二時大野北斗分署長は部下を率ひて之が逮捕に向つた。會々北斗守備隊より派遣した偵察隊の來るのに遭遇其の援助を求め自ら警察隊を率ひて正門より進む。匪徒免かる能はざるを覺悟して發砲強に抵抗を持続し數間の間隔に於て彼我の射撃は交換された。此の戦闘に於て巡查松本政太郎敵弾に中りて即死し同じく松本昌介は重傷もなく死し兩名共に警部に昇進した。

明治三十年一月四日新營庄分署隊水井少尉の偵察隊は唯吧咩警察分署長以下の一隊と共に張添壽の黨百餘と苦谷脚に遭遇戦を演じ戦死上下二、負傷水井少尉以下二名を出したが唯吧咩警察分署長賀川警部も亦上地の敷設せる地雷に接觸爆發の爲め身體は附近の谷に墜落し即死を遂げた。

明治三十年一月十八日軍は大平頂の殘賊及濁水溪後大埔方面の匪群を掃蕩するの計畫を樹てた。嘉義警察署の川又警部は巡查十名と共に軍に従ひ行動中村上巡查は峻坂を攀じ前進した處兵四名と共に敵弾を蒙り即死するに至つた。

臺中縣警部 彰化警察署北 斗分署長	村上彌市 愛媛縣喜多郡喜多村 字中村二一八 二十九歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
臺中縣警部 彰化警察署北 斗分署	松本政太郎 熊本縣下益城郡松橋 町一一三九 二十九歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
臺南縣警部 唯吧咩警察分 署長	賀川濟 新瀉縣蒲原郡百賀村 四十一歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
臺南縣巡查 警務課	村上備 長崎縣南高來郡島原 村 三十七歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
臺南縣巡查 警務課	鎌田義潔 北海道石狩國上川旭 川村 二十五歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
警務課	窪田左仲 山梨縣東山梨郡松里 村 三十三歳	靖國神社合祀 建功神社合祀

第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者







第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者

且つ廳舎に火を放つたので巡査殆んど應戦に遅なく忽ち草草巡査(後警部となる)竝に同じく中村敦の兩名戦死し他の詰合巡査數名何れも輕傷を負ふて漸く脱出するを得た。	嘉義縣巡査 北港警察署土庫分署埔姜崙派出所	中村敦	山口縣大津郡愛海村 二十四歳	靖國神社合祀
明治三十一年七月二十九日臺中縣員林地方の匪魁廖阿燒の一黨員林辨務署管内皮仔寮派出所を襲ふた。社頭派出所長諫訪警部統隊を聞き匪徒の襲來を察し直ちに巡査十餘名を率ひて之に赴いた。賊の抵抗激しく容易に退却する模様が見えないので諫訪警部は意を決し隊員をして射撃を止めしめ大突撃を行ふこと數回終に匪魁を斃して之を撃退することを得た。がこの突撃に隊員中最も勇敢に行動した平野巡査(公務を帯び彰化に向ふ途中一行に加はる)同社頭派出所勤務都賀田巡査の兩人は賊弾に瘡れた。	臺中縣巡査 員林辨務署皮仔寮派出所 臺中縣巡査 員林辨務署社頭派出所	平野信太郎 都賀田久吉	熊本縣鹿本郡來民町 一七六〇 二十七歳 石川縣金澤市主馬町 四四 三十二歳	靖國神社合祀 靖國神社合祀
明治三十一年八月二十七日夜半林少猫配下の土匪約三十許鳳山を襲撃城壁の間隙より侵入鳳山病院に迫つた。巡邏途中の今泉巡査病院事務員藤堂熊太郎と共に之を防いで賊弾に中り即死するに至つた。	臺南縣巡査 鳳山辨務署	今泉彌太郎	佐賀縣小城郡南山村 大字古湯 不詳	靖國神社合祀
明治三十一年九月十一日高味巡査は同僚岸本文秀、内柴濱雄、田代善次郎等と共に囚人護送の任に當り臺中縣他里霧支署へ向け押送途中他里霧堡石龜溪底に於て土匪簡獅旺の一黨約二百名の襲撃する處となり必死交戦したが衆寡敵する能はず高味、内柴、岸本の各巡査敵弾に瘡れ單り田代巡査のみ重圍を脱し大莆林支署に至つて急を報することが出来た。	臺南縣巡査 打猫辨務署大莆林支署 臺南縣巡査 打猫辨務署大莆林支署	高味門吉 内柴濱雄 岸本文秀	福井縣福井市錦下町 一九ノ二 二十五歳 熊本縣鹿本郡廣畑村 大字長嶺一七八七 二十三歳 鳥取縣八頭郡大内村 大字郷原一七 二十六歳	靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀

明治三十一年九月九日臺北縣海山堡の暗坑庄土名竹篙厝の民屋に匪首因仲外數名潜伏するの報があり三角湧辨務署上田第二課長は同夜巡査部長以下七名を引率し之に赴いたが同夜二時路傍の竹叢中より不意に射撃を蒙り一彈忽ち巡査部長茂串縫三郎の下部を貫通し負傷中治療翌日死亡した。(警部に昇進)	臺北縣警部 三角湧辨務署	茂串縫三郎	栃木縣安蘇郡水室村 字柿平二〇九九 四十歳	靖國神社合祀
明治三十一年九月二十四日匪偵察中鳳山市街南方甘藷園にて土匪と交戦々死した。	臺南縣巡査 鳳山辨務署	谷輪廣吉	兵庫縣神戸市塚本通 三十歳	靖國神社合祀
明治三十一年九月二十一日午前一時土匪約三十餘人夜陰を利用して鹿港和興街の民屋を襲ひ財物を掠奪した。鹿港辨務署勤務巡査内山義美警報を聴き直に之に赴き撃擲に努めたが不幸大脚部に負傷治療中二十四日遂に死亡した。	臺中縣巡査 鹿港辨務署	内山義美	山口縣都濃郡徳山村 三十二歳	靖國神社合祀
明治三十一年八月十六日六辨務署樹仔脚警察官吏派出所長原田警部は同日午前五時過部下巡査及守備隊員と共に匪徒を搜索嫌疑者二十餘名を捕へ歸途に就いたが午前九時頃同庄内湖仔内庄端に於て中部の匪徒約六十名と衝突交戦數十分に及び戦闘中賊弾を浴びて即死した。	臺中縣巡査 斗六辨務署樹仔脚派出所	足立榮藏	大分縣豐後國玖珠郡 森町三六二 二十六歳	靖國神社合祀
明治三十一年九月二十八日南部の匪首魏關及陳旺の徒部下二百餘名を率ひ嘉祥外里五甲尾庄に集合し阿公店辨務署を襲撃せんとするを探知し中村巡査は憲兵警吏等と共に偵察中匪徒の爲めに發覺狙撃を受け胸部に貫通創傷を負ひて即死を遂げた。	臺南縣巡査 阿公店辨務署	中村森三郎	長崎縣南高來郡南串 山村六三六 三十一歳	靖國神社合祀
明治三十一年十月一日恒春辨務署勤務東郷巡査は郵便護衛として出張途中海口庄を距る數丁の老古頭と稱する海濱に於て岩石の間に潜伏せる匪徒より狙撃せられ即死するに至つた。	臺南縣巡査 恒春辨務署	東郷貞之助	茨城縣筑波郡小野川 村大字小野崎九 二十九歳	靖國神社合祀
明治三十一年十月十日古賀巡査は同僚上村末次郎と共に撲仔脚行郵便物の護送を爲し午前九時頃柴頭港堡正音庄に着かんとする頃土匪約四十名に襲撃せられ互に銃火を交へたるも衆寡敵せず賊弾に中つて即死し上村巡査は幸じて退却命を全ふした。	嘉義縣巡査 嘉義警察署	古賀太三郎	佐賀縣三養基郡北茂 安村字江口四一五 二十九歳	靖國神社合祀

第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者















第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者

<p>明治三十二年一月末臺中縣は中部匪徒の掃蕩を企て先づ員林辨務署管内より實施し亞て南投辨務署管内に移つた。大迫、迫田の兩巡査も應援を命ぜられ二月五日大虎山脚庄附近の一民屋に匪賊の潜伏し居るの報を聴き午前十時同庄に着し部署を定めて各戸につき實査に着手せんとするや忽ち匪徒の狙撃に遇ひ應戰數刻迫田巡査胸部に貫通銃創を負ひ即死を遂げ亞いで大迫、村上某の兩巡査も重傷を蒙り手當を爲したが大迫巡査は即日死去するに至つた。</p>	<p>臺中縣巡査 臺中辨務署 臺中縣巡査 臺中辨務署</p>	<p>迫田種茂 鹿兒島縣始良郡蒲生村久徳三〇六 四十七歳 靖國神社合祀</p>
<p>明治三十二年二月七日宜蘭縣東港辨務署管内三塊厝派出所長として岡野警部は巡査二名を率ひ部内巡査中匪徒數名が民家を掠め來るのに遭ひ誰何したるに匪徒は俄かに一民家を襲ひた。一行之に應戰遂に擊退することを得たが匪徒の一名が一家内に隠れたので岡野警部は巡査二名を率ひて道路を扼せしめ自ら進んで家内の搜索を行はんとする時匪徒九名來して岡野警部の腹部を貫き翌九日死亡した。</p>	<p>宜蘭縣警部 宜蘭辨務署東港派出所 臺中縣巡査</p>	<p>岡野爲三郎 長熊本縣八代郡八代町一七九六 三十三歳 靖國神社合祀</p>
<p>明治三十二年二月十二日鹿港辨務署は管内溪湖派出所に於ては逮捕した。恰も途中山麓附近に至り楊令の一子楊泰等の要撃する所となり同巡査は身に數傷を負ひ尚奮闘之を防禦したが衆寡敵せず前額部に貫通銃創を受けて即死した。</p>	<p>臺中縣巡査 鹿港辨務署溪湖派出所</p>	<p>阿比留又次郎 滋賀縣滋賀郡膳所中庄 二十七歳 靖國神社合祀</p>
<p>明治三十二年二月彰化辨務署の遊騎警部は部下巡査等十數名を率ひ二月五日午前四時匪徒を包圍し搜索の歩を進めた。伊藤巡査進んで屋内に入り二賊を捉へたが餘賊暗中頻りに發砲抵抗するの爲に包圍を破り屋外に逃げ去つたので同巡査はその状況を確認せんとし奮進する一利那賊の狙撃を蒙つて終に死した。</p>	<p>彰化辨務署 臺南縣巡査 臺南縣巡査 臺南縣巡査</p>	<p>伊藤秀五郎 鹿兒島縣始良郡加治木村西別府八五 二十九歳 靖國神社合祀</p>
<p>明治三十二年三月十三日臺南縣關帝廟辨務支署紅瓦厝派出所巡査八名は匪徒約二十名附近の甘蔗園内に潜伏することを探知し現場に至つたが四面悉く甘蔗園で匪徒の所在は容易に判らなかつた。そこで甘蔗園に火を放ち捜査中突如潜伏せる匪賊の狙撃を蒙り石神巡査は即死した。</p>	<p>臺南縣巡査 關帝廟辨務支署</p>	<p>石神藤之亟 鹿兒島縣始良郡加治木村西別府八五 二十九歳 靖國神社合祀</p>
<p>明治三十二年六月七日臺北縣新竹辨務支署頭份支署に於ては租稅金千餘圓を辨務主任水橋太郎に携帶せしめ巡査立山義幸を護衛として新竹へ向ひ送致せしめた。同日午後一時過途中竹北一保寮仔脚庄に於て突然土匪九名の逸撃に遭ひ立山巡査之と防禦苦戰中頭部其他に數箇の重傷を負ひ遂に現場に墜れた。</p>	<p>臺北縣巡査 新竹辨務支署頭份支署</p>	<p>立山義幸 宮崎縣宮崎郡廣瀬村下那珂四〇一 三十九歳 靖國神社合祀</p>

<p>明治三十一年十二月十一日臺北縣に於ては山仔脚庄附近の匪賊討伐を爲したが此の討伐行動中鬼丸巡査は水尾庄にて匪首詹番の一黨三百餘名と出會交戦し右腿上部其他に銃創を受け臺北醫院に入院治療中翌年七月二十三日餘病併發して死去するに至つた。</p>	<p>臺北縣巡査 警務課</p>	<p>鬼丸榮助 鹿兒島縣鹿兒島郡谷山村字上福元八一四 二十九歳 靖國神社合祀</p>
<p>明治三十二年八月十二日郵便物を護衛して頂雙溪に至る途中三紹嶺に於て忽ち匪徒十餘名の爲めに襲はれ奮戰防禦を試みたがついに賊丸に中つて即死を遂げた。</p>	<p>臺北縣巡査 基隆辨務署瑞芳支署</p>	<p>原田幸吉 佐賀縣佐賀郡巨勢村字修理田 三十歳 靖國神社合祀</p>
<p>明治三十二年九月八日匪賊五十餘名一團となつて臺北縣桃仔園辨務署中樞辨務支署を襲撃した。支署長部下を督し戰闘三十分餘憲兵屯所の應援に依り漸く之を撃退することを得たが木場巡査(後部長に昇進)はこの時賊弾に中りて即死を遂げた。</p>	<p>臺北縣巡査 桃仔園辨務署中樞支署</p>	<p>木場慶藏 鹿兒島縣大隅郡肝屬郡垂水村田神四七〇 三十二歳 靖國神社合祀</p>
<p>明治三十二年九月十日叭哩沙辨務支署在動中羅東辨務署へ出張の歸途瓦瑤庄原野に於て附近土匪の襲撃を受け戦死した。</p>	<p>宜蘭縣巡査部長 宜蘭辨務署叭哩沙支署</p>	<p>松浦増太郎 島根縣松江市南田町 三十八歳 靖國神社合祀</p>
<p>明治三十二年九月十六日匪徒の一團水返脚辨務署芋菜坑派出所を襲撃し彈丸を雨注した。石田巡査(後巡査部長に昇進)事務所にあつて防戦に努めたが忽ち匪賊の彈丸に斃れた。</p>	<p>臺北縣巡査 水返脚辨務署芋菜坑派出所</p>	<p>石田竹三郎 宮城縣宮城郡松島村大字磯崎三四 二十九歳 靖國神社合祀</p>
<p>明治三十二年十月十七日午前二時頃匪徒數十名一團となつて臺中縣北斗辨務支署を襲撃した。臺中縣北斗辨務支署に在る松浦巡査は単獨市街警邏中匪徒の來襲を認め急を告げ退却せんとした。松浦巡査は飛走したが匪徒の追撃急且つ前途にも餘餘が表はれ進退に窮せしむるに至つた。小川に飛び込んだが終に胸中其他に數箇所の銃傷を受け致命するに至つた。</p>	<p>臺中縣巡査 北斗辨務支署員林支署</p>	<p>松浦初次郎 富山縣中新川郡利田村四〇八 三十歳 靖國神社合祀</p>
<p>明治三十二年十二月十四日臺北縣士林辨務支署刑事勤務中本島人に假裝して匪徒の捜査に従事雙坡派出所附近の一茶店に匪徒蔡包、賴阿乾等阮喜却の三名休居するを發見直に蔡包を捕縛せんとせしが賴阿乾等短銃を以て同巡査を狙撃し蔡包を助けて逸脱した。佐藤巡査銃丸を腹部に受け負傷同日午後三時死去した。</p>	<p>臺北縣巡査 士林辨務支署</p>	<p>佐藤尙太郎 沖繩縣那覇郡西村一四八 三十六歳 建功神社合祀</p>

第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者



第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者

一一一

<p>明治三十二年十二月二十七日午後一時匪徒頼阿乾部下二名と人力車に乗して臺北大稻埕を通過した。陳巡査補之を見て直に大稻埕辨務支署に急報し單身之を追跡錫口部内十四份庄山頭に至つたとき匪徒の覺知遊撃する所となり終に彼等の爲めに慘殺せらるゝに至つた。</p>	<p>明治三十二年十二月二十七日臺中縣北斗辨務支署管内に匪賊の一黨集合の報あり社頭派出所長伊藤警部は部下巡査を率ゐて之が逮捕に向ひ空屋を包圍捜索中暗夜咫尺を辨せず賊は脱出を圖つた。池田巡査の向知り薄り却つて不意の一撃を被り身體の自由を失ひ終に大小二十餘個所の傷痍を受け命を落すに至つた。</p>	<p>明治三十二年十二月二十八日臺中より阿片烟膏を埔里社に運搬するに際し高橋巡査は巡査補勇各一名と共に之が護送の命を受け出張の途中北港溪右岸道路に於て突然道路の兩側に匪徒約四十名現はれ一齊に發砲し來り防戦大に力め匪徒一名を殺したが案竄せず賊彈數發を浴びて即死した。</p>	<p>明治三十三年三月十四日午前二時南部土匪騷擾對策の一として設けられた唯吧啤辨務支署茄拔派出所第一見張所に土匪約三十名來襲巡査水島保作及若林伊三郎等所員數名應戰水島、若林兩巡査は賊丸に中りて死し巡査佐々木某及壯丁一名は重傷を負ふに至つた。</p>	<p>明治三十三年三月二十六日午前九時過臺中縣北斗辨務支署管内三十張犁庄に匪徒潛伏の報があつた。北斗辨務支署動務刑事巡査管野貞次警吏外一名と共に本島服を着用短銃を携へ偵察に行つたが早くも匪賊の偵知する所となり途中田尾庄に潛伏せる匪徒の要撃を蒙り管野巡査は頭部其他に銃創を受け死亡した。</p>	<p>明治三十三年三月二十九日樹仔脚派出所橋本巡査は西螺支署と交通の爲め大茄荖庄に出張し匪徒廖恭を受取り護送歸還の途についた。新宅庄共同墓地通行中に押送匪徒を奪還せんと計畫してゐた附近匪徒十數名の襲撃を受け防戦に努めたが案竄せず終に戦死した。</p>
臺北縣巡査補 大稻埕辨務支署 稻新街派出所	臺中縣巡査 北斗辨務支署 社頭派出所	臺中縣巡査 草鞋墩支署 仔頭派出所	臺南縣巡査 大目降辨務支署 唯吧啤派出所	臺中縣巡査 大目降辨務支署 茄拔派出所	臺中縣巡査 動八等 斗六辨務支署 樹仔脚派出所
陳金塗	池田清次郎	高橋久米藏	水島保作	若林伊三郎	管野貞次
大加納堡大稻埕中街 二四	東京府豐多摩郡大久保村大字久保二〇一 二十八歲	大分縣宇佐郡封戸村 大字青森四八 二十五歲	靜岡縣榛原郡坂部村 坂部二 二十七歲	石川縣鹿島郡東島村 字祖母ヶ浦一二 二十六歲	鹿兒島縣薩摩郡高城 村城上一九 二十九歲
建功神社合祀	靖國神社合祀	建功神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀

<p>明治三十三年四月六日臺中縣南投辨務支署管内南投村附近の歸順頭首陳桐なるものが同辨務支署管内皮仔寮派出所に出頭匪首黃致富等一味清水坑附近に潛伏し居ることを密告し之が東道を爲すべくことを申告した。瀨戸口巡査亦之に加はり翌七日午前七時清水溝に到着匪徒を包圍奮激屋内に闖入したるに匪徒頑強に抵抗し瀨戸口巡査敵弾に右胸部を貫かれて死亡した。</p>	<p>明治三十三年四月十三日礁溪辨務支署在動中の警吏李由(後巡査補となる)は歸順土匪林之傳外數名に包圍殺せられた。</p>	<p>明治三十三年四月二十五日臺南縣新營支署動務中匪徒を護送し上茄荖庄に至る途上之を奪還せんと計畫した匪首林添丁一味のものに潛伏狙撃せられ奮闘終に戦死を遂ぐるに至つた。</p>	<p>明治三十三年六月十八日臺中縣斗六辨務支署他里霧派出所管内新街庄に數名の匪徒潛伏の報があつた。同派出所巡査佐野多七及巡査補林盛源の兩名之が逮捕に赴き同庄三山國廟前に於て一匪を發見之を逮捕せんとする際附近に潛伏してゐた匪徒許別銃砲を以て狙撃し兩人共匪徒の慘殺する處となつた。</p>	<p>明治三十三年六月二十日管内日月潭湖上に匪賊一隻の獨木舟を竊して逃ぐるを告ぐるものあり加藤巡査部長は會田巡査及陳巡査補と共に更に獨木舟に搭し之を追跡中顛覆し遂に陳巡査補と共に溺死した。</p>	
臺中縣巡査 南投辨務支署 水港派出所	宜蘭縣巡査補 礁溪辨務支署	臺南縣巡査 鹽水港辨務支署 新營庄辨務支署	臺中縣巡査 斗六辨務支署 里霧派出所	臺中縣巡査部 長 埔里社辨務支署 北斗派出所	臺中縣巡査補 南投辨務支署 里社支署北斗派出所
瀨戸口勇次郎	李由	染川彌三郎	佐野多七	加藤政一	陳訓
鹿兒島縣附於郡東志 布志村 三十三歲	宜蘭縣本城保南門街 三十二歲	鹿兒島縣川邊郡東加 世田村 二十六歲	新潟縣中頸城郡保倉 村大字上吉野三二 二十五歲	臺中縣他里霧堡他里 霧街一四七 二十二歲	北海道廳樺戸郡月形 村字緑六一 二十九歲
靖國神社合祀	建功神社合祀	靖國神社合祀	建功神社合祀	建功神社合祀	建功神社合祀

第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者

一一二



第一部 領臺當時匪援に基く殉職者

<p>明治三十三年七月十八日午前二時匪首陳錫資、葉加齡の徒十七名臺北縣深坑辨務署管下大溪墘派出所を襲撃した。同所勤務巡査之を防いたが衆寡敵せず窪田善太郎、湯川臨太郎の兩人戦死し、同じく黒田雲章は傷を負ふたが妻女と共に附近の土人家屋に隠れ幸じて生を全ふすを得た。巡査補陳天生外一名事の急なるを見て一は耳空龜派出所に一は石碇派出所に走つて之を告げ深坑支署長急を聞いて馳せつけたときは賊は遠く去つて行く處を知らなかつた。</p>	<p>臺北縣巡査 深坑辨務署大 窪田善太郎 三十三歳 靖國神社合祀</p>
<p>明治三十三年七月臺中縣北港辨務署埔姜崙派出所管内の匪徒密かに歸宅管内牛埔庄の自宅に潜伏せりとの情報を得た同派出所長警部貞包秀一は七月二十一日巡査部長以下三十餘名を引率包圍し一匪を逮捕した際更に數名の土匪が大老庄沙山に潜伏するとの密告に接し進んで之を包圍したるに賊は林投藪内に在つて發砲抵抗した。貞包警部奮然部下を指揮して突進日沙山に登らんとした時賊の狙撃を受け腹部に貫通銃創を負ふて戦死を遂げた。續いて部下巡査入山杉次郎も交戦中大腿上部に貫通銃創を受け戦死した。</p>	<p>臺北縣巡査 湯川臨太郎 二十九歳 靖國神社合祀</p>
<p>明治三十三年八月九日匪魁張呂翁の一黨百餘名沙仔崙派出所を襲撃した。同所勤務巡査部長張一之を偵知し所員並に壯丁を部署して待つてゐた。果敢匪徒殺倒した所員善戰一匪を斃し一匪を傷つたに之を撃退した。この激戦中舟嘉幾久巡査部長銃弾を腹部に受け壯丁二名と共に殲るゝに至つた。</p>	<p>臺北縣巡査 舟嘉幾久三郎 四十六歳 靖國神社合祀</p>
<p>臺南縣唯吧咩支署巡査渡邊順平は明治三十三年八月二十三日郵便物護衛として唯吧咩街より大目降に至る中央地點に於て土匪の襲撃を受け之と應戦したが衆寡敵せず匪丸を咽喉に受けて殲るゝに至つた。</p>	<p>臺南縣巡査 渡邊順平 二十七歳 靖國神社合祀</p>
<p>明治三十三年八月下旬匪首王萬周の一派約二十名虎尾溪南岸一帶の茅草中に潜伏の態があつた。北港辨務署入佐、山本の兩警部部下巡査を指揮して之が搜索に従事した。九月一日匪徒と衝突交戦時漸く之を撃退したが鶴野巡査(後巡査部長に昇進)賊弾に中つて負傷九月五日遂に死去するに至つた。</p>	<p>臺北縣巡査部 長 鶴野種吉 二十四歳 靖國神社合祀</p>

<p>明治三十三年九月三日林杞埔派出所管内清水溪左岸廟口山脚附近に匪徒二十餘名潜伏の報があつた。同派出所長山巡査(後に部長に昇進)は之が偵察に赴いた處潛匪俄に起つて草茅中より突然射撃を加へ來つたので一行之と交戦中同巡査は匪丸に中つて終に戦死を遂ぐるに至つた。</p>	<p>臺南縣巡査 山本信太郎 二十五歳 靖國神社合祀</p>
<p>明治三十三年九月六日大樹脚派出所勤務中土匪の襲撃を受け戦死した。</p>	<p>臺南縣巡査 大塚克彌 二十八歳 靖國神社合祀</p>
<p>明治三十三年九月十日管内油車坑方面を警戒巡邏して歸途洞角山の坂路に於て數十の土匪と邂逅交戦十分賊弾を身に浴びて即死するに至つた。</p>	<p>臺南縣巡査 大塚克彌 二十八歳 靖國神社合祀</p>
<p>明治三十三年九月二十日阿片令違反者逮捕の爲め部内廖阿明方に赴いたが不在で果さず歸途同人の實弟兩名(共に匪徒)に出會ひ直に之を捕縛せんとしたが反撃を蒙り一味の者の來援もあつて衆寡敵せず終に無慘な最後を遂げた。</p>	<p>臺南縣巡査部 長 赤星友助 二十七歳 靖國神社合祀</p>
<p>明治三十三年九月二十三日の夕刻匪徒楊標部下數名を引率し臺南縣關帝廟辨務支署洗坑仔庄派出所を襲ひ警備勤務中の中村巡査に銃刀創十數箇所を負はしめて即死せしむるに至つた。</p>	<p>臺南縣巡査 中村豊次郎 四十四歳 靖國神社合祀</p>
<p>明治三十三年十月十三日斗六辨務署林杞埔派出所管内樟湖山方に陳賜一派の匪徒約二百餘名集するの風評があつた。清水溝派出所長大賀警部同日午後十時偵察に赴き翌十四日午前十一時樟湖山嶺に達するや忽ち優勢なる匪徒の射撃を受け先頭にあつて指揮してゐた警部大賀は賊弾肩間に中つて壯烈なる戦死を遂げた。</p>	<p>臺中縣警部 大賀 梢 三十六歳 靖國神社合祀</p>
<p>明治三十二年十一月十六日午後十一時過匪徒約四十名臺中縣大甲辨務署後里派出所を襲撃した。所員奮勇漸く撃退することを得たがこの戦闘中巡査大山角之助は左肩脚部其他に貫通銃創を負ひ治療に努めたが翌明治三十三年十月八日終に絶命するに至つた。</p>	<p>臺中縣巡査 大山角之助 二十四歳 靖國神社合祀</p>

第一部 領臺當時匪援に基く殉職者



第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者

<p>明治三十三年十月二十五日管内仙峯嶺附近に匪賊の潜伏する風評があつた。同署管内中寮派出所長高宗喜(後警部)に昇進(部下を率ひて)捜索に向つたが忽ち匪徒約二十名と衝突交戦するに至つた。高宗喜部長は身除員を指揮し奮戦匪徒一名を斃したが自らも賊弾を胸部に受け即死した。</p>	<p>明治三十三年十一月五日中部の匪首游木車は二、三の部下を率ひ竊かに蕃委庄の一民屋に身を潜め居るやの密報があつた。永島部長は部下巡査十名を率ひ現場に出張し該家を包圍し部署を定め自ら屋内に侵入檢索せんとして戸を排するや賊弾同巡査部長の胸部を貫いて即死するに至つた。</p>	<p>明治三十三年十一月七日恒春辨務署は會て巡査を殺戮せし匪徒張界逮捕の計を爲した。管原巡査之に加はり萬里得庄大魯公山中に至り翌八日午前一時先張界の潜伏せる茅屋に近づいた。匪徒屋内より發砲抵抗を企て栗島巡査賊弾に傷き容易に屋内に入つた。管原巡査は即ち出来なかつた。管原巡査之を見て猛然躍進し忽ち賊弾に左胸部を貫かれて即死した。</p>	<p>明治三十三年十一月臺北縣大寮嶽方面の匪徒の一團が蕃界へ逃走した事件があつた。窪田巡査は搜索隊の一隊となつて之が搜索に従事中十一月二十一日白石山下に於て匪徒の一團約三十名と衝突交戦中大腿部に貫通銃創を受け戦死するに至つた。</p>	<p>明治三十三年十二月二十九日南部の匪徒多數蕃仔山内島山嶺に潜伏の内報を得た。同山内嶺頂庄派出所警部は斥候巡査三名を派して賊の偵察を爲さしめたるに忽ち匪徒の襲撃を蒙つた。本隊赴援したが匪徒の齊射撃を受け此時先頭にあつた高清水巡査は賊丸を下腹部に受け終に戦死するに至つた。</p>	<p>明治三十四年一月二日夜八時半土匪七、八十臺南縣嘉義辨務署管内竹頭崎を襲ひ北門より入り二群に岐れ前後兩面より竹頭崎辨務署を挟撃し吶喊衝撃して先づ見張巡査補陳倫才を斃し次いで事務所に闖入した。吉利巡査部長は別室に在り變を聞き事務所に現はれた處を土匪の銃殺する處となつた。更に匪群は有馬辨務支署長の室に亂入したが支署長は拳銃を發射して一匪を斃し中庭に躍り出て、署員と共に防戦せるも匪群の攻撃頗る猖獗を極め苦戦一時間半我彈丸の將に盡くる頃鹿麻產派出所巡査等の應援があつて漸く危急より救はれたものである。</p>
臺中縣警部	臺中縣警部	臺南縣巡査	臺北縣巡査	臺南縣巡査	臺南縣巡査
高宗喜一郎	永島子之吉	管原亥平	窪田圭範	高清水源吾	吉利用武
熊本縣鹿本郡山本村大字清水一七九二	栃木縣那須郡野崎村下石山	宮城縣栗原郡鳥矢崎村駒崎九八	愛媛縣松山市立花町二五	宮城縣登米郡淺水村一八一	鹿兒島縣鹿兒島郡密山村上福元七二八
二十九歳	三十三歳	二十六歳	二十二歳	三十歳	二十九歳
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀

<p>明治三十四年一月匪徒多數糾合し臺中縣臺中辨務署頭沅坑の山寨に占據し時機を見て臺中を襲ふの風評があつた。警察憲兵等之が偵察掃蕩に従事したが來援中の幸野巡査(後に巡査部長に昇進)奮戦賊弾を蒙り即死を遂げた。</p>	<p>明治三十四年一月二十四日臺中縣北斗辨務署潮洋厝警察官吏派出所勤務中斗六辨務署より匪首陳春全を傳遞押送の途中圳寮庄に於て不意に匪徒脱走を圖り格闘中同巡査は頭部に重傷を負ひ治療に努めたが甲斐なく二月四日死去するに至つた。</p>	<p>臺中縣北港辨務勤務の喜偵巡査は明治三十四年二月七日食鹽密賣者取締の爲め新港庄に於て警戒中同庄及下崙庄との中間に於て匪賊の爲め殺害せられた。(後巡査部長に昇進)</p>	<p>明治三十四年二月十九日臺中縣彰化辨務署管内港尾厝庄へ小首匪匪却四陳材の一黨潜伏するやの内報があつた。辨務署警部藤村源太郎は部下十名を引率し之が掃蕩に従事中先頭にあつた辻村巡査(後に巡査部長に昇進)賊弾に胸部を射られて即死した。</p>	<p>明治三十四年三月十一日匪徒臺中縣南投辨務署草鞋墩支署龜仔頭派出所管内南港溪山に潜伏し居るの情報があつた。同派出所屋巡査同僚七名と共に搜索に赴いたが間もなく匪首陳猜の一黨に遭遇交戦中屋巡査は戦死した。</p>	<p>明治三十四年三月二十一日小竹下里大崎脚庄の山中に占據せる土匪討伐の際戦死した。</p>
臺中縣巡査部	臺中縣巡査部	北港辨務署	彰化辨務署	臺中縣巡査	臺南縣巡査
幸野彦太郎	川合龜治	喜偵喜志哉	辻村宣卿	屋直次郎	片岡善作
福井縣三方郡北西郷村大字早瀬八四	山形市八日町七〇五	鹿兒島縣大島郡灣村一九三	三重縣一志郡多氣村大字上多氣一四	鹿兒島縣大島郡名柄村	栃木縣那須郡向田村大字南野上八三
二十七歳	二十七歳	二十九歳	三十六歳	二十八歳	三十七歳
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀

第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者

<p>宜蘭廳巡査部長岡九一は明治三十四年四月五日同廳頭圍堡福徳坑庄に匪徒潜伏するを知り之に赴きて土匪と衝突戦死を遂げた。</p>
宜蘭廳巡査部長
岡九一
佐賀縣小城郡小城町三七八
二十七歳
靖國神社合祀



第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者

<p>明治三十四年四月五日臺中市街を襲撃した匪徒の一團は南投辨務署管内十八灣庄に集り辨務署を襲撃するやの風評があつた。同署勤務巡查八九名偵察の任務を以て之に赴き果然觀音山下に於て匪徒と衝突するに至り一木巡查は賊弾に右大腿部を貫通せられ戦死を遂げた。</p>	<p>明治三十四年四月二十一日午後九時川邊巡查は匪情の偵察に従事中唯吧降庄を距る西方約八町の處に於て方大懸外數名の匪賊に襲撃せられたので極力抵抗を試みたが衆寡敵せず頭部に刀創を受けて終に死去するに至つた。</p>	<p>明治三十四年四月二十九日土匪七八十銃器掠奪の目的を以て臺南縣鹽水港辨務署管内大埔派出所を襲ふた。先づ匪群は三隊に分れ一隊は直に派出所を襲ひ所員兩名極力應戦したが衆寡固より敵すべくもなく藤島巡查之に戦死した。</p>	<p>明治三十四年五月三日觀音内里辨崎庄山中に於て土匪と交戦々死した。</p>	<p>明治三十四年五月三日羅東街に於て匪賊の爲め銃創を受け宜蘭醫院に入院加療したが翌々五日終に死去した。</p>	<p>明治三十四年五月二十五日唯吧降辨務支署密枝派出所勤務遠藤、樋野兩巡查は小匪首吳鴻を逮捕して唯吧降辨務支署に押送したが途中茄拔附近に於て土匪路傍より襲撃した。不意を襲はれ遠藤巡查之に戦死した。</p>	<p>明治三十四年五月二十一日匪徒勞水坑派出所を襲撃するの報があつたので辨務支署は千葉巡查外一名を應援として派遣することにした。兩巡查同日午後十一時東頂庄附近に達するや匪徒數名道途に之を要して發砲千葉巡查は賊弾に斃れた。</p>	<p>臺北縣坪林尾支署管内倒吊仔派出所勤務巡查木原喜市は明治三十四年六月三十日臺北宜蘭間郵便物運送の護衛を爲し土名四堵溪谷橋上に至るや土匪の襲撃を受け即死を遂げた。</p>	<p>明治三十四年五月二十六日臺南縣鳳山辨務署管下磚仔厝庄に於て土匪に襲撃せられ戦死した。</p>	
臺南縣巡查	臺南縣巡查	臺南縣巡查	鳳山辨務署	宜蘭廳巡查	臺南縣巡查	臺南縣巡查	臺北縣巡查	鳳山辨務署	
一木朝次郎	川邊政太郎	藤島高典	橋口季吉	大多和重作	遠藤福太郎	千葉米之進	木原喜市	長沼忠三郎	
山梨縣北巨摩郡新富村三〇二	三重縣多氣郡佐奈村大字前村一	石川縣鹿島郡越路村六二九	鹿兒島縣豐後郡末吉村	神奈川縣久良岐郡中村一三九五	栃木縣安蘇郡新合村大字山形	宮城縣遠田郡大貫村一七二	佐賀縣佐賀市材木町一六五	長野縣下伊那郡飯田町一四〇	廣島縣廣島市水主町三五五
三十一歳	三十歳	三十二歳	二十七歳	四十五歳	三十四歳	三十一歳	二十八歳	三十一歳	三十七歳
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀

<p>明治三十四年六月五日小島巡查は俵給受領の爲め唯吧降辨務支署に赴き歸途唯吧降を距る一里二十町計土地公湖附近に於て匪徒數名に襲撃せられ臺灣刀を以て斬りつけられ身に數創を浴びて遂に戦死するに至つた。</p>	<p>明治三十四年六月六日匪首鍾佑等の一黨約數十名集合夜陰に乗じ臺中縣北港辨務署背支署を襲撃した。當時支署長不在の爲め警部補(後警部に昇進)荒卷甲之助代理を爲してゐた。此夜壯丁六名を嶺背街端に出し巡查南崎已之助之を監督として警戒せしめてゐたが午前二時突如土匪の射撃を受け南崎巡查は創を被つて支署の後門より馳せ込み匪襲を告げた。荒卷警部補急起つて事務室に出づれば土匪既に其の前面に闖入し石油罐を亂投して油を屋内に注ぎ火を放ちて一面銃火を浴せ來つた。荒卷警部補は忽ち敵弾を受けて斃れ署員共に起ちて防禦したが匪徒の攻圍益々急巡查星野富次も亦斃された。残員南崎巡查を扶けて西面竹垣を踏へ去つて一民家に匿れんとしたが途中巡查小笠原清勝、高橋榮三郎相踵いで</p>	<p>臺中縣巡查</p>	<p>臺中縣巡查</p>	<p>北港辨務署背支署</p>	<p>臺中縣巡查</p>	<p>北港辨務署背支署</p>	<p>臺中縣巡查</p>	<p>北港辨務署背支署</p>	<p>北港辨務署背支署</p>
小島治郎吉	荒卷甲之助	南崎已之助	星野富次	小笠原清勝	小島治郎吉	荒卷甲之助	南崎已之助	星野富次	小笠原清勝
鹿兒島縣薩摩國指宿郡今和泉村字岩本六六	石川縣江沼郡矢田野村字二ツ梨五一	新潟縣中頸城郡諏訪村字上眞砂八	東京市神田區猿樂町三	鹿兒島縣薩摩國指宿郡今和泉村字岩本六六	石川縣江沼郡矢田野村字二ツ梨五一	新潟縣中頸城郡諏訪村字上眞砂八	東京市神田區猿樂町三	鹿兒島縣薩摩國指宿郡今和泉村字岩本六六	石川縣江沼郡矢田野村字二ツ梨五一
三十五歳	三十三歳	二十五歳	三十二歳	三十五歳	三十三歳	二十五歳	三十二歳	三十五歳	三十三歳
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀

第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者











第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者

斗六廳は明治三十四年十二月所轄警察官を以て繼續的に匪窟の搜索を爲さしめたのであるが斗六廳警務課に於ては佐々木英之助は第七捜索隊に編入せられ第二分隊長として部下を率いて山間溪谷の搜索に従事し同月三十日匪首莊義兄弟の率し約四十名と番坪坑に遭遇交戦奮戦賊弾に死れ餘黨又悉く負傷引いて引揚げた。

明治三十四年末嘉義東堡一帶の地に於て土匪の掃蕩行はるゝや嘉義廳巡査田藤平五郎も討伐隊に編入せられ秋葉警務課の一隊に加はり翌三十五年一月二十六日後大埔を發して南進歴程して二十八日三脚山の北約十五、六清里の地に至つた時俄に土匪百餘と衝突其の射撃猛烈を極めたので我隊も亦展開應戦幸じて之を撃退した。この戦間に田藤巡査は戦死し二階堂巡査も重傷嘉義醫院に收容治療を加へたが藥石効を奏せず三月八日死去するに至つた。

明治三十五年二月十六日嘉義廳前大埔支廳管内は匪魁阮振の根據する所田中前大埔支廳長分隊せる匪徒の一群約五十名が嘉義東埔水底寮附近に潜伏するの報に接し之を掃蕩に赴き十八日葉屈に迫り之と交戦四十餘分漸く撃退することを得たが此の戦間に同支廳長は賊丸を蒙りて戦死を遂げた。

明治三十四年末南部土匪の大掃蕩行はれ二、三の匪魁は既に我誅戮に伏したとは謂へ林添丁、林養等の一派尙餘類を集めて山谷に潛み險に據り出沒端睨すべからざるものがあつた。繼て林添丁部下を率ひて嘉義東堡義仔寮の溪底に潜伏せりとの情報があつたので我警察搜索隊中雨田警務課生駒警部の別動隊は二方面に岐れて其の背後を衝き宮内嘉義廳警務課補(安正)は山地搜索第三分隊を率ひて凍仔脚より進み直ちに義仔寮を溯り其の前面を衝く計畫であつた。總督府中田警視の隨員脇山警部(熙)は行動監督として之に加はつてゐた。三月二十五日匪窟に迫つたとき土匪は道に要し岩石に據つて狙撃を加へ

來つた。一隊直に之と交戦したが溪窄く地危くして戦甚だ困難を極めた。脇山警部自ら先頭に立ちて一隊を指揮したが匪丸忽ち額に中り正帽日章を碎いて重傷を蒙つた。この惨害の戦に巡査及川東五郎は背部に、一番瀬市三及び森省三、伊藤勝太郎は胸部に、壯丁二名も亦咽喉胸部等に賊弾を受けて戦没した。隊長宮内警部補も亦右腕及兩足を撃貫せられ全隊殆んど戦闘力を失ふの悲惨事を招來した。隊長巡査をして急を凍仔脚分遣隊に告げ其の來援を得て漸く撃散することを得た。宮内警部補は直に收容嘉義病院に送つて治療を加へたが藥石効を奏せず同二十七日午後終に死去するに至つた。

明治三十五年三月二十六日南部の小匪首吳枝全龍陀港派出所管内舊港口庄の魚溜小屋に現はれ銃刀を以て漁夫を脅迫し金員を強奪したとの内報があつたので同派出所勤務巡査佐藤六右衛門は即時現場に至り匪賊を逮捕せんとした利那賊弾に胸を貫かれ即死を遂げた。

明治三十五年五月警察は中部殘匪の搜索嚴重を極め一面歸順を促すことになり五月二十五日斗六廳警務課に於ては匪魁張大猷以下六十餘人を警務課に集め正式歸順式を舉行することになつたものであるが此の席上身體檢索のことより參集土匪一齊に反抗したので取締警察官は之が殲滅を圖つて茲に一大修羅場を演じた。この時接待係長の任務に従事してゐた斗六廳警務課藤茂四郎は匪徒の隠し持つてゐた拳銃に腹を射られて重傷を負ひ翌二十六日終に死亡した。この際同じく巡査佐藤新三郎も銃創を被り直に衛成病院に送致手當を受けたが之亦翌二十六日早曉死没するに至つた。

斗六廳警務課	佐々木英之助	沖繩縣首里金城前六	靖國神社合祀
嘉義廳巡査	田藤平五郎	岡山縣川上郡松原村 字松岡一〇五	靖國神社合祀
中埔支廳	二階堂彦二	鹿兒島縣鹿兒島郡伊 敷村大字小野	靖國神社合祀
鹽水港廳警務課 勳八等	田中政太郎	福岡縣糸島郡北崎村 字小田二九〇七	靖國神社合祀
前大埔支廳長	脇山熙	廣島縣賀茂郡内海村 四九二	靖國神社合祀
總督府警部	宮内安正	鹿兒島縣鹿兒島市鷹 師町一三	靖國神社合祀
警察本署	及川東五郎	岩手縣西磐井郡一ノ 關町七七五	靖國神社合祀
嘉義廳警務課補			靖國神社合祀
嘉義廳警務課			靖國神社合祀
嘉義廳巡査			靖國神社合祀
中埔支廳			靖國神社合祀
嘉義廳巡査			靖國神社合祀
中埔支廳			靖國神社合祀
嘉義廳巡査			靖國神社合祀
警務課			靖國神社合祀

嘉義廳巡査	一番瀬市三	佐賀縣神埼郡春振村 大字腹巻二七	靖國神社合祀
中埔支廳	森省三	鹿兒島縣川邊郡知覽 村二四四	靖國神社合祀
嘉義廳巡査	伊藤勝太郎	長野縣諏訪郡湊村五 八	靖國神社合祀
警務課	佐藤六右衛門	宮城縣宮城郡大澤村 一四四	靖國神社合祀
鳳山廳巡査 阿公店支廳彌 陀派出所	寺石久三郎	京都府紀伊郡伏見京 町一〇ノ一五	靖國神社合祀
鹽水港廳巡査 店仔口支廳	齋藤茂四郎	長崎縣壹岐郡飯伏村 大字本宮一二四	靖國神社合祀
斗六廳警務課	佐藤新三郎	山形縣米澤市清水町 三二四二	靖國神社合祀
警務課			靖國神社合祀

第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者



第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者

明治三十五年六月四日番匪十數名突如桃仔園廳銅鑼閣派出所を襲撃した。所員巡查森田幸太郎及巡查補莊修才善戰一匪を殲せるも衆寡敵せず共に賊弾を浴びて戦死を遂ぐるに至つた。

桃仔園廳巡查	森田幸次郎	大阪市東區農人橋町一ノ五八	靖國神社合祀
大寮嶼支廳銅鑼閣派出所	莊修才	桃仔園廳桃洞堡龍潭陂庄一六八	建功神社合祀
斗六廳巡查	黑澤慶之助	宮城縣仙臺市石名坂二五	靖國神社合祀
警務課		三十八歳	建功神社合祀
斗六廳巡查	小迫松次郎	大分縣宇佐郡東院内村二九六	靖國神社合祀
崙背支廳		三十六歳	建功神社合祀
斗六廳巡查	鷓塚玉四郎	岡山縣勝田郡廣野村五六	靖國神社合祀
土庫支廳		二十三歳	建功神社合祀
斗六廳巡查	黑澤盛	宮城縣黒川郡吉岡町三二九	靖國神社合祀
下湖口支廳		二十八歳	建功神社合祀
斗六廳巡查	林友市	大分縣北海郡白杵町一〇九三	靖國神社合祀
下湖口支廳		二十五歳	建功神社合祀

明治三十五年五月斗六廳に於ける土匪歸順式後中部の匪魁にして尙歸順又は縛に就かないものも少くなかつたので斗六廳は山地壯丁八百を召集各巡查監督の下に之を使役して日夜搜匪の事に従ふことになつた。七月三十日に至り土民四十餘人嶺頭厝庵古坑の歸順匪首黃傳枝の宅に集り關帝の神輿を擁し祭儀を行ふと稱してゐたが其の舉動に疑はしきことがあつたので所轄派出所から巡查が行つて制止したが衆中俄かに臺灣刀を抜いて反抗するものがあつた。巡查難を免れ更に同僚巡查及憲兵が協力し

て傳枝の宅に向ふた時亂民は既に何れかに逃走した後であつたが彼等一味は山に奔り潛匿中の殘匪を教唆し山地駐屯の警察官及壯丁監督を襲殺し以て軍隊、警察の威壓を掃除すべきを圖つた。此の奸策に乗せられたのが庵古坑區長陳旺の一味で迂濶にも率ふる所の壯丁及不平の徒五十餘名と謀謀し急に梨仔嶺、湖寮窟、石壁、外湖、樟湖、後棟仔、草嶺等に駐屯する軍隊、警察官を襲ふて七月三十一日より八月一日にかけて斗六廳巡查黑澤慶之助、小迫松次郎、鷓塚玉四郎、黑澤盛、林友市、高橋義視、松田隼雄、坂口伊之允、松本薫、中山雅吉、巡查補江三硯、施金桔の外將校其他二、三の軍人をも殺戮したものである。

斗六廳巡查	高橋義視	岩手縣膽澤郡衣川村二三四	靖國神社合祀
他里霧支廳		二十五歳	建功神社合祀
斗六廳巡查	松田隼雄	熊本縣飽託郡小山戸島村字小山三五六六	靖國神社合祀
林杞埔支廳		三十五歳	建功神社合祀
斗六廳巡查	坂口伊之允	佐賀縣藤津郡吉田村一四九	靖國神社合祀
北港支廳		二十八歳	建功神社合祀
斗六廳巡查	松本薫	愛媛縣温泉郡道後村字石手	靖國神社合祀
炭頭厝支廳		三十歳	建功神社合祀
斗六廳巡查	中山雅吉	埼玉縣北葛飾郡松伏領村一〇六六	靖國神社合祀
炭頭厝支廳		二十八歳	建功神社合祀
斗六廳巡查補	江三硯	斗六廳溪洲堡頂藤園庄七	建功神社合祀
樹仔脚派出所		三十三歳	建功神社合祀
斗六廳巡查補	施金桔	斗六廳沙連堡林杞埔街字下寮園三六	建功神社合祀
勞水坑支廳		二十九歳	建功神社合祀

第一部 領臺當時匪擾に基く殉職者



明治三十五年八月壯丁反抗事件の禍因を爲した斗六の匪魁黃傳枝が庵古坑の東一里計の山中に潜むとの情報を得たので同方面に駐屯搜索隊監視の任にあつた斗六廳警部補井上虎太郎は八月二十七日部下巡查、巡查補、壯丁等十數名を率ひ逮捕に向ひ漸く匪巢に切迫したが黃傳枝は重圍を脱して逃げ出さんとしたので斗六廳巡查鈴木五八挺身して之を追ひ將に及ばんとする時傳枝の反撃に遭ひ賊弾を身に浴びて瘡れた。翌二十八日早曉更に他隊の應援を求めて再び傳枝の身邊に迫つた。井上警部補自ら先頭に立ち巡查、壯丁を叱咤號令して將に匪魁に及ばんとするとき忽ち匪弾に腹部を貫通せられて即死を遂げた。

斗六廳巡查	鈴木五八	熊本縣玉名郡大原村 七九二	靖國神社合祀
炭頭厝支廳		三十歳	建功神社合祀
斗六廳警部補	井上虎太郎	大阪府泉北郡南池田 村和田四〇	靖國神社合祀
警務課		二十九歳	建功神社合祀

### 第二部 蕃地に於ける殉職者

蕃地警察は臺灣警察に於ける一の特色を爲すものである。清朝に於ても臺灣難治の原因を爲したものは、一、瘴癘の地たること、二、土匪猖獗なりしこと、三、臺灣全土の過半を占むる山間に於ける蕃人の占據盲動が之れであつた。是等三種の禍根は以て我新政府治下に依然繼續せられた。先づ平地に盲動を逞ふする土匪の平定に警察主力を注ぐことになつたものであるが之は第一部初頭に挙げた經緯の下に明治三十五年に至り平定せられた。

是曩警察官の配置は土匪の掃蕩と共に漸次山脚地帯に普及し漸く蕃人との葛藤を生ずるに至つたものである。既に明治三十年十一月蕃界附近に配置せられた警察官の交通勤務中接壤地蕃人の爲めに兇刃に伏するものが生じた。然しこの頃警察力は尙蕃界に及ばず蕃人の兇行を制すべくもないので對蕃策は殆んど撫育を主とするのみ、蕃人の兇暴性發揮を回避するのが所謂理蕃政策の重點と見らるゝ位であつた。聽て平地土匪の掃蕩後所謂隘勇線前進の行はるゝや蕃人との事端は愈々滋く従つて警察官の之れが毒刃に伏するもの多きを加ふるに至つた。

特に明治四十三年以降即ち佐久間總督の所謂理蕃五箇年計畫樹立せられ、今迄前人未踏全島各蕃地に搜索隊の前進を見るや從來之を根據とし且つ勢力範圍と自信せる兇蕃と隨時隨所に争闘を生じ正に戦争行爲と見るべき事態の頻出を見るに至つた。



天性剽悍天嶮を利し輕捷猿の如く行動する蕃人の爲め警察隊、軍隊等の討伐隊の苦戦禍害を蒙るもの一戦にして數十百に及んだことも尠くない。之れが爲め大正四年五箇年計畫事業の終末を見る迄に蕃地に於て殉職せる警察官の數は夥しい數に上つた。

此の大事業の終了後蕃地要衝の箇所に警備線は設置せられ多數の蕃地警察官は配置せられたが五箇年計畫事業は疾風一過、兇蕃は一時鳴りを靜めてゐるに過ぎなかつた感があり爾後漸く徒黨を組んで警備線を襲撃するの舉に出で所在警察官の致命するもの容易に跡を絶たなかつた。然し其の都度警察隊、軍隊が徹底的膺懲を加へたので、漸次被害は減少するに至つた而して蕃人教育及撫育の効は漸次彼等の兇暴性を去り開化の域に進ませた。然るに昭和六年に霧社蕃の蜂起は一朝にして同胞百三十餘名を殺戮し警察官の職に殞れしもの又數十名の多きに達し理蕃史上は勿論帝國内空前の不祥事として大に理蕃政策の再検討及刷新を叫ばるゝに至つたが冷靜に觀察すると其之は二、三巨悪の蕃人が未だ全く離れ難かつた慘忍性を煽動して事體を茲に立至らしめたものであり何等理蕃政策の根本的方針動搖を來すものでなくこの前後から蕃地に於て職に殉ずるが如き事例は殆んど見ざるに至つてゐる。亦以て帝國政府の理蕃政策の顯著なる成功と見るべきであらう。以下芳名を擧ぐる諸氏こそ其の貴い犠牲者と云はねばならぬ。

記 事	官 職		氏 名	本 籍		備 考
	勤 務	官 職		年 齡	籍	
明治三十年十一月一日北埔辨務署樹杞林分署大窩浪派出所勤務巡查守屋愛之助及大橋龜次郎の兩名は勤務所より上坪憲兵出張所へ交通勤務に赴き大窩浪を距る數町の地點に於て突如蕃人十數名の狙撃を受け餓首せられた。	北埔警察署樹杞林分署大窩浪派出所	新竹縣巡查	守屋愛之助	山梨縣北巨摩郡日野春村字塚川 二十五歳	靖國神社合祀	
明治三十一年十二月二十七日東港辨務署枋寮支署勤務の山野川巡查は枋寮より楓港に交通勤務として赴き歸途楓港附近海岸に於て蕃人の狙撃を受け即死した。	東港辨務署枋寮支署	臺南縣巡查	山野川豊之助	東京市京橋區越前堀 四十一歳	靖國神社合祀	
明治三十三年二月十二日宜蘭廳巡查部長宮田亨は羅東辨務署管内紅水溝堡大湖桶山の山麓に於て附近住民の採薪を制止中兇蕃の狙撃を受け戦死した。	宜蘭廳巡查部長 羅東辨務署茅埔團派出所	宜蘭廳巡查部長	宮田 亨	青森縣弘前市若黨町三 三十二歳	靖國神社合祀	
明治三十三年四月十四日兇蕃三角湧辨務署十股派出所を襲撃せるに際し同所勤務中村巡查部長は部下巡查及警手を指揮し奮戦中賊弾に中りて即死を遂げた。	三角湧辨務署十股派出所	臺北縣巡查部長	中村茂右衛門	宮崎縣宮崎郡瓜生野村大字大瀬五六 三十六歳	靖國神社合祀	
明治三十三年臺北縣大寮嶽地方の蕃人兇暴を極め警察隊之が討伐に従事	臺北縣警部 三角湧辨務署大寮嶽辨務支署	臺北縣警部	瀬ノ口藤助	鹿兒島縣給良郡蒲生村上久徳五二〇 二十八歳	靖國神社合祀	







第一部 蕃地に於ける殉職者

<p>明治三十五年十一月二十九日山杉林支應隊派出所隣接新威派出所と交通に赴き老農漢右岸土名別頭坑に於て兇蕃と衝突交戦せしも衆寡敵せず終に戦死餓首せられた。</p>	<p>明治三十六年一月二十三日兇蕃多數黨東應巴盟衛支應下浸水管派出所に襲來皆川巡查、林巡查補は力戦防禦に努めたるも及ばず遂に兇奴に伏した。</p>	<p>明治三十六年三月十八日枋山支應隊下派出所附近に兇蕃襲來し同所勤務水越巡查番番を襲つた。</p>	<p>阿嶽下北界のラバル番サモハイ、トア、アンバカ三社が久しく我が政令を奉ぜず明治三十六年一月以來兇行を肆にすること十數回に及び之が膺懲の爲め且蕃社内通逃の匪徒を逮捕する必要より搜索隊を編成し五月</p>
<p>蕃警署應隊巡查 山杉林支應隊 派出所</p>	<p>臺東應隊巡查 巴盟衛支應隊 水營派出所</p>	<p>恒春應隊巡查 枋山支應隊 派出所</p>	<p>阿嶽應隊巡查 阿里港支應 阿嶽應隊巡查 警務課 阿嶽應隊巡查 内埔支應</p>
西山三代松	皆川泰治	水越太三郎	豊島要太郎
<p>兵庫縣美濃郡細川村 大字増田村一八</p>	<p>岩手縣西磐井郡老松 村一八八</p>	<p>茨城縣眞壁郡養蠶村 大字藤六</p>	<p>福岡縣朝倉郡高木村 大字佐田四〇二六</p>
<p>二十七日</p>	<p>三十四歳</p>	<p>三十一歳</p>	<p>三十一歳</p>
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀

<p>より六月にかけて前後三次蕃社に突入し番人を撃退し番屋を焼夷し反抗兇蕃を殺傷すること數名に及んだが我隊にも五月十日山上阿嶽應隊巡查の戦死するあり翌十一日には橋本、保科、豊島、貴島、古谷田の五巡查は行衛不明となつた勿論兇蕃の虐殺を蒙つたものである。</p>	<p>明治三十六年六月十八日宜蘭應隊叭哩沙支應管内大湖桶山字嶺寮山第十一山第一分遣所ありし員方巡查は部下隘勇を引率して線外偵察に赴き兇蕃と遭遇交戦中即死を遂げた。</p>	<p>明治三十六年六月十八日宜蘭應隊叭哩沙支應管内大湖桶山字嶺寮山第十一山第一分遣所ありし員方巡查は部下隘勇を引率して線外偵察に赴き兇蕃と遭遇交戦中即死を遂げた。</p>	<p>明治三十六年十月南投應隊下埔里社支應管下阿冷山及台中應隊東勢角支應管内白毛山附近の隘勇線新設を行ひ同方面に割據する南勢蕃の一部阿冷社番人の抵抗を受け彼我對峙すること一週日に亘つたが我警察隊に於ては十月四日田邊巡查が五日に潘巡查補が八日には中川巡查が戦死するに至</p>
<p>阿嶽應隊巡查 警務課 阿嶽應隊巡查 内埔支應</p>	<p>新竹應隊巡查 北埔支應五指 山第一分遣所</p>	<p>宜蘭應隊巡查 叭哩沙支應小 南澳派出所</p>	<p>南投應隊巡查 埔里社支應 南投應隊巡查補 草鞋墩支應土 城派出所</p>
豊島要太郎	貴島英之助	古谷田圓次郎	田邊文七
<p>鹿兒島縣鹿兒島市新 屋敷町一三九</p>	<p>神奈川縣高座郡大和 村字上草柳一〇四〇</p>	<p>長崎縣北松浦郡平戸 村一五〇</p>	<p>鹿兒島縣始良郡重富 村</p>
<p>二十九歳</p>	<p>三十八歳</p>	<p>三十九歳</p>	<p>三十七歳</p>
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀

第二部 蕃地に於ける殉職者

<p>より六月にかけて前後三次蕃社に突入し番人を撃退し番屋を焼夷し反抗兇蕃を殺傷すること數名に及んだが我隊にも五月十日山上阿嶽應隊巡查の戦死するあり翌十一日には橋本、保科、豊島、貴島、古谷田の五巡查は行衛不明となつた勿論兇蕃の虐殺を蒙つたものである。</p>	<p>明治三十六年六月十八日宜蘭應隊叭哩沙支應管内大湖桶山字嶺寮山第十一山第一分遣所ありし員方巡查は部下隘勇を引率して線外偵察に赴き兇蕃と遭遇交戦中即死を遂げた。</p>	<p>明治三十六年六月十八日宜蘭應隊叭哩沙支應管内大湖桶山字嶺寮山第十一山第一分遣所ありし員方巡查は部下隘勇を引率して線外偵察に赴き兇蕃と遭遇交戦中即死を遂げた。</p>	<p>明治三十六年十月南投應隊下埔里社支應管下阿冷山及台中應隊東勢角支應管内白毛山附近の隘勇線新設を行ひ同方面に割據する南勢蕃の一部阿冷社番人の抵抗を受け彼我對峙すること一週日に亘つたが我警察隊に於ては十月四日田邊巡查が五日に潘巡查補が八日には中川巡查が戦死するに至</p>
<p>阿嶽應隊巡查 警務課 阿嶽應隊巡查 内埔支應</p>	<p>新竹應隊巡查 北埔支應五指 山第一分遣所</p>	<p>宜蘭應隊巡查 叭哩沙支應小 南澳派出所</p>	<p>南投應隊巡查 埔里社支應 南投應隊巡查補 草鞋墩支應土 城派出所</p>
豊島要太郎	貴島英之助	古谷田圓次郎	田邊文七
<p>鹿兒島縣鹿兒島市新 屋敷町一三九</p>	<p>神奈川縣高座郡大和 村字上草柳一〇四〇</p>	<p>長崎縣北松浦郡平戸 村一五〇</p>	<p>鹿兒島縣始良郡重富 村</p>
<p>二十九歳</p>	<p>三十八歳</p>	<p>三十九歳</p>	<p>三十七歳</p>
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀



第二部 蕃地に於ける殉職者

南投縣應巡查 集集支廳	中川平一	石川縣金澤市石浦町 二十九歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
蕃薯寮應巡查 山杉林支廳 仔社分遣所	中司年治	靜岡縣富士郡岩松村 松岡二二六 二十三歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
蕃薯寮應巡查 警務課	手來利孝	福島縣雙葉郡熊町村 熊字下中ノ田七六 二十六歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
阿嶺應巡查 警務課	栗飯原喜三郎	德島縣板野郡川内村 一三三 三十一歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
南投應巡查補 埔里社支廳	巫清得	南投應埔里社堡梅仔 脚庄九 二十六歳	建功神社合祀
桃園應巡查 成榮礮支廳	高柳彌兵衛	鹿兒島縣鹿兒島市西 田村三四五 四十一歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
桃園應巡查 大坵園支廳	柿崎豊次郎	青森縣弘前市大字綠 町四 四十七歳	靖國神社合祀 建功神社合祀

つた。

明治三十六年十一月十九日蕃薯寮山杉林支廳仔社分遣所勤務中支廳へ參廳の途次忙仔山中にて數名の番人に要撃せられ之れと交戦せるも終に殺害せらるゝに至つた。

明治三十六年十二月蕃薯寮管内忙仔社番の膺撃搜索隊の編成せらるゝや之に加はり前進中十二月五日忙仔社前面の高地に於て兇番と衝突交戦し終に敵彈肺部を貫き斃れた。

明治三十六年十二月阿嶺應番社トナ社攻撃の際第一山砲隊の砲手たりし栗飯原巡查は砲彈裝填の際信管破裂し兩手其他に重傷を負ひ十日終に死亡するに至つた。

明治三十七年一月二十六日南投應埔里社支廳管内隘勇線に於て腦癘巡視中路銃の爲め負傷治療中死亡した。

明治三十七年四月二十一日蕃地赤柯山に於て出草番人と交戦中敵彈を受けて即死した。

山線に連絡する隘勇線新設計畫を樹て之に著工したが途中番人の猛烈なる反抗を受け五月二日柿崎、佐々木、大森の三巡查戦死を遂げ更に隘勇等十數名の死傷者を出したが尙番人の勢力猖獗を極めたので一時其の計畫を中止するの已むなきに至つた。

桃園應巡查 八等 三角湧支廳	佐々木乙次	神奈川縣久良岐郡戸 太町戸部一〇三 四十歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
桃園應巡查 警務課	大森榮吉	茨城縣稻敷郡牛久村 字牛久 三十二歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
宜蘭應巡查 水溪線隘寮	美田清太	神奈川久良岐郡戸太 町六四四 三十六歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
宜蘭應警部 叭哩沙支廳小 南澳派出所	宇關外次郎	石川縣金澤市古町一 七 四十四歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
叭哩沙支廳	榑原嘉幸仙	鹿兒島縣大島郡天城 村大字手三二〇三 三十歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
彰化應巡查 警務課	酒井鶴太郎	德島縣名東郡國府村 府中町六七 二十六歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
彰化應巡查 警務課	重孫七	鹿兒島縣大島郡浦村 二四 三十二歳	靖國神社合祀 建功神社合祀

當局は明治三十六年十月宜蘭應下叭哩沙支廳管内製腦地を保護する爲め

第二部 蕃地に於ける殉職者







第二部 蕃地に於ける殉職者

<p>明治三十七年二月深坑應は景尾支應管内鹿阿坪を起點とし加久嶺に達し更に丹内山に至り迂回してラハオ社の一部を包容シウライ社を横断して南勢溪を下り屈尺に出て龜山を終點とする隘勇線を設置したが五月以降線外蕃人頻に各方面に襲來し蕃害已まず七月二十五日には巡查松本佐平、八月十日には同中村製炭太郎、八月二十七日には同西本平五郎の三名が戦死するに至つた。</p>	<p>明治三十七年十一月牡丹派出所管内蕃人間に紛擾事件を生じたので同所勤務巡查本田昌信關係者を召喚仲裁一旦和約させたが一方のもの之に不満を抱き同二十日不意に派出所を襲ふて同巡查を殺戮した。</p>	<p>明治三十七年苗栗應に於ては大湖支應管内馬那邦山方面隘勇線前進を爲したが、附近蕃人は歸順條件に不満を抱き十二月一日大舉して大湖支應北洗水坑隘勇所方面一帯に出草遂に巡查小田源左衛門以下隘勇人民二十數名を殺戮した此事件の鎮壓の爲め應援を命ぜられた苗栗應警部菅尾清太郎も十二月六日南洗水坑隘勇監督所砲兵陣地に於て蕃人の狙撃を受け戦傷治療中同月二十八日終に落命した。</p>	<p>臺中應東勢角支應に於ては明治三十八年三月前年來屢々反抗を企てたるサワライ蕃社の脅威を爲さんとし井野邊支應長指揮下の攻撃隊を編成し不意を襲ふて蕃人を撃退蕃屋を焼毀し二十八日引揚を爲すに際し蕃人尾</p>	<p>行し來つて狙撃を加へ隊員中巡查吉山末男、隘勇山野熊吉（後巡查に昇進）の兩名戦死し警部以下十數名の負傷者を出すに至つた。</p>		
<p>深坑應巡查 景尾支應 深坑應巡查 景尾支應 恒春應巡查 蚊蟀支應 派出所 苗栗應巡查 動七等 大湖支應 苗栗應警部 警務課 臺中應巡查 東勢角支應</p>	<p>松本佐平 中村製炭太郎 西本平五郎 本田昌信 小田源左衛門 菅尾清太郎 吉山末男</p>	<p>宮崎縣南那珂郡北郷村字郷ノ原九四 三十九歳 靖國神社合祀 宮崎縣宮崎郡廣瀬村大字下田島村五七五 三十九歳 靖國神社合祀 長崎縣長崎市興善町五〇 三十三歳 靖國神社合祀 熊本縣玉名郡梅林村大字下一八四六 二十九歳 靖國神社合祀 廣島縣比婆郡久代村三八 二十七歳 靖國神社合祀 愛知縣東加茂郡足助町大字足助二九二 三十歳 靖國神社合祀 大分縣速見郡上村一四五 三十四歳 靖國神社合祀</p>	<p>臺中應巡查 東勢角支應 桃園應巡查 三角湧支應其阿四坑隘勇監督所 蕃粟應巡查 山杉林支應 蕃粟應警部 警務課 蕃粟應巡查 山杉林支應 爾派出所 警務課 桃園應巡查 三角湧支應其阿四坑隘勇監督所</p>	<p>山野熊吉 武田市太郎 山崎長作 青木芳彦 南里多喜太 安達菊藏 渡邊友太郎</p>	<p>熊本縣上益城郡河原村八八九 二十六歳 靖國神社合祀 高知縣高岡郡窪川村字西川角一九 三十三歳 靖國神社合祀 福島縣安達郡山木屋村字小塚一 三十二歳 靖國神社合祀 熊本縣玉名郡神尾村 二十六歳 靖國神社合祀 福岡縣糟屋郡宇美村字井野五六三 二十六歳 靖國神社合祀 山形縣北村上郡東郷村大字泉郷二七六九 三十一歳 靖國神社合祀 福岡縣三潁郡青木村大字浮島四五二 二十八歳 靖國神社合祀</p>	<p>靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀</p>

<p>明治三十七年十月蕃粟應山杉林支應管内雁爾溪頭社の蕃人腦丁を誅首し蕃情不穩を極めて居たので蕃情注意中翌三十八年五月一日蕃社に出張せる雁爾派出所山崎巡查を殺害し翌二日には同派出所を襲撃して蕃情鎮壓の爲め滞在中の青木警部及南里巡查を殺害した事件があつた。蕃粟應警務課では松永警部指揮の下に應援隊を派遣したが隊員中巡查安達菊藏は溪頭社附近の激戦で戦死を遂げた。</p>	<p>明治三十八年六月十八日三角湧支應瓦厓埔隘勇監督所勤務中隘勇兩名と共に棟角分遣所へ助勤の爲め出張途中島方頭分遣所を距る約六丁の地點に潜伏中の兇蕃の狙撃を受け即死した。</p>		
<p>臺中應巡查 東勢角支應 桃園應巡查 三角湧支應其阿四坑隘勇監督所 蕃粟應巡查 山杉林支應 蕃粟應警部 警務課 蕃粟應巡查 山杉林支應 爾派出所 警務課 桃園應巡查 三角湧支應其阿四坑隘勇監督所</p>	<p>山野熊吉 武田市太郎 山崎長作 青木芳彦 南里多喜太 安達菊藏 渡邊友太郎</p>	<p>熊本縣上益城郡河原村八八九 二十六歳 靖國神社合祀 高知縣高岡郡窪川村字西川角一九 三十三歳 靖國神社合祀 福島縣安達郡山木屋村字小塚一 三十二歳 靖國神社合祀 熊本縣玉名郡神尾村 二十六歳 靖國神社合祀 福岡縣糟屋郡宇美村字井野五六三 二十六歳 靖國神社合祀 山形縣北村上郡東郷村大字泉郷二七六九 三十一歳 靖國神社合祀 福岡縣三潁郡青木村大字浮島四五二 二十八歳 靖國神社合祀</p>	<p>靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀</p>

第二部 蕃地に於ける殉職者



第二部 蕃地に於ける殉職者

明治三十八年七月三日苗栗廳大湖支廳下隘勇線新設工事作業中の警察隊員を附近兇蕃約四十名を以て襲撃小俣巡査は終に戦死するに至つた。	苗栗廳巡査 大湖支廳南洗水坑隘勇監督	小俣俊郎	山梨縣南都留郡福地村八四	靖國神社合祀 建功神社合祀
明治三十八年七月十七日深坑廳景尾支廳蕃地加九嶺線に蕃人襲來し警備中の西巡査は殺害せらるゝに至つた。	深坑廳巡査 景尾支廳蕃地	西福太郎	鹿兒島縣大島郡知名瀬村六七	靖國神社合祀 建功神社合祀
明治三十八年六月桃園廳は三角湧支廳管内隘勇線前進を企てたるに大豹社蕃人の反抗を買ひ七月十七日突如警備線の襲撃を試み桃園廳警部補(後警部に昇進)兩角孝は終に敵弾に殲るゝに至つた。	桃園廳警部 警務課	兩角孝	熊本縣玉名郡彌富村大字岩崎一三〇	靖國神社合祀 建功神社合祀
明治三十八年八月十九日新竹廳樹杞林支廳内隘勇線監督所員棟仔分遣所勤務中交通任務を帯び單身隣接馬福社隘勇線監督分遣所に至り隣接柏色擁溪谷に於て兇蕃の襲撃を受け終に戦死誠首せられた。	新竹廳巡査 樹杞林支廳内隘勇線監督所員棟仔分遣所	川野桂吾	大分縣西國東郡美和村五一	靖國神社合祀 建功神社合祀
明治三十八年九月二十二日叭哩沙支廳脚分遣所は部内蕃人の襲撃を受け同派出所勤務佐々木巡査は戦死した。	宜蘭廳警部 叭哩沙支廳脚分遣所	佐々木直吉	秋田縣仙北郡大曲町	靖國神社合祀 建功神社合祀
明治三十八年九月二十二日清水溪隘勇線巡視の際九苧湖監督所附近にて兇蕃と遭遇之と交戦戦死した。	宜蘭廳警部 叭哩沙支廳	小松勇馬	高知縣高岡郡窪川村	靖國神社合祀
明治三十八年九月二十八日南蕃約一百蕃人物品交換の官營に疑惑を抱き	蕃署警廳巡査 山杉林支廳四社派出所	入江清一	岡山縣小田郡新山村字山口二九八四	靖國神社合祀 建功神社合祀

且潜匪に煽動せられ蕃署警廳山杉林支廳四社派出所を襲撃した。所員入江、徳田、片岡の三巡査之に戦死した。	蕃署警廳巡査 山杉林支廳四社派出所	徳田武	千葉縣山武郡横芝町鳥喰一〇〇	靖國神社合祀 建功神社合祀
明治三十八年十一月桃園廳に於ては大嶽嶽支廳管内白石山以北鳥嘴山を包容する隘勇線前進の計畫を樹て實行に著手したが十七日五嶽山占領に際し巡査戸井田丑五郎、隘勇伍長梅枝次郎助(後に巡査に昇進)の兩名は敵弾に殲れた。	桃園廳巡査 大嶽嶽支廳管内白石山以北鳥嘴山占領に際し巡査戸井田丑五郎、隘勇伍長梅枝次郎助(後に巡査に昇進)の兩名は敵弾に殲れた。	戸井田丑五郎	栃木縣鹽谷郡北高根澤村大字渡戸一〇	靖國神社合祀 建功神社合祀
明治三十九年三月桃園廳は管下馬武督蕃社制壓の爲め隘勇線の前進計畫を爲したが同日彩和山占領の際蕃人隊との間に衝突を來し桃園廳警部荒川武幹及同巡査島田徳太郎の兩名之に戦死し其他數名の負傷者を生ずるに至つた。	桃園廳警部 警務課 桃園廳巡査 大坵岡支廳	梅枝次郎助 荒川武幹 島田徳太郎	鹿兒島縣鹿兒島郡吉田村一九九 東京市下谷區上野西黒門町一 熊本縣鹿兒島郡沖新村一五九〇	靖國神社合祀 建功神社合祀 靖國神社合祀 建功神社合祀
明治三十九年三月二十七日蕃地通過途中岩石落下し來り爲めに重傷を負ひ治療中死亡した。	嘉義廳巡査 警務課	石母田九十郎	宮城縣栗原郡宮澤村六七	建功神社合祀

第二部 蕃地に於ける殉職者







第二部 蕃地に於ける殉職者

明治三十八年九月十二日部内巡視中誤て地雷に接觸爆死を遂げた。	宜蘭廳警部補 羅東支廳武老 坑監督所	野呂良照	鹿兒島縣鹿兒島市易 居町一九五	靖國神社合祀 建功神社合祀
明治三十九年九月二十三日浸水營派出所勤務中蕃人の狙撃を受け戦死した。	臺東廳巡查 浸水營派出所	櫻井季六	長野縣南佐久郡白田 町	靖國神社合祀
明治三十九年九月二十三日臺東廳巴里衛支廳管下有賀巡查は公務參應の歸所の途次支廳を距る約二里の地點に於て兇蕃數名の狙撃を受け即死した。	臺東廳巡查 巴里衛支廳	有賀藤二郎	長野縣南佐久郡切原 村二〇四	建功神社合祀
明治三十九年九月五日桃園廳下白石按山方面隘勇線前進の行はるゝや千田巡查も之に参加して居たが九月二十七日蕃人の抵抗を受けて終に即死した。	桃園廳巡查 三角湧支廳 仔橋隘勇監督所	千田久藏	宮城縣仙臺市三百人 町六五	靖國神社合祀 建功神社合祀
明治三十九年十月十三日叭哩沙支廳清水溪左岸前進の際兇蕃の狙撃を受けて死亡した。	宜蘭廳巡查 叭哩沙支廳	川崎榮之助	鹿兒島縣鹿兒島市荒 田町	靖國神社合祀 建功神社合祀
明治三十九年十一月十五日松羅溪監督所附近に於て不意に蕃人の狙撃を受け戦死した。	宜蘭廳巡查 叭哩沙支廳	立川熊喜	熊本縣八代郡仁田尾 村	靖國神社合祀 建功神社合祀
明治四十一年一月十六日新竹廳南庄支廳蕃地勤務中隘勇線路作業監督に従事中潜伏せる兇蕃の狙撃を受け之と交戦終に戦死を遂げた。	新竹廳巡查 動八等 南庄支廳	平間百治	宮城縣仙臺市南町七 〇	靖國神社合祀 建功神社合祀

明治四十年一月二十八日松羅溪監督所附近に於て誤て鐵條網に觸れ震死した。	宜蘭廳巡查 叭哩沙支廳 羅溪監督所	須内藏馬	高知縣高岡郡黒岩村	靖國神社合祀 建功神社合祀
明治四十年三月九日大湖支廳下東馬那邦山隘勇線前進に際し地雷埋没の任務に當り數箇の埋没を了し歸途に就かんとする際誤て先に装置せし地雷に觸れ爆發の爲め即死を爲した。	苗栗廳巡查 大湖支廳	松永豐四郎	長崎縣北松浦郡平戸 村大字平戸	靖國神社合祀 建功神社合祀
明治四十年四月八日宜蘭廳羅東支廳に於ては兇蕃の出沒防禦の爲め同支廳下舊寮山線出水分遣所前面に副防禦物埋設作業を爲さしめ居たるに附近兇蕃來襲交戦十分及んだが我警察隊に於ては宜蘭廳巡查門馬、前之園、有馬の巡查が敵弾に中つて即死するに至つた。	宜蘭廳巡查 羅東支廳	門馬經亮	福島縣相馬郡中村町 字北町六	靖國神社合祀 建功神社合祀
明治四十年四月十六日恒春廳下阿哩衛方面警戒の任務を帯び出發し觀音石附近を通過中潜伏蕃人の狙撃を蒙り賊首せられた。	宜蘭廳巡查 羅東支廳	前之園嘉次郎	鹿兒島縣肝屬郡大始 良村獅子目五二五	靖國神社合祀 建功神社合祀
明治四十年大將塚前山蕃及大約蕃等相前後して深坑、桃園兩廳に歸順す	恒春廳巡查補 蚊蟀支廳牡丹 灣派出所 桃園廳巡查 三角湧支廳	有馬矢五郎	鹿兒島縣揖宿郡揖宿 村西方一七二六	靖國神社合祀 建功神社合祀
		潘射岳	恒春廳安定里寮廳東 庄三一	建功神社合祀
		糸川虎平次	高知縣長岡郡久禮田 村字久禮田一三四	靖國神社合祀 建功神社合祀

第二部 蕃地に於ける殉職者



第二部 蕃地に於ける殉職者

るや四月歸順蕃の社地を犯さず生活状態を變更せず相當の保護を加ふるを條件として隘勇線を前進せしむることとなり、五月五日深坑隘前進隊はリモアン監督所より單線に進行し桃園廳の前進四部隊は南北二支線に分れ第一の要地たる枕頭山を兩端より占領の目的を以て行動を開始せるが共に土匪の煽動に依る蕃人の強烈なる反抗を受け早川桃園廳警務課長以下多數（戦死警部以下七十餘名負傷二百餘名に及ぶ）死傷者を出すに至つた。即ち巡查以上のものでは五月七日に糸川、十一日に佐分利、十二日に西田（戦傷死）、十四日に古屋の各巡查が十九日には早川警務課長が敵弾に墜れ、二十八日には平敷、六月三日には宮、十二日には石井の各巡查が十七日には秋葉警部が戦傷死し、十八日には木原巡查が六月三十日には上野巡查（警部補に昇進）が戦没したのである。

桃園廳巡查	佐分利秀雄	熊本縣玉名郡山北村大字原倉一九五一	靖國神社合祀
大嶽嶽支應	三十八歳		建功神社合祀
桃園廳巡查	西田彦五郎	埼玉縣大里郡吉岡村大字村岡九	靖國神社合祀
中壩支應	二十六歳		建功神社合祀
桃園廳巡查	古屋重次郎	大分縣大分郡戸次村三一一	靖國神社合祀
成栄礮支應	二十八歳		建功神社合祀
桃園廳警部動七等	早川源五郎	富山縣富山市大字星井町一一九	靖國神社合祀
警務課長	四十二歳		建功神社合祀
桃園廳巡查	平敷朝行	沖繩縣首里區字當藏八	靖國神社合祀
成栄礮支應	五十歳		建功神社合祀
桃園廳巡查	宮朋友	岩手縣盛岡市仁王小路三九	靖國神社合祀
三角湧支應	二十九歳		建功神社合祀
桃園廳巡查	石井清太郎	東京市本郷區本郷四ノ一四	靖國神社合祀
警務課	三十三歳		建功神社合祀

明治四十年五月挿天山方面の隘勇線前進の計畫あるや新竹廳に於ても馬福社方面隘勇線前進計畫を樹て五月十一日蕃人の不意に乗じて行動を開始したが枕頭山方面に於て反抗中のマリコワン社附近の蕃人及馬武督社蕃は内灣溪流域の蕃族と合して優勢なる反抗舉動に出て數次に亘つて交戦開始され五月二十一日福山巡查が同二十六日嬉野巡查が戦死した外隘勇七名の戦死及警部以下多數の負傷者を出した。

桃園廳警部	秋葉省三	千葉縣千葉郡生濱村濱野六二四	靖國神社合祀
警務課	四十四歳		建功神社合祀
桃園廳巡查	木原喜袈裟	鹿兒島縣始良郡山田村北山六三	靖國神社合祀
楊梅嶺支應	三十二歳		建功神社合祀
桃園廳警部補	上野新之丞	鹿兒島縣鹿兒島市鹽屋町一八五	靖國神社合祀
成栄礮支應	四十六歳		建功神社合祀
新竹廳巡查	福山源之助	京都府天田郡下豐富村大字荒河八九	靖國神社合祀
樹杞林支應内灣隘勇監督所	四十五歳		建功神社合祀
新竹廳巡查	嬉野祐次郎	佐賀縣小城郡南山村字古湯四七	靖國神社合祀
樹杞林支應二重埔派出所	三十九歳		建功神社合祀
恒春廳巡查	合田佐一郎	石川縣鹿島郡瀨尾村字東馬場一	靖國神社合祀
枋山支應牡丹灣派出所	二十五歳		建功神社合祀
宜蘭廳警部動八等	松本他人吉	廣島縣廣島市小町五	靖國神社合祀
叭哩沙支應	三十五歳		建功神社合祀

第二部 蕃地に於ける殉職者

明治四十年四月以降宜蘭叭哩沙支應管下の蕃人跳梁を逞ふし腦丁の被











第二部 蕃地に於ける殉職者

が兇蕃の出没は尙已まず明治四十年十月十八日には宜爾應の石川巡査が糧食運搬護衛の途次蕃人の狙撃を受けて即死し、翌十八日には兇蕃槍谷分遣所を襲撃して來援中の深坑應巡査板井、吉村の兩名を斃し、二十一日には南投應樋口巡査が斃死し、二十三日には水波護衛中の田村巡査も潜伏蕃の狙撃に斃れ更に同桃園應米原警部補は襲來せる兇蕃と交戦中即死するに至り、次で二十八日巡査大久保丑藏も角板山方面警戒勤務中敵彈に斃れ十一月一日には鹽水港應より來援の警部補福原儀三郎（警部に昇進）も角板山附近で督戰中兇蕃の狙撃を蒙り斃れた。

明治四十年十月二十七日宜爾應叭哩沙支應巡査愛甲清之助（後警部補に昇進）及び瀬戸丸芳次の兩名は清水溪岸鐵條網補修の爲め九苧湖隘勇監

深坑應巡査	景尾支應	南投應巡査	埔里社支應	深坑應巡査	景尾支應	桃園應警部補	大嶽嶽支應	新竹應巡査	北埔支應	鹽水港應警部	藤堂支應	宜爾應警部補	叭哩沙支應
吉村磯之進	樋口精治	田村榮	米原清見	大久保丑藏	福原儀三郎	愛甲清之助							
山口縣美禰郡大嶽村 一〇二一	岐阜縣加茂郡飯地村 七八八	山口縣佐波郡華城村 三三二	鳥取縣東伯郡舍人村 大字藤津二五	熊本縣玉名郡江田村 大字江田一九一	岡山縣久米郡龍川村 下二ヶ一	大阪府東成郡平野郷 大字平野泥堂六〇五							
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀

督所を出發後間もなく蕃人の狙撃を受け即死を遂げた。

宜爾應巡査	叭哩沙支應	深坑應巡査	景尾支應 ラハ 才隘勇監督所	宜爾應巡査	叭哩沙支應	桃園應巡査	武山分遣所	桃園應巡査 勳七等功六級	大嶽嶽支應	宜爾應巡査	叭哩沙支應 松	桃園應巡査	大嶽嶽支應 二層坪監督所
瀬戸丸芳次	中村中	富士原邦太郎	永田亭藏	野村貞藏	兒玉三次	永石松三							
愛媛縣宇摩郡富郷村 寒川山三二	石川縣羽咋郡下甘田 村字米濱七七	熊本縣玉名郡東郷村 大字下津原二九五五	熊本縣足利郡足利町 大字足利三一四	鹿兒島縣鹿兒島郡谷 山村福元四九九九	佐賀縣藤津郡五丁田 村大字谷所二二二六								
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀

第二部 蕃地に於ける殉職者



第二部 蕃地に於ける殉職者

大溪分遣所勤務の山崎巡查は明治四十一年二月八日該分遣所外柵に於て蕃人の狙撃を受け即死を遂げた。	明治四十一年二月十一日松羅溪右岸隘勇線に於て伐木作業中倒木の爲め重傷同夜死亡した。	明治四十一年二月二十四日蕃地大坪に於て寒棄用木伐採に際し防蕃用の地雷に觸れ即死した。	明治四十一年四月三日部内に埋設しある鐵條網検査の際誤て之に觸れ震死した。	明治四十一年四月九日勤務所附近鐵條網の漏電検査を爲さむとして之に接觸震死した。	明治四十一年宜爾廳は管下南澳蕃が多衆を待み兇暴を逞ふするを制壓せんとして四月隘勇線前進の計畫を樹て千五百名の人員を以て行動開始したが蕃人の抵抗を受け同二十三日宜爾廳淵上、佐藤の兩巡查が、同二十九日には若林、栗山の兩宜爾廳巡查が、五月二日には佐藤巡查が戦死するに至つたが六月一日新竹廳より來援中の渡邊巡查も鐵條網に接觸死亡した。この外隘勇人夫の戦死五名負傷は巡查以下三十三名の多きに達したが終に蕃人を制退し歸順を出願せしむるに至つた。
桃園廳巡查 勳八等 大料塊支應大 溪分遣所	宜爾廳巡查 勳八等 叭哩沙支應	新竹廳巡查 勳八等 北埔支應大坪 分遣所	桃園廳巡查 勳八等 大料塊支應控 溪分遣所	桃園廳巡查 勳八等 大料塊支應二 八分遣所	宜爾廳巡查 叭哩沙支應 宜爾廳巡查 勳八等 叭哩沙支應 宜爾廳巡查 勳八等 叭哩沙支應 宜爾廳巡查 勳八等 叭哩沙支應 北埔支應
山崎文吉	中野蒞	佐久間幸助	井上恒久	中島三樹藏	若林三十郎
島根縣邑智郡日貫村 三三一 二十五歳	熊本縣天草郡上村三 〇〇 二十七歳	千葉縣君津郡馬來田 村眞里谷一四 二十九歳	山口縣厚狹郡小野村 四五七 二十七歳	熊本縣鹿本郡中富村 大字中川二三六 三十一歳	栃木縣都賀郡赤津村 大字富張五八 三十一歳
靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀

明治四十一年五月三十一日部内鐵條網線内掃除中蕃人の狙撃を受け即死した。	明治四十一年六月十六日郵便物護送途中浸水管附近に於て蕃人の狙撃を受け即死した。	明治四十一年七月二十九日警備勤務中蕃人の狙撃を受け死亡した。
桃園廳巡查 勳八等 大料塊支應控 社分遣所	阿模廳巡查 枋寮支應	新竹廳巡查 勳七等 樹杞林支應
長谷川民治	片山佳三郎	成清藤吉
新潟縣南蒲原郡鹿峠 村大字新屋九 三十三歳	岡山縣兒島郡甲浦村 大字北浦三一三 四十一歳	岡山縣川上郡成羽町 大字下日名一八一三 三十二歳
靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀

第二部 蕃地に於ける殉職者







第二部 蕃地に於ける殉職者

桃園應巡查 勳八等	石井龍助	神奈川縣高座郡澁谷 村下和田八二一	靖國神社合祀
威榮礮支應	吉松孫太郎	和歌山縣有田郡田殿 村字角一五	靖國神社合祀
臺東應巡查 勳八等	伊藤齊治	宮城縣桃生郡大谷地 村大字飯野八	靖國神社合祀
成廣澳支應	藤山繁六	佐賀縣佐賀郡巨勢村 大字西三四三	靖國神社合祀
桃園應警部補	吉野政治	千葉縣千葉郡千葉町 千葉寺一二四	靖國神社合祀
威榮礮支應	佐藤詮	宮城縣宮城郡松島村 字高城一八一	靖國神社合祀
桃園應巡查 勳八等	木邨善治郎	京都市下京區鉄屋町 佛光寺東町二〇	靖國神社合祀
大野炭支應			
威榮礮支應			
宜爾應巡查			
羅東支應大原 頭分遣所			
南投應巡查 勳八等			
埔里社支應 タタカ監督所			

明治四十二年一月二十七日鐵條網故障調査中誤て之に觸れ震死した。

明治四十二年二月二十日隘勇線外に地雷の埋設を爲し歸途につかんとするとき蕃人の襲來を受け誤て之に觸れ爆死した。

南投應巡查	山根南光	島根縣松江市殿町一 一〇ノ一	靖國神社合祀
埔里社支應合 水分遣所	秋月佐一	德島縣板野郡藍園村 大字奥野字前川四五	靖國神社合祀
南投應巡查	和田日吉	熊本縣阿蘇郡古城村 大字平野一八二七	靖國神社合祀
埔里社支應蕃 地	山田東三郎	宮城縣栗原郡高清水 町二八	靖國神社合祀
南投應巡查	蕭傳明	桃園應桃洞堡銅鑼園 庄二二六	靖國神社合祀
桃園應巡查補 威榮礮支應馬 武督監督所	清水清	愛媛縣溫泉郡北吉井 村大字西岡	靖國神社合祀
臺東應警部兼 屬	兒玉實	鹿兒島縣始良郡嬰山 村二	靖國神社合祀
巴爾衛支應長			
臺東應巡查			
巴爾衛支應			

明治四十二年三月十五日部内鐵條網踏査に從事中誤つて之に觸れ震死した。

明治四十一年末南投應埔里社支應管内白狗方面へ隘勇線前進行はれた後各所に警戒所を新設したが翌四十二年三月二日突如白狗社蕃人多數合水分遣所を襲撃して山根巡查並に隘勇十名を殺戮し勢益々猖獗を極めたので南投應は警部屋嘉比柴清の指揮する應援隊を派遣し撃攘に努めたが所々で兇蕃と衝突し三月六日隊員秋月巡查は臥牛山脚にて敵蕃と交戦中戦死し八日伊藤部隊の和田巡查又同地附近で瘞れた。四月次いで竹中警部補に巡查以下を附し前進せしめたるに四月十七日一本松岡附近に於て優勢なる敵蕃と衝突し巡查山田東三郎が之に戦死した。

明治四十一年以降臺東應巴爾衛支應管内チャロギス社外數社の蕃人暴虐を極め屢々蕃害を敢てするを以て四十二年四月五日清水巴爾衛支應長は加害蕃人檢擧の爲め數名の巡查、巡查補を従へチャロギス社に至り百方

第二部 蕃地に於ける殉職者



第二部 蕃地に於ける殉職者

策を講じ兇行番人を逮捕歸途についたが途中番人の反抗を受け清水支廳長以下見玉、結城の兩巡查、宗巡查補を殺戮さるゝに至つた。	豪東廳巡查 巴聖衛支廳	結城甚吉	宮城縣玉造郡一栗村 上野日五一	靖國神社合祀 建功神社合祀
明治四十二年四月十七日南攻分遣所勤務小林巡查は同所附近に於て鐵條網路除草中誤て之に觸れ震死した。	豪東廳巡查補 巴聖衛支廳	宗貴林	豪東廳南郷大竹高社 二七	建功神社合祀
明治四十二年四月二十六日作業監督に出でたる處を線外兇番の爲め狙撃され即死した。	宜蘭廳巡查 羅東支廳南攻分遣所	小林昌則	長野縣諏訪郡境村宇 先達二五九	靖國神社合祀 建功神社合祀
明治四十二年四月二十七日附近鐵條網路除草中之に觸れ震死した。	新竹廳巡查 樹杞林支廳小 大藪分遣所	小塚龜次郎	富山縣婦負郡八尾町 大字天満町六七七五	靖國神社合祀 建功神社合祀
明治四十二年六月十二日部内鐵條網路除草中之に接觸して死亡した。	宜蘭廳巡查 羅東支廳澳灣分遣所	志水孫平	熊本縣八代郡柿迫村 二八三四	靖國神社合祀 建功神社合祀
明治四十二年七月十九日駐在所小使本島人謝正徳が番婦と關係あるを知り翠田巡查諭せるに本人は之を遺恨とし深夜斧を以て寢室に忍入り同巡查を慘殺した。	宜蘭廳巡查 叭哩沙支廳 頭分遣所	本田正幸	熊本縣上益城郡陣村 一五一二	靖國神社合祀 建功神社合祀
	宜蘭廳巡查 叭哩沙支廳 頭分遣所	翠田駒次郎	富山縣富山市大字總 曲輪九五	建功神社合祀
	宜蘭廳巡查 叭哩沙支廳 頭分遣所		富山縣富山市大字總 曲輪九五	建功神社合祀

明治四十二年七月十九日伐採從事中鐵條網に懸れる障害物を除去せんとして倒木の爲め押倒され鐵條網に觸れて震死した。

明治四十二年七月二十九日防番の爲め埋設しおきたる地雷の位置を同僚に示さんとして先頭に立ちて進行中誤て之を踏み爆死し同行の兩巡查も重傷を負ふに至つた。

新竹廳巡查 勳八等	齊藤小一郎	東京府北豐島郡日暮 里村大字谷中本一〇 八六	靖國神社合祀 建功神社合祀
苗栗廳巡查 勳八等	市村五藏	茨城縣眞壁郡竹島村 大字稻野邊五	靖國神社合祀 建功神社合祀
大湖支廳上ノ 島分遣所	會津九郎三郎	石川縣鳳至郡蒲村大 字皆川四六	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡查 勳八等	緒方卯太郎	佐賀縣佐賀郡神野村 大字神野一六一	靖國神社合祀 建功神社合祀
樹杞林支廳	赤木千代吉	香川縣香川郡栗林村 大字中ノ村二四二	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡查 北埔支廳	松森千代吉	岡山縣上房郡巨額村 三〇五九	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡查 勳七等	長浦宇作	熊本縣鹿本郡米田村 大字坂田一七八五	靖國神社合祀 建功神社合祀
大湖支廳馬凹 第一分遣所			

第二部 蕃地に於ける殉職者











第二部 蕃地に於ける殉職者

<p>明治四十三年一月二十九日夜ガオカン蕃約三十名突如宜蘭廳叭哩沙支廳九芎湖駐在所を襲撃し藤原巡查及其の家族二名用務の爲め來泊中の堀川巡查並に中嶺監督所倉原警部補の家族四名陸勇一名其家族一名合計十名を殺戮した事件があつたが同所勤務榎本巡查職起陸勇を指揮して善戦苦闘終に之を撃退した。</p>	<p>宜蘭廳巡查 叭哩沙支廳九芎湖駐在所 宜蘭廳巡查 叭哩沙支廳シヤクン駐在所 桃園廳巡查 勳八等 三角湖支廳見返坂分遣所 宜蘭廳警部 勳七等 叭哩沙支廳蕃地 宜蘭廳巡查 叭哩沙支廳蕃地</p>	<p>藤原兼五郎 堀川忠五郎 小沼渡 池田磯次郎 山内泰次郎 松村芳男 黒島鹿太郎</p>	<p>秋田縣山本郡鹿渡村大字鹿渡三 二十五歳 新潟縣中頸城郡泉村大字小局三二 二十七歳 福島縣南會津郡朝日村字黒谷四八二 二十八歳 富山縣上新川郡大久保村大字大久保一三七〇 四十歳 福島縣河沼郡坂下町字中新町 二十六歳 熊本縣球磨郡人吉町九日町四三 二十八歳 香川縣小豆郡西村七一 四十七歳</p>	<p>靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀</p>
<p>明治四十三年五月三日サバト分遣所附近に於て鐵條網踏踏査中誤て之に觸れ震死した。</p>	<p>花蓮港廳巡查 カタンリン分遣所 臺北廳巡查 新店支廳</p>	<p>陳阿福 兒島勇助 岩見直平</p>	<p>桃園廳竹北二堡大崙庄土名内厝仔九 三十六歳 鹿兒島縣肝屬郡花岡村大字木谷四五 三十八歳 熊本縣宇土郡大嶽村字手場二三三 二十六歳</p>	<p>靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀</p>
<p>明治四十三年五月九日新店支廳よりリモカン監督所に電話線架設の工事中誤て鐵條網に觸れ震死した。</p>	<p>新竹廳巡查補 大湖支廳蕃地 臺北廳巡查 新店支廳</p>	<p>陳阿福 兒島勇助 岩見直平</p>	<p>桃園廳竹北二堡大崙庄土名内厝仔九 三十六歳 鹿兒島縣肝屬郡花岡村大字木谷四五 三十八歳 熊本縣宇土郡大嶽村字手場二三三 二十六歳</p>	<p>靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀</p>

<p>明治四十三年五月十二日油羅山中腹伐採作業中兇蕃と衝突戦死した。</p>	<p>宜蘭廳巡查 叭哩沙支廳 桃園廳巡查 勳八等 大嶽嶽支廳 宜蘭廳巡查 羅東支廳 桃園廳巡查 大嶽嶽支廳</p>	<p>河合濱治 新井友七 岸本吉造 小坂田四郎</p>	<p>廣島縣深安郡廣瀬村字北山三二六 三十三歳 埼玉縣北足立郡大砂土村字西本郷五八一 二十八歳 岡山縣和氣郡伊部村大字浦伊部九四 二十九歳 岡山縣英田郡巨勢村大字海田一八〇一 二十五歳</p>	<p>靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀</p>
<p>新竹廳下のガオカン蕃は北蕃タイヤル族中の巨豪にして性兇猛容易に我</p>	<p>宜蘭廳巡查 叭哩沙支廳 桃園廳巡查 勳八等 大嶽嶽支廳 宜蘭廳巡查 羅東支廳 桃園廳巡查 大嶽嶽支廳</p>	<p>河合濱治 新井友七 岸本吉造 小坂田四郎</p>	<p>廣島縣深安郡廣瀬村字北山三二六 三十三歳 埼玉縣北足立郡大砂土村字西本郷五八一 二十八歳 岡山縣和氣郡伊部村大字浦伊部九四 二十九歳 岡山縣英田郡巨勢村大字海田一八〇一 二十五歳</p>	<p>靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀 靖國神社合祀</p>

第二部 蕃地に於ける殉職者



第二部 蕃地に於ける殉職者

招撫につくことをしなかつた。明治四十三年度より所謂五箇年繼續理蕃事業の第一着手として之に制壓を加ふることになつたものである。そして之が経略の方法としてはマリコワン蕃の背後なる新竹廳下の油羅山を経てマイバライ社方面に隘勇線を前進しマリコワン蕃其他黨與の蕃族を牽制し同時にガオガン蕃地に隘勇線を前進し其の巢窟を覆さんとして宜蘭廳下のボンノ山方面より前進行動を起し踵て内灘溪上流よりも隘勇線を前進せしめ腹背より之を撞き更に輸送及隘勇線維持上の必要を顧慮し桃園廳下の角板山附近より大嵯峽溪を廻り兩方面の前進隊を丁字形に連絡するの策を取つた。

而して宜蘭前進隊は本部を圓山に置き警部以下隘勇に至る千五百餘人を以て四箇部隊を編成し、五月二十一日圓山根據地を出發し二十三日にはボンノ山の最高地を占領し輸送路其他の開拓に従事しつゝあつたが漸くガオガン蕃情に動搖を來し六月九日夜半より我が戦線に襲來翌十日の戦闘には第一高地第二高地間に於て兒島警部負傷(十七日死亡)岩具、河合、新井、岸本の四巡查並に隘勇人夫の即死五名負傷二十餘名を出すの激戦を演ずるに至つた。翌十一日更に蕃人大舉我警戒線及兵站線等を襲撃し激戦は所々に展開され小坂田、安藤、井上、渡邊、依田、葛岡、小池の巡查が戦死した外負傷は巡查以下約五十名の多数に上つた。爾後尙蕃人の出沒は止まず六月十五日には栗山巡查が水汲警戒中に、十七日には萱野巡查が十八日には酒井巡查が共に伐採從事中に狙撃を受け

桃園廳巡查 大嵯峽支廳	安藤多二郎	愛知縣北設樂郡武節村字黒田五三	二十四歳	靖國神社合祀
桃園廳巡查 動八等功七級	井上基規	福岡縣嘉穂郡大分村二一〇六	三十歳	靖國神社合祀
大嵯峽支廳	渡邊祐吉	福島縣安積郡富田村字久之内一〇	二十八歳	靖國神社合祀
桃園廳巡查	依田久次郎	山梨縣南巨摩郡五開村鳥屋一三一四	二十二歳	靖國神社合祀
大嵯峽支廳	葛岡政之助	宮城縣宮城郡利府村字加瀬六	二十九歳	靖國神社合祀
桃園廳巡查	小池才吉	廣島縣安藝郡熊野村大字城之堀區七一	四十歳	靖國神社合祀
大嵯峽支廳	栗山久吉	新潟縣北蒲原郡米倉村大字中山六三二	三十三歳	靖國神社合祀
桃園廳巡查	萱野正男	千葉縣山武郡土氣本郷町大椎八九一	二十八歳	靖國神社合祀
大嵯峽支廳	酒井谷藏	熊本縣玉名郡賢木村字豊永ノ内四六二六	二十六歳	靖國神社合祀
桃園廳巡查	橋本末太郎	鹿児島縣薩摩郡平佐村字白和六	二十八歳	靖國神社合祀
大嵯峽支廳	木下戸市	宮城縣遠田郡南郷村字二郷五四	三十八歳	靖國神社合祀
臺灣總督府警部兼宜蘭廳警部	伊勢貞脩	鹿児島縣鹿兒島郡吉野村坂元三三三	三十七歳	靖國神社合祀
羅東支廳	松尾榮治	佐賀縣藤津郡五町田村大字五町甲三三	三十三歳	靖國神社合祀
宜蘭廳巡查	上野昌治	宮城縣加美郡小野田村東小野田二七	二十五歳	靖國神社合祀
叭哩沙支廳				
新竹廳巡查				
大湖支廳				

て即死し、十九日には橋本、木下兩巡查が、二十三日には伊勢宜蘭廳警部補(後警部となり番務本署勤務となる)が物資輸送監督に従事中兒蕃の狙撃を受けて戦死し、九月十一日には松尾巡查が戦死するに至り、幾多の苦戦を経験した。彼上警察官の苦戦に陥りし爲め應援を命ぜられた軍隊側の死傷も即死將校以下八十名負傷將校以下百三十三名の多きに達して居るのをみても戦状の一斑が察せられやう。一方新竹前進隊は本部を舊砲臺監督所に置き警視以下五百餘名を以て三箇部隊を編成步兵三箇中隊、砲兵一箇小隊を應援として参加せしめ行動を數期に分け第一期は桃園廳下成榮砲臺より樹杞林支廳合流分道所に合流せしむる目的を以て行動開始大なる抵抗を受けず之を完成、次いで六月三十日第二期行動を起しマリコワン溪上流ヲハウ社を占領したが其後附近蕃人出沒して掩堡を築造前進隊の進出を阻害するの状況にあり、更に第三期前進の行動を開始しマリコワン溪上流を廻り田勝寮を占據せしが蕃人の反抗益々甚しきを加へ警察隊の死傷相踵くに至つた。即ち七月九日占領地の伐採作業中上野巡查が兒蕃の狙撃を受けて即死し、同十五日には西平、柴山の兩巡查が、七月二十一日には第二部隊長たりし飛田警部が負傷(同二十四日死亡)松本巡查が即死し、同二十三日には五十嵐巡查が、二十五日には王巡查補が、八月九日には梅田巡查が、十日には友、海老原兩巡查が戦死するに至つた。九月の末には宜蘭隊と連絡蕃情稍平穩に歸するに至つたが十月一日新設警備線警戒中の宮井巡查が電話線踏査中溺死し、尙十

桃園廳巡查	萱野正男	千葉縣山武郡土氣本郷町大椎八九一	二十八歳	靖國神社合祀
大嵯峽支廳	酒井谷藏	熊本縣玉名郡賢木村字豊永ノ内四六二六	二十六歳	靖國神社合祀
桃園廳巡查	橋本末太郎	鹿児島縣薩摩郡平佐村字白和六	二十八歳	靖國神社合祀
大嵯峽支廳	木下戸市	宮城縣遠田郡南郷村字二郷五四	三十八歳	靖國神社合祀
臺灣總督府警部兼宜蘭廳警部	伊勢貞脩	鹿児島縣鹿兒島郡吉野村坂元三三三	三十七歳	靖國神社合祀
羅東支廳	松尾榮治	佐賀縣藤津郡五町田村大字五町甲三三	三十三歳	靖國神社合祀
宜蘭廳巡查	上野昌治	宮城縣加美郡小野田村東小野田二七	二十五歳	靖國神社合祀
叭哩沙支廳				
新竹廳巡查				
大湖支廳				

第二部 蕃地に於ける殉職者



第二部 蕃地に於ける殉職者

月二十三日には鐵條網線踏査中の村崎巡査が之に接觸死亡する等のことがあつた。死傷者を合すれば實に百餘名に及ぶのである。亦桃園應前進隊も豫定に従ふて前進を開始したのであるが幸にして大なる抵抗を受けず殉職者を出すに至らずして豫定の成功を収むることが出来た。

新竹應巡査	大湖支應	桃園應巡査	大嶺嶽支應	新竹應警部 勳七等	大湖支應長	新竹應巡査	樹杞林支應	新竹應巡査	南庄支應	新竹應巡査補	大湖支應	新竹應巡査	樹杞林支應	
西平武作	柴山次六	飛田孫兵衛	松本傳三郎	五十嵐長輝	王源	梅田松太郎								
熊本縣蓋北郡津奈木村大字千代九四一	東京市牛込區神樂町二ノ三	鹿兒島縣薩摩郡隈ノ城村西手一四六九	愛媛縣松山市本町二ノ二四	新潟縣古志郡北谷村大字田井一三二	臺中縣燕霧上堡三家春庄三一	福岡縣企救郡西谷村大字辻三四一	鹿兒島縣大島郡早町村中熊三四	熊本縣熊本市迎町五三	熊本縣熊本市迎町五三	栃木縣河内郡吉田村大字三王山一三	岩手縣和賀郡中内村大字小通二六	福岡縣田川郡伊田村大字伊田四四九四	佐賀縣神埼郡脊振村大字鹿路三五	熊本縣蓋北郡津奈木村大字千代九四一
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	

新竹應巡査	南庄支應大園分遣所	桃園應巡査	大嶺嶽支應	新竹應巡査 勳八等	樹杞林支應	宜爾應巡査	叭哩沙支應	花蓮港應巡査	七脚川隘勇線	花蓮港應巡査 ハットモ分遣所	宜爾應巡査 勳八等	叭哩沙支應 中島監督所
友伊長	海老原吉松	宮井龜彦	村崎榮記	小菅孝藏	植木魄吾	高島信義						
鹿兒島縣大島郡早町村中熊三四	熊本縣熊本市迎町五三	熊本縣八代郡鏡町大字野崎五二	岩手縣和賀郡中内村大字小通二六	福岡縣田川郡伊田村大字伊田四四九四	佐賀縣神埼郡脊振村大字鹿路三五	熊本縣蓋北郡津奈木村大字千代九四一	熊本縣熊本市迎町五三	熊本縣熊本市迎町五三	栃木縣河内郡吉田村大字三王山一三	岩手縣和賀郡中内村大字小通二六	福岡縣田川郡伊田村大字伊田四四九四	佐賀縣神埼郡脊振村大字鹿路三五
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀

第二部 蕃地に於ける殉職者

明治四十三年六月三十日七脚川溪岸鐵條網線踏査中蕃人の狙撃を受け之と應戦せんとする際顛倒鐵條網に接觸震死した。

明治四十三年七月二十九日交通勤務中北埔監督所附近にて兇蕃の狙撃を受け即死した。

明治四十三年八月二十一日鐵條網線踏査中川中島監督所附近にて誤て鐵條網に觸れ死亡した。



第二部 蕃地に於ける殉職者

明治四十三年八月花蓮港に於ては管内蕃地プナウ山方面の捜索を行ふことになり荒屋警部指揮の下に二十数名一隊となり壽山監督所を發し二十六日シロハイ山の鞍部附近に達したとき附近蕃人約五十名の襲撃を受け之と對戦中衣等巡査戦死し巡査補ローヤツ之に負傷翌二十七日遂に死亡するに至つた。	明治四十三年九月一日宜蘭廳下隘勇線前進に應援中蕃人の狙撃を受け即死した。	明治四十三年九月二十日隘勇線巡視の際勤務地附近に於いて誤て鐵條網に觸れ震死した。	明治四十三年十月五日海岸分遣所勤務中太魯閣蕃の襲撃を受け戦死した。	明治四十三年十月二十六日樹杞林支廳蕃地勤務中鐵條網踏踏中誤て之に觸れ震死した。	明治四十三年十一月五日鐵條網踏踏中誤て之に觸れ震死した。
花蓮港巡査 勳八等	桃園廳巡査 大岩嶽支廳	宜蘭廳巡査 勳八等	花蓮港廳巡査 研海支廳海岸 分遣所	新竹廳巡査 樹杞林支廳 コナン監督所	宜蘭廳巡査 叭哩沙支廳
衣笠利三郎	櫻井嘉三	阿部庄吉	川上舜作	西藤林藏	小松勇雄
岡山縣都窪郡倉敷町 六〇七	宮城縣遠田郡不動堂 村五六	宮城縣刈田郡福岡村 大字深谷三〇	熊本縣下益城郡隈庄 町三七八	神奈川縣中郡高部屋 村日向一六一〇	高知縣高知市永國寺 町一
三十五歳	三十三歳	三十五歳	三十八歳	二十四歳	五十四歳
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀

明治四十三年十一月五日樹杞林支廳坂下分遣所附近に於て鐵條網踏踏中蕃人の狙撃を受け即死した。	宜蘭廳隘勇線前進本部輸送警戒勤務中明治四十三年十一月六日濁水溪假橋を通過する際橋梁破壊墜落溺死した。	明治四十三年十一月二十一日交通勤務に服し蕃人の狙撃を受け戦死した。	明治四十四年一月十八日警戒勤務中誤て鐵條網に接觸震死した。	明治四十四年二月六日勤務所附近鐵條網障害物除却中誤て感電震死した。	明治四十四年二月十七日勤務地附近に於いて鐵條網障害物を除却せんとして感電震死した。	明治四十四年二月東勢角支廳白毛社外敷社の蕃人屢々出で、兇害を逞ぶするを以て銃器押収計畫成り東勢角支廳原警部も本郷部隊第一分隊長と
新竹廳巡査 樹杞林支廳 コナン監督所	宜蘭廳巡査 叭哩沙支廳 水監督所	宜蘭廳巡査 叭哩沙支廳	新竹廳巡査 樹杞林支廳 崎分遣所	桃園廳巡査 勳八等	大岩嶽支廳十 三分遣所	臺中廳警部 勳八等
本田吉三郎	須田明治郎	小本龜雄	古城琴平	小岩泰助	三浦清七	原猪治
山形縣飽海郡酒田町 上塚町二一	群馬縣碓氷郡板鼻町 三九三	大分縣東國東郡來浦 村五三七	熊本縣熊本市東坪井 町四七	宮城縣栗原郡萩野村字 末野四一	宮城縣黒川郡大谷村 大字羽生稻荷下三七	長野縣下伊那郡伍和 村一六五
二十五歳	二十九歳	二十七歳	二十四歳	三十一歳	二十八歳	三十三歳
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀

第二部 蕃地に於ける殉職者



第二部 蕃地に於ける殉職者

して之に参加し、行動開始中二月二十五日北勢蕃ジョン社數社の反抗に依り之と交戦巡查補倉坤は即死し原警部亦重傷を負ひ後送治療を受けたるも及ばず三月二日終に死亡するに至つた。其後應援隊の來援を求め兇蕃の脅威を爲したが三月二十日中尾巡查は牛欄坑監警所附近に於て蕃人の狙撃を蒙り即死した。

明治四十四年三月三日蕃地にて戦死せるものとして建功神社に合祀せられてゐる以外詳細不明。

明治四十四年三月九日勤務所附近水汲警戒中蕃人の狙撃を受け即死した。

明治四十四年三月十二日交通の爲め下山し濁水監警所に於て同行してゐた兇蕃の爲めに殺害せられた。

明治四十四年四月十二日大嶽嶽蕃地に於て溺死した。

明治四十四年總督府は五箇年繼續理事業の一として新竹廳管内北勢蕃

臺中廳巡查補 東勢角支應 桃園廳巡查 大嶽嶽支應	南投廳巡查補 不詳	南投廳巡查補 埔里社支應川 中島分遣所 宜蘭廳巡查 叭哩沙支應ビ ヤハウ駐在所	川上親德 鹿兒島縣鹿兒島市船 津町一〇〇	洪順喙 南投廳埔里社堡牛眠 山庄一〇二〇	ウ 不詳	中尾萬作 長崎縣東彼杵郡廣田 村九五三	詹坤 臺中廳棟東上堡大茅 埔四四七
丸田清 鹿兒島縣鹿兒島市高 麗町四八	吉田秀一 熊本縣玉名郡賢木村 大字高久野七七九	福岡民重 熊本縣天草郡大道村 大字池ノ浦二二七	佐藤久次郎 愛知縣海部郡七寶村 大字安松三七	池本峯三 岡山縣久米郡大井和 村大字和田六八八	永井又藏 熊本縣玉名郡高道村 大字高道七八七	久保田勇助 福岡縣浮羽郡江南村 大字新治一二六〇	臺中廳棟東上堡大茅 埔四四七
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	建功神社合祀

の討伐を爲す計畫を樹てた。同蕃は四十一年中歸順したこともあるが四十四年二月臺中廳のアラン社方面の銃器押収を爲すに至りジョン社蕃人が稍來社に黨同して搜索隊を襲撃したる以來蕃情一變し附近分遣所等を包圍するに至つたので討伐隊を編成し膺懲を加ふることになつたのである。行動開始するや敵蕃の反抗猛烈を極め四月十五日には二本松附近の戰團に於て堤巡查が敵彈に瘉れ同二十四日には桃園廳より應援の丸田巡查(後警部補に昇進)が戦死した。五月八日大安溪右岸山腹前進の際敵蕃の攻撃は尤も猛烈を極め警察隊に於ては吉田、福岡、佐藤の三巡查が戦死し同日千仙山東方稜線占領の際泉鼻附近の戰團では第三部隊第一分隊長池本警部補(後警部に昇進)負傷(翌日死亡)永井、久保田、若井、杉山、大屋の諸巡查が戦死するに至つた。六月二十日更に兇蕃の襲來があり二本松砲臺警備中の橋本巡查が戦死したが爾後蕃人の勢力漸く弱り間もなく討伐隊は解散した。

桃園廳警部補 大嶽嶽支應	桃園廳巡查 大嶽嶽支應	桃園廳警部 勳七等 大嶽嶽支應	桃園廳巡查 勳八等 大嶽嶽支應	桃園廳巡查 勳八等 大嶽嶽支應	桃園廳巡查 勳八等 大嶽嶽支應	桃園廳巡查 勳八等 大嶽嶽支應	桃園廳巡查 勳八等 大嶽嶽支應
丸田清 鹿兒島縣鹿兒島市高 麗町四八	吉田秀一 熊本縣玉名郡賢木村 大字高久野七七九	福岡民重 熊本縣天草郡大道村 大字池ノ浦二二七	佐藤久次郎 愛知縣海部郡七寶村 大字安松三七	池本峯三 岡山縣久米郡大井和 村大字和田六八八	永井又藏 熊本縣玉名郡高道村 大字高道七八七	久保田勇助 福岡縣浮羽郡江南村 大字新治一二六〇	臺中廳棟東上堡大茅 埔四四七
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	建功神社合祀

第二部 蕃地に於ける殉職者



第二部 蕃地に於ける殉職者

<p>明治四十四年五月三日花蓮港廳三輪警部補後總督府警部に昇進壽山隘勇線不穩の爲め鎮壓の用務を以て出張途中誤て鐵條網に觸れ震死した。</p>	<p>明治四十四年四月二十五日蕃界警備中彈爆發の爲め負傷死した。</p>	<p>明治四十四年四月二十五日動務所に於て蕃地警戒中潜伏蕃人の狙撃を受け即死した。</p>	<p>明治四十四年七月四日動務所に兇番襲來し交戦中戦死した。</p>	<p>明治四十四年六月十五日動務所附近にて造材人夫の警戒監督に從事中シカヤウ蕃の襲來を受け交戦々死した。</p>	<p>明治四十四年六月九日部内交通路修繕作業從事中潜伏兇番の狙撃を受け交戦々死した。</p>	<p>明治四十四年五月九日動務所附近にて郵便物護送途中兇番の狙撃を受け交戦々死した。</p>
<p>銅文關隘勇線</p>	<p>樹杞林支廳</p>	<p>宜蘭廳巡查 叭哩沙支廳田邊分遣所</p>	<p>大湖支廳見晴分遣所</p>	<p>南投廳巡查補 埔里社支廳蜈蚣分遣所</p>	<p>新竹廳巡查 南庄支廳岩見分遣所</p>	<p>桃園廳巡查 大崙坑支廳カウイラン監督所</p>
<p>三輪 潔</p>	<p>野間正之助</p>	<p>橋本惣七</p>	<p>大屋倉太</p>	<p>杉山愛太郎</p>	<p>若井利忠太</p>	<p>奈須八十一</p>
<p>宮崎縣兒湯郡都農村大字川北三一六</p>	<p>大阪市南區西新瓦屋町二八</p>	<p>佐賀縣杵島郡福治村大字福吉二五</p>	<p>福岡縣嘉穂郡千手村字才田七〇二</p>	<p>靜岡縣濱名郡豐西村貴平六</p>	<p>新潟縣南魚沼郡五十澤村字小川二四</p>	<p>廣島縣賀茂郡寺西村大字西條東四一七</p>
<p>三十六歳</p>	<p>三十三歳</p>	<p>三十六歳</p>	<p>三十三歳</p>	<p>二十八歳</p>	<p>二十四歳</p>	<p>三十三歳</p>
<p>建功神社合祀</p>	<p>建功神社合祀</p>	<p>建功神社合祀</p>	<p>建功神社合祀</p>	<p>建功神社合祀</p>	<p>建功神社合祀</p>	<p>建功神社合祀</p>

第二部 蕃地に於ける殉職者

<p>明治四十四年七月二十三日部内警邏中肩肉蚋蕃の襲撃を受け之と交戦員傷後治療中同月二十七日死亡した。</p>	<p>明治四十四年七月十四日國友巡查と共に部内茅野分遣所附近通行中兇番の狙撃を受け交戦々死した。</p>	<p>明治四十四年七月四日動務所に兇番襲來し交戦中戦死した。</p>	<p>明治四十四年六月十五日動務所附近にて造材人夫の警戒監督に從事中シカヤウ蕃の襲來を受け交戦々死した。</p>	<p>明治四十四年六月九日部内交通路修繕作業從事中潜伏兇番の狙撃を受け交戦々死した。</p>	<p>明治四十四年五月九日動務所附近にて郵便物護送途中兇番の狙撃を受け交戦々死した。</p>	<p>明治四十四年五月三日花蓮港廳三輪警部補後總督府警部に昇進壽山隘勇線不穩の爲め鎮壓の用務を以て出張途中誤て鐵條網に觸れ震死した。</p>
<p>南投廳巡查 埔里社支廳田邊分遣所</p>	<p>埔里社支廳蕃地</p>	<p>南投廳巡查 埔里社支廳蕃地</p>	<p>南投廳巡查 埔里社支廳蜈蚣分遣所</p>	<p>南投廳巡查補 埔里社支廳蜈蚣分遣所</p>	<p>新竹廳巡查 南庄支廳岩見分遣所</p>	<p>桃園廳巡查 大崙坑支廳カウイラン監督所</p>
<p>佐伯徳之助</p>	<p>國友重吉</p>	<p>綿貫定吉</p>	<p>上野富太郎</p>	<p>潘阿義</p>	<p>鹽川亮一</p>	<p>奈須八十一</p>
<p>島根縣八束郡千酌村大字千酌八〇</p>	<p>福岡縣糸島郡今宿村大字谷九一五</p>	<p>千葉縣山武郡公平村大字松之郷四三</p>	<p>和歌山縣伊都郡河根村大字丹生川九九四</p>	<p>鹿兒島縣始良郡東襲山村重久九六</p>	<p>廣島縣賀茂郡寺西村大字西條東四一七</p>	<p>宮崎縣兒湯郡都農村大字川北三一六</p>
<p>二十六歳</p>	<p>二十八歳</p>	<p>四十一歳</p>	<p>二十七歳</p>	<p>四十一歳</p>	<p>三十三歳</p>	<p>三十六歳</p>
<p>靖國神社合祀</p>	<p>靖國神社合祀</p>	<p>建功神社合祀</p>	<p>靖國神社合祀</p>	<p>建功神社合祀</p>	<p>建功神社合祀</p>	<p>建功神社合祀</p>



第二部 蕃地に於ける殉職者

明治四十四年七月臺東廳下成廣澳支廳管内の阿眉蕃々情に不穩の氣配があつた。同月二十四日同支廳都廳派出所内の頭目を召集したのに應じないので同所勤務福岡巡査其の不都合を責めたる處蕃人怒つて同巡査を殺害するに至つたが、この事變を聞いた麻老漏社蕃人も之に響應し勢を合せて派出所を襲ひ力丸巡査を害し又公學校を襲ふて柴野教諭をも殺戮した。支廳長この報告を受けて警部補以下數名の警察官を派して狀況の偵察を爲さしめたが、翌日早朝キナブカ溪畔に於て兇蕃百餘と衝突忽ち小野、肝付の兩巡査が戦死した。蕃人勢を得て支廳を襲撃したが支廳長以下の好防に依り容易に陥れることが出来ず雖て各方面よりの應援隊の來援に依り兇蕃を撃退事件を鎮壓することを得た。

阿嶺廳阿里港支廳管内蕃社トア社は明治四十四年六月同蕃地内道路開墾を快しとせず物情恟々たるものがあつたので同支廳長慶警部自ら入蕃して懇諭する處があつたが納得せず二十四日道路開墾隊の西警部補(後警部に昇進)及木下巡査を殺害し餘勢を驅つて終に駐在所に在つた支廳長をも殺戮するに至つた。茲に於て應當局は直に搜索隊を編成して之が鎮壓に従事せしめたのである

臺東廳巡査 成廣澳支廳都 廳派出所	福間彦四郎 熊本縣飽託郡黒髮村 大字宇留毛七一 三十二歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
臺東廳巡査 麻老漏派出所	力丸貞三郎 福岡縣宗像郡池野村 大字田野五三一 二十五歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
臺東廳巡査 成廣澳支廳 勳八等	小野寛三郎 宮城縣志田郡古川三 日町一一一 三十四歳	建功神社合祀
成廣澳支廳	肝付兼滿 鹿兒島縣鹿兒島市加 治屋町二一五 二十七歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
阿嶺廳警部 勳八等	西初太郎 福岡縣朝倉郡三奈木 村大字荷原一八一七 四十歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
阿里港支廳 クブソ駐在所	木下茂一 熊本縣玉名郡伊倉町 大字伊倉南方一七 六 二十八歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
阿嶺廳警部	慶邦武 鹿兒島縣大島郡金久 村二六七 四十七歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
阿里港支廳長		

るが一面蕃情の動搖を防ぐべく、六龜里支廳バリサン駐在所片居木巡査は七月七日蕃社に赴き通事に召喚狀を渡しての歸途兇蕃の爲めに狙撃を受け即死した。更に制壓部隊は各所に兇蕃と衝突し七月十八日鈴木巡査が戦死し二十二日には巡査が負傷(二十四日死亡)するに至つたが警察隊急援徹底的膺懲を加へて之を鎮壓することを得た。

阿嶺廳巡査 勳八等	片居木久太郎 埼玉縣入間郡小手指 村大字北野一三六 三十二歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
六龜里支廳バ リサン駐在所	鈴木祚 栃木縣鹽谷郡氏家町 大字氏家七三 二十七歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
阿嶺廳巡査	巡與一郎 鹿兒島縣始良郡蒲生 村上久徳二四〇六 二十二歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
阿里港支廳		
阿嶺廳巡査	金子茂 福岡縣三井郡御井町 一四〇 二十九歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡査 勳八等	島田長左衛門 東京以下不詳	建功神社合祀
樹杞林支廳	菅原駒治郎 宮城縣栗原郡若柳町 村大字梅崎六八 三十歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡査 勳八等	瀨戸彦三郎 宮城縣黒川郡大衡村 澤目三四 二十六歳	靖國神社合祀 建功神社合祀
樹杞林支廳		
桃園廳巡査		
大料塊支廳		

第二部 蕃地に於ける殉職者



第二部 蕃地に於ける殉職者

の際李嶺山及バロン山より砲撃を加へたる爲め其の一部は恭順を表した  
 が其の本居が遠く線外に在り地形を恃みキナジー、タイヤカン、等の各  
 兇蕃と結託し屢々警備線を襲ふて惨害を逞ふするのみならず時にガオガ  
 ン蕃と往來して之を煽動し反抗する氣配があるので、明治四十四年八月  
 田勝山、上野山の二方面より進山し他の一隊は上野山の稜線を傳ふて東  
 南に進み李嶺山及キナシー山の鞍部を占領し更に分隊を派して田勝山の  
 鞍部より東南に進み李嶺山の半腹を経て上野山よりする部隊と連絡し以  
 てマリコワン蕃を經略し延いてキナジー、タイヤカン、ヤバカンの各社  
 を制敵する計畫を樹てた。然しこの方面の蕃は兇悍勇猛戦を好むの風  
 強いで之が反抗は幾多の損害を豫知しない譯には行かなかつた。果然  
 八月一日部隊の編成を終り行動開始するや早くも翌二日第二部隊は飛田  
 山西南方にて敵蕃と衝突金子、島田兩巡查が翌三日には同隊の菅原巡查  
 が戦死した。四日には大嶽嶽より赴援の瀬戸巡查がボーレツク監督所を  
 出發するに際し兇蕃の狙撃を受けられ、更に太田山附近前進中柳巡查が  
 敵弾に即死した。八月八日には太田山の我陣地に多數の兇蕃が襲來し、  
 太田警部補負傷(後警部となり十一日死亡)塚本、畠中、新井、弓削、  
 揚井、中、片寄、乗嶺の各巡查が戦死を遂げた。其後九月十四日には田  
 勝山監督所に於て物資輸送監督中の力巡查が臨水分遺所附近に於て兇蕃  
 の狙撃を受け十五日には第五部隊に於て線外伐採作業中の渡邊巡查が同  
 様兇蕃の狙撃を受け二十日には合流山監督所方面に於て交通勤務中の小

新竹廳巡查 勳八等	柳市治	福岡縣浮羽郡江南村 大字新治一四四六	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳警部 勳七等	太田角太郎	愛媛縣宇摩郡小富士 村大字藤原九	靖國神社合祀 建功神社合祀
樹杞林支廳	塚本伊三郎	石川縣石川郡野々市 村一三	靖國神社合祀 建功神社合祀
桃園廳巡查 勳八等	畠中彌久松	高知縣高知市浦戸町 一〇	靖國神社合祀 建功神社合祀
大嶽嶽支廳	新井友吉	群馬縣北甘樂郡一ノ 宮町大字宮崎四六〇	靖國神社合祀 建功神社合祀
桃園廳巡查 勳八等功七級	弓削靜雄	福岡縣嘉穂郡上原渡 村大字阿恵二三四	靖國神社合祀 建功神社合祀
大嶽嶽支廳	揚井榮太郎	山口縣美彌郡綾木村 二九一	靖國神社合祀 建功神社合祀
宜蘭廳巡查 勳八等			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
樹杞林支廳			

野寺巡查が狙撃され十月十八日には李嶺山砲臺の南方に於て渡邊巡查が  
 二十二日には河野巡查が上野山上に於て二十六日には大岡分遺所の水源  
 地にて松本巡查が狙撃を蒙り戦死したが大體所期の目的を達したので前  
 進隊は解散せられたが其後十一月二十九日には兇蕃二、三李嶺山監督所  
 を襲ひ畑巡查が狙撃せられ即死する等のがあつた、この前進の前後  
 を通じ警部以下隘勇人夫に至る者の戦死は七十九名負傷六十五名の多き  
 に達して居る。

新竹廳巡查 正八位勳六等	中庸	石川縣能美郡山上村 字湯屋下五三	靖國神社合祀 建功神社合祀
樹杞林支廳	片寄末藏	福島縣石城郡大浦村 大字大森七六	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡查	乘嶺榮次郎	富山縣富山市宇泉町 八七九	靖國神社合祀 建功神社合祀
樹杞林支廳	力留吉	熊本縣八代郡高田村 大字豊原二六一七	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡查 勳七等	渡邊末太郎	大分縣西國東郡中真 玉村四九六	靖國神社合祀 建功神社合祀
樹杞林支廳	小野寺房治	宮城縣遠田郡元涌谷 村上郡四三	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡查 勳八等功七級	渡邊襲三郎	宮城縣黒川郡富谷村 富谷一〇九	靖國神社合祀 建功神社合祀
樹杞林支廳			

第二部 蕃地に於ける殉職者



第二部 蕃地に於ける殉職者

<p>明治四十四年八月四日警戒勤務中部内茅野附近に於て出草番人十餘名と交戦々死した。</p>	<p>明治四十四年八月十五日所内執務中兇蕃の狙撃を受けて戦死した。</p>	<p>明治四十四年八月十三日大克山分遣所補助中出草番人と交戦々死した。</p>	<p>明治四十四年八月十五日阿嶺警察部補(後警部に昇進)として管内巡視の爲め蚊蟀附近溪流徒涉中溺死した。</p>
<p>新竹廳巡查 勳八等 樹杞林支廳</p>	<p>新竹廳巡查 勳八等 樹杞林支廳</p>	<p>南投廳巡查 埔里社支廳田 口原分遣所</p>	<p>阿嶺警察部 羅東支廳カイ カイ駐在所</p>
河野 信久	松本 速士	畑 忠二	藤井 大三郎
大分縣大野郡西大野村三〇	大分縣宇佐郡津房村東推屋二五一	兵庫縣印南郡上莊村ノ内國包村三〇三	德島縣名東郡新居村大字北新居四五
二十六歳	二十九歳	二十六歳	三十五歳
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀

<p>明治四十四年八月十九日隘勇給交付の爲め部内第一隘寮へ向け出發途中兇蕃の襲撃を受け同行上村巡查外隘勇二名と共に交戦々死した。</p>	<p>明治四十四年八月二十一日隘勇(後巡查補に昇進)として上野山附近警備中兇蕃の襲撃を受け戦死した。</p>	<p>明治四十四年八月三十一日大暴風雨の爲め寮舎と共に流失溺死した。</p>	<p>明治四十四年九月一日大暴風雨の爲め寮舎と共に流失溺死した。</p>	<p>明治四十四年九月三日出張の歸途饒々溪を徒涉せんとして溺死した。</p>	<p>明治四十四年九月九日交通勤務としてハボン監督所に赴く途中出草番人の襲撃を受け戦死した。</p>
<p>臺中廳巡查 東勢角支廳稍 來監督所</p>	<p>東勢角支廳稍 來監督所</p>	<p>新竹廳巡查 北埔支廳蕃地</p>	<p>新竹廳巡查 樹杞林支廳清 流分遣所</p>	<p>花蓮港廳巡查 璞石閣支廳卓 溪駐在所</p>	<p>南投廳巡查補 埔里社支廳白 狗監督所</p>
山路 善市	上村 長行	巫 阿水	佐々木 朝一	宮崎 與一	有村 百助
鹿兒島縣始良郡帖佐村字西餅田三	鹿兒島縣薩摩郡高城村藁之浦三四	新竹廳北一堡大坪庄土名内大坪七一	山口縣下關市後地村一三七二	佐賀縣佐賀郡東與賀村大字下古賀三〇九	鹿兒島縣指宿郡喜入村字前ノ濱三七六
二十五歳	二十七歳	十八歳	二十三歳	二十六歳	三十一歳
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀

第二部 蕃地に於ける殉職者







第二部 蕃地に於ける殉職者

<p>明治四十四年十月三十日臺中應東勢角支應樞機分遣所線外に於て土谷巡査と共に地雷埋没中爆發死亡した。</p>	<p>桃園應巡査 大嶽嶽支應 臺中應巡査 勳八等 東勢角支應</p>	<p>國分長作 二十八歳</p>	<p>福島縣安達郡和木澤村和田</p>	<p>建功神社合祀</p>
<p>明治四十四年十月三十一日附近道路作業中潜伏せる兇蕃の狙撃を受け戦死した。</p>	<p>桃園應巡査補 大嶽嶽支應 原監督所</p>	<p>頼大 三十三歳</p>	<p>桃園應海山堡大嶽嶽街土名草店尾街七一</p>	<p>建功神社合祀</p>
<p>明治四十四年李嶺山方面前進に参加中十一月十六日戦傷死した。</p>	<p>桃園應巡査 大嶽嶽支應</p>	<p>佐藤音次郎 三十六歳</p>	<p>東京市小石川區林町五五</p>	<p>建功神社合祀</p>
<p>明治四十四年十二月六日交通の歸途ビライ溪岸に於て出草蕃人の爲め狙撃せられ即死した。</p>	<p>新竹應巡査 勳八等 樹杞林支應 羅山監督所</p>	<p>山崎嘉作 三十八歳</p>	<p>佐賀縣杵島郡武雄町三九九九</p>	<p>靖國神社合祀 建功神社合祀</p>
<p>明治四十四年十二月十六日吉嶺、大場、川津の三巡査を伴ひ公用參應の途中カバカン溪輸送路に於て兇蕃の狙撃を受け巡査三名は即死し小林警</p>	<p>桃園應警部兼 新竹應警部 樹杞林支應大 田山監督所 新竹應巡査 勳七等 大嶽嶽支應大 田山監督所</p>	<p>小林留藏 三十七歳</p>	<p>福岡縣小倉市費町二九</p>	<p>靖國神社合祀 建功神社合祀</p>
<p>部補(後警部に昇進)は自傷治療中翌四十五年一月二十七日死亡した。</p>	<p>新竹應巡査 勳八等 樹杞林支應 地 新竹應巡査 樹杞林支應蕃 地</p>	<p>大場藤市 三十歳</p>	<p>靜岡縣磐田郡今井村小山四</p>	<p>靖國神社合祀 建功神社合祀</p>
<p>明治四十四年十二月十九日北埔隘勇線に勤務中ウイリン第二分遣所附近に於て鐵條網に接觸震死した。</p>	<p>花蓮港應巡査 警務課 勳八等 花蓮港應巡査 勳八等 警務課</p>	<p>鈴木由之助 三十四歳</p>	<p>千葉縣安房郡鴨津村沼九四五</p>	<p>建功神社合祀</p>
<p>明治四十五年一月四日枯木分遣所及コウライ分遣所間にて鐵條網に接觸震死した。</p>	<p>桃園應巡査 勳八等 大嶽嶽支應蕃 地</p>	<p>末廣玉治 二十九歳</p>	<p>岡山縣和氣郡三石町大字野谷一六四</p>	<p>建功神社合祀</p>
<p>明治四十五年一月六日鐵條網踏踏中兇蕃の狙撃を受けて戦死した。</p>	<p>宜蘭應巡査 勳八等 羅東支應蕃地 新竹應巡査 樹杞林支應李 嶺山監督所</p>	<p>小野彦三郎 三十六歳</p>	<p>宮城縣仙臺市通町三八</p>	<p>靖國神社合祀 建功神社合祀</p>
<p>明治四十五年一月十三日烏帽山脚分遣所附近にて鐵條網踏踏中接觸震死した。</p>	<p>羅東支應蕃地 新竹應巡査 樹杞林支應李 嶺山監督所</p>	<p>赤坂嘉七 三十六歳</p>	<p>佐賀縣杵島郡須古村字湯崎二〇一</p>	<p>建功神社合祀</p>
<p>明治四十五年一月二十日部内警戒勤務中兇蕃の狙撃を受け戦死した。</p>	<p>新竹應巡査 樹杞林支應李 嶺山監督所</p>	<p>山本龜吉 三十二歳</p>	<p>靜岡縣安倍郡清水町字新田九四ノ一</p>	<p>靖國神社合祀 建功神社合祀</p>

第二部 蕃地に於ける殉職者

<p>明治四十四年十二月十九日北埔隘勇線に勤務中ウイリン第二分遣所附近に於て鐵條網に接觸震死した。</p>	<p>桃園應巡査 勳八等 大嶽嶽支應蕃 地</p>	<p>末廣玉治 二十九歳</p>	<p>岡山縣和氣郡三石町大字野谷一六四</p>	<p>建功神社合祀</p>
<p>明治四十五年一月四日枯木分遣所及コウライ分遣所間にて鐵條網に接觸震死した。</p>	<p>宜蘭應巡査 勳八等 羅東支應蕃地 新竹應巡査 樹杞林支應李 嶺山監督所</p>	<p>小野彦三郎 三十六歳</p>	<p>宮城縣仙臺市通町三八</p>	<p>靖國神社合祀 建功神社合祀</p>
<p>明治四十五年一月十三日烏帽山脚分遣所附近にて鐵條網踏踏中接觸震死した。</p>	<p>羅東支應蕃地 新竹應巡査 樹杞林支應李 嶺山監督所</p>	<p>赤坂嘉七 三十六歳</p>	<p>佐賀縣杵島郡須古村字湯崎二〇一</p>	<p>建功神社合祀</p>
<p>明治四十五年一月二十日部内警戒勤務中兇蕃の狙撃を受け戦死した。</p>	<p>新竹應巡査 樹杞林支應李 嶺山監督所</p>	<p>山本龜吉 三十二歳</p>	<p>靜岡縣安倍郡清水町字新田九四ノ一</p>	<p>靖國神社合祀 建功神社合祀</p>



第二部 善地に於ける殉職者

明治四十五年一月二十三日鐵條網復舊工事從事中兇番の狙撃を受け戦死した。

桃園廳巡查 大嶽峽支廳 所レック監督	筑紫猛	熊本縣熊本市新屋敷町六二八 三十二歳	建功神社合祀
宜蘭廳巡查	志岐末作	佐賀縣神崎郡仁比山村字鶴八八〇 二十八歳	靖國神社合祀
羅東支廳	富家平八	熊本縣臺北郡二見村大字洲口一〇八一 三十五歳	靖國神社合祀
新竹廳巡查 勳八等	石井國之助	岩手縣上閉伊郡大槌町六三 二十四歳	靖國神社合祀
大湖支廳	佐藤俊平	宮城縣志田郡松山町字金谷九 二十八歳	靖國神社合祀
新竹廳巡查	佐藤直一	愛知縣名古屋市中區裏門前町二八一 三十一歳	靖國神社合祀
樹杞林支廳	村山茂吉	佐賀縣三養基郡田代村大字田代三八七 二十九歳	靖國神社合祀
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			
羅東支廳			
新竹廳巡查			
大湖支廳			
新竹廳巡查			
樹杞林支廳			
宜蘭廳巡查			







第二部 善地に於ける殉職者

<p>明治四十五年二月二日兇番捜索中、之と衝突、敵弾に中りて戦死した。</p>	<p>明治四十五年二月十一日鐵條網路線巡視中兇番の狙撃を受け戦死した。</p>	<p>明治四十五年二月十五日桃園應善地に赴援、バロン砲臺にて警戒中番人の狙撃を受け戦死した。</p>	<p>明治四十五年二月十八日ラ、溪監督所附近に於て誤て鐵條網に接觸震死した。</p>	<p>明治四十五年三月三日常盤分道所附近に於て誤て鐵條網に接觸震死した。</p>
<p>宜蘭廳巡查 羅東支廳 新竹廳警部補 大湖支廳</p>	<p>宜蘭廳巡查 動七等功七級 叭哩沙支廳 宜蘭廳巡查 叭哩沙支廳番 地</p>	<p>臺北廳巡查 動八等 警務課</p>	<p>桃園廳巡查 大崙嶽支廳</p>	<p>宜蘭廳巡查 羅東支廳常盤分道所</p>
西川雄次	初道與三之丞	石井德太郎	石田二郎	小關利四郎
<p>石川縣石川郡安原村 字專光寺新丙三 三十一歳</p>	<p>石川縣鹿島郡南大吞 村字黑崎工部三〇 四十一歳</p>	<p>千葉縣君津郡駒山村 大字志駒六〇四 三十二歳</p>	<p>千葉縣香取郡大倉村 五 二十七歳</p>	<p>山形縣南村山郡中川 村大字金谷一 二十五歳</p>
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀

<p>明治四十五年三月五日深夜番害事件の爲め急行應援途中橋梁より墜落死亡した。</p>	<p>明治四十五年三月三十一日東勢角支廳善地北高地砲臺警備從事中兇番の狙撃を受け戦死した。</p>	<p>明治四十五年四月十一日鐵條網取扱中誤て感電震死した。</p>	<p>明治四十五年四月十二日普通試験受験の歸途白狗監督所附近に於て兇番の狙撃を受けて即死した。</p>	<p>明治四十五年四月十五日交通勤務中ヤバカン溪に於て兇番の狙撃を受け戦死した。</p>	<p>明治四十五年四月十七日部内に於て作業從事中兇番の狙撃を受け負傷翌十八日死亡した。</p>	<p>南投廳下の白狗マレフバ番に對しては明治四十四年中憲社方面の各社を</p>
<p>阿嶽廳警部 勳七等 甲仙埔支廳</p>	<p>臺中廳巡查 東勢角支廳</p>	<p>桃園廳巡查 大崙嶽支廳</p>	<p>臺中廳巡查 東勢角支廳</p>	<p>新竹廳巡查 樹杞林支廳 口山監督所</p>	<p>桃園廳巡查 大崙嶽支廳 原監督所</p>	<p>新竹廳巡查 動八等 樹杞林支廳</p>
村山次郎	櫻田守衛	島田利隆	今井定次郎	本田廣	柴田鐵郎	高橋幾助
<p>宮城縣遠田郡湧谷町 三五〇 三十九歳</p>	<p>宮城縣桃生郡廣淵村 米ヶ崎一二七 二十九歳</p>	<p>新潟縣西頸城郡浦本 村字中宿一〇八 二十八歳</p>	<p>福島縣若松市屋敷町 二六 四十一歳</p>	<p>熊本縣上益城郡瀧川 村字邊田見五六八 二十六歳</p>	<p>福岡縣嘉穂郡島郷村 頓田五五〇 二十六歳</p>	<p>廣島縣深安郡春日村 能島甲四九七 二十六歳</p>
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀

第二部 善地に於ける殉職者







第二部 蕃地に於ける殉職者

明治四十五年五月十三日交通途中部に於て兇蕃の狙撃を受け戦死した。	新竹廳巡查 樹杞林支廳李 嶺山監督所	劉清連	南投廳埔里社堡牛眠 山庄四三	建功神社合祀
明治四十五年五月十五日鐵條網路線故障除去中誤て感電震死した。	花蓮港廳巡查 馬里勿分遣所	水田豊太郎	岐阜縣吉城郡河合村 七一〇	建功神社合祀
明治四十五年五月十九日線外伐採中誤て埋没地雷に觸れ爆死した。	桃園廳巡查補 勳八等 ヲラ溪監督所	張阿遑	桃園廳竹北二堡大平 山庄土名丸二〇七	建功神社合祀
明治四十五年五月二十四日鐵條網路線踏査中兇蕃の狙撃を受け戦死した。	新竹廳巡查 樹杞林支廳ナ ロ山監督所	立花寛録	山梨縣北巨摩郡神山 村四〇	靖國神社合祀
明治四十五年五月二十六日パロン山附近水汲警戒中兇蕃の狙撃を受けて戦死した。	桃園廳巡查補 大嶽峽支廳蕃	張王桂	桃園廳海山堡成福庄 土名成福三四九	建功神社合祀
明治四十五年五月二十七日部に於て鐵條網路線踏査中誤て感電震死した。	宜南廳巡查 勳八等功七級 叭哩沙支廳	佐矢繼三郎	大分縣宇佐郡南院内 村大字下惠良二〇五	建功神社合祀

明治四十五年五月三十日測量隊材料蒐集中誤て鐵條網に接觸震死した。	桃園廳巡查 ヒヤワン原野 駐在所	井村鎌太郎	金澤市大手町三七	建功神社合祀
明治四十五年五月三十日線外伐採作業中兇蕃の狙撃を受け戦死した。	花蓮港廳巡查 勳八等功七級 茄茨林分遣所	鹽田千代吉	香川縣三豊郡詫間村 大字詫間七四七	靖國神社合祀
明治四十五年六月十二日蕃情不穩の爲め急援途中シブナオ社附近に於て兇蕃の狙撃を受け戦死した。	桃園廳巡查 大嶽峽支廳カ ウボ1註在所	三根英雄	長崎縣東彼杵郡彼杵 村四六三	靖國神社合祀
明治四十五年六月二十二日部内第九分遣所附近に於て作業中兇蕃の狙撃を受け戦死した。	桃園廳巡查 大嶽峽支廳蕃	須永藤吉	群馬縣佐波郡采女村 字下瀨名二七四八	靖國神社合祀
明治四十五年六月二十四日暴風被害報告の爲め白狗に赴きマシトバオン溪にて溺死した。	南投廳巡查 勳八等 埔里社支廳マ リコワン監督 所	鈴木一順	宮城縣宮城郡喜田村 荒卷字伊勢神明八	建功神社合祀
明治四十五年七月六日給水路の調査に赴き兇蕃の狙撃を蒙り戦死した。	臺東廳巡查 直轄暇未駐在 所	牧熊吉	大分縣大分郡由布川 村大字古野一二	靖國神社合祀
明治四十五年七月十六日交通途中ナロ山監督所附近に於て兇蕃の狙撃を受け戦死した。	新竹廳巡查 樹杞林支廳蕃 地	梶本政太郎	兵庫縣揖保郡新宮村 立町六七	靖國神社合祀

第二部 蕃地に於ける殉職者



第二部 蕃地に於ける殉職者

明治四十五年七月十二日給水路警戒中兎番の狙撃を受け辻大場兩巡査共に戦死した。	桃園巡査 大嶽支應バ ロン砲臺	大野益美	千葉縣印旛郡木下町 字平岡一〇九	靖國神社合祀
明治四十五年七月二十三日部内鐵條網路線調査の際誤て接觸死した。	桃園巡査 勳八等 大嶽支應バ ロン砲臺	辻嘉一	佐賀縣佐賀郡兵庫村 字瓦町一〇〇	靖國神社合祀
明治四十五年七月二十五日大湖支應へ下山途中大湖溪附近に於て兎番の射撃を受け戦死した。	新竹巡査 勳八等 大湖支應盡尾 坂監督所	佐藤修治	宮城縣栗原郡玉澤村 太澤五	靖國神社合祀
大正元年八月十四日部内鐵條網路線調査中誤て感電震死した。	宜蘭巡査 勳八等 大元分遺所	熊谷大作	宮城縣志田郡鹿島郷 村大字平渡一	靖國神社合祀
大正元年八月二十日鐵條網故障除去中誤て感電震死した。	花蓮港巡査 勳七等 壽山線谷松分 遺所	黒木義徳	宮崎縣兒湯郡高鍋町 北高鍋一四	靖國神社合祀
大正元年八月二十一日蕃情不穩の報あり石川警部補管内視察中稍來線崩	臺灣總督府警部 兼臺中警部 勳七等 東勢角支應稍 來監督所	石川周藏	宮城縣黒川郡大衛村 二五	靖國神社合祀

山附近にて蕃人の狙撃を蒙り負傷治療中二十七日死亡（後警部に昇進） 隨行せし兩鈴木巡査も共に戦死を遂げた。	臺中巡査 東勢角支應	鈴木八重次郎	福岡縣田川郡大任村 大字今任原一〇二〇	靖國神社合祀
大正元年八月二十四日鐵條網復舊工事從事中誤て感電震死した。	新竹巡査 大湖支應積分 遺所	鈴木久作	宮城縣仙臺市南町二 七	靖國神社合祀
大正元年八月二十九日ピヤワン原野駐在所勤務中岩石崩壊し來り壓死した。	桃園巡査 勳八等 大嶽支應バ ロン監督所	村上續吉	熊本縣阿蘇郡永水村 永草一四八	靖國神社合祀
大正元年八月三十日赴任途中豪雨の爲め新武路溪徒涉中溺死した。	臺東巡査 勳八等 暇未駐在所	岩垂源十	長野縣東筑摩郡笹賀 村九八	靖國神社合祀
大正元年八月三十日鐵條網作業中蕃人の狙撃を受け戦死した。	桃園巡査 勳七等 カウイラン監 督所	岩間清治	宮城縣黒川郡富谷村 字富谷六六	靖國神社合祀
大正元年九月二日部内作業中毒蛇の咬傷を受け治療中四日死亡した。	新竹巡査補 北埔支應大窩 監督所	池阿丁	新竹縣竹北一堡草山 土名草山一八一	靖國神社合祀

第二部 蕃地に於ける殉職者



第二部 善地に於ける殉職者

大正元年八月及九月の二回に起つた大暴風は新竹樹林支廳管内の隘勇線に多大の損害を及ぼした。即ち電話線は切斷せられ道路は崩壊し橋梁は全部流失して交通は杜絶し鐵條網も通電不可能となつた。附近のマッコワシ蓄は未だ誠心恭順の意を表してゐなかつたので此の機に乗じタバホ、キナジー各社番人と力を費せ約四百名の一團を以て九月十一日早朝突如大田山砲臺を中心として其の左右數里に亘る各分遣所、隘寮を陥れて之を燒棄し所員を殺戮し更に要地に掩堡を築いて應援隊の來援を邀撃せる爲め被害數十名の多きに達した。即ち此日午前六時李嶺山監督所勤務の櫻岡、高岡の兩巡查は隘勇三名を隨へ交通として古山監督所に向ふたが八五山分遣所附近を過る頃潜伏せる兇番の狙撃を受け八五山分遣所より來援の巡查隘勇と共に防戦したが衆寡敵せず戦死を遂げた。此時兇番の一團は李嶺山、田勝山、ナロ山一帶二里十有餘町の警戒線を襲撃したものであるが李嶺山監督所の綿引警部補(警部に昇進)は給水分遣所の危殆に陥りしを知り部下巡查隘勇を率ひて赴援したが途中兇番の包圍襲撃を受け高塚、林、吉田、後藤、角田、河野、橋本、野上、大森、堤、峰崎の各巡查及鐘巡查補と共に戦死を遂げ龍本巡查(警部)は九月五日死亡、給水分遣所の龜田巡查山田分遣所の池田、原田、佐野の三巡查川中分遣所の吉岡巡查勇敏分遣所の片柳巡查も同日兇番の毒刃に産れた。この警備線の惨事は直に應の知る處となり三次に亘り總計八百餘名の應援隊が派遣せられこれが奪還に努めたが九月十七日には李嶺山監督所の神村巡查が戦死し同十九日は渡邊巡查が李嶺山南方前進地の衝突で戦死し更に二十八日には澤田巡查が佐藤分遣所附近に於て、三十日には同所電話線補修中の吉田巡查が潜伏番人の狙撃を受けて即死するに至

新竹廳巡查 樹林支廳李嶺山監督所 勳八等	新竹廳巡查 樹林支廳大田山分遣所	新竹廳巡查 樹林支廳李嶺山監督所	新竹廳巡查 樹林支廳李嶺山分遣所	新竹廳巡查 樹林支廳李嶺山監督所	新竹廳巡查 樹林支廳大田山分遣所	新竹廳巡查 樹林支廳
櫻岡 信榮	高岡 富二郎	綿引 惠藏	高塚 清太郎	林 源次郎	吉田 嘉右衛門	後藤 喜一郎
栃木縣那須郡太田原町八 三十歳	千葉縣香取郡香西村 觀音二七七 二十七歳	秋田縣秋田市橋山本 新町上丁五 三十五歳	熊本縣飽託郡鏡塘村 四三五 二十四歳	栃木縣安蘇郡三好村 大字大字戸室四三五 二十五歳	福島縣石城郡江名村 字折戸四五 二十八歳	熊本縣飽託郡藤富村 藤富 二十五歳
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀

つた。この外負傷亦之に倍するの多數に及び一應全線の回復は成つたが當局は兇暴なる所なき兇番の膺懲を爲さざるべからずと爲して十月二日以降七箇部隊警視以下總計一千三百名に垂んとする討伐隊を編成前進行動を開始した。前進隊中左翼隊は江口警部之を指揮し李嶺山監督所直下より東南方稜線を傳ふてマッコワシ溪畔に下り他の一半は右翼隊として永田警視之を指揮し大田山砲臺下より西南方稜線を大鞍部に向て進み左折して稜線を傳ひマッコワシ溪に下り同溪左岸に沿ふて進み善社の幾部を包容し李嶺山より進出する部隊と連絡するを目的とし行動開始を爲したが敵は險要に據り掩堡を築き又は巧に地物を利用して我隊を遊撃するに至つた。之が爲め左翼隊にありては十月四日、大田山西南方稜線に於て大岡、海上、君、松崎、江口、渡邊、佐藤、山元、中川の諸巡查並に李巡查補が戦死し、翌五日には東山巡查が、六日には佐々木警部が、同八日には第三部隊第一分隊長山警部補が戦死(警部となり十八日發喪)第一部隊第一分隊長長平警部補(警部に昇進十四日に發喪)草野巡查が負傷(警部補に昇進、十五日死亡)した外鶴澤、岡部、平賀、本田、久保田、武山、清水、木村、和田、吉田、向山、安廣、平本、澁谷の各巡查が戦死し、十八日も大沼巡查が産れた。

一方右翼隊の苦戦も之に劣らぬものがあつたので十月八日には松藤巡查が李嶺山東南方稜線に於て陣地構築中戦死したのを手始めに十四日には佐々木巡查が十六日には伊藤巡查が十七日には第五部隊長福屋警部が二十日には酒井巡查が二十四日には柴田巡查が十一月四日には中村巡查が九日には中川巡查(警部補に昇進、二十一日死亡)横田、松下、内田、石橋、増永、堤、小山、森重、絲川、和田、竹崎、佐藤、櫻井、田代の

新竹廳巡查 樹林支廳	新竹廳巡查 樹林支廳	新竹廳巡查 樹林支廳	新竹廳巡查 樹林支廳	新竹廳巡查 樹林支廳	新竹廳巡查 樹林支廳	新竹廳巡查 樹林支廳
角田 録良	河野 治三郎	橋本 吉治	野上 房五郎	大 森 開	堤 岩 吉	峰 崎 次吉
福島縣石川郡渡川村 大字東大畑字再見形 二九 二十七歳	千葉縣長生郡豐岡村 大字南吉田三七七 二十三歳	大分縣下毛郡小楠村 六六二 三十四歳	山口縣厚狭郡厚西村 七〇三番屋敷 三十一歳	宮城縣仙臺市大町五 丁目新町六 二十八歳	三重縣志摩郡磯部村 字山田三二〇ノ一 三十歳	鹿児島縣肝屬郡内之 浦村南方一二九 二十六歳
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀

第二部 善地に於ける殉職者



第二部 蕃地に於ける殉職者

諸巡査が戦死し十三日には小柳巡査が十六日には酒井警部補が負傷（警部に昇進二十七日死亡）十九日には菅野警部補が負傷（警部に昇進三十日死亡と發表）細山田巡査が二十七日には片山巡査が二十九日には林鈴木の兩巡査が二十四日には西井巡査が兇弾に斃れてゐる。曩は各部隊の苦戦に陥り死傷者相續ぐに至るや計畫の一部を變更して左翼隊先頭附近の地より左方に轉出し南方稜線を下り小森山を経て連絡點に向はしむることになつたがこの部隊に於ても小森山占領の戦に少からぬ犠牲者を出して居る、即ち野田部長が十月十六日戦死（二十一日發表）島田警部補も戦死（警部となり二十四日發表）園田、義者、木下、荒内、南、足立の諸巡査徳富隆勇（巡査に昇進）が戦死し次いで二十七日には敵番更に襲來三神巡査負傷（警部補となり十一月一日死亡）十一月二日海野警部補が負傷（警部となり十二月死亡）同月四日には駕足巡査が戦死するに至つた、本隊勇線前進に於てウライ山は尤も形勢なる地位を占めてゐるので十一月十七日永田隊長は同山頂の占領を命令した、即日行動開始翌十八日諸隊呼應して之を占領したが此の戦闘並に陣地維持中にも警察隊の死傷は尠くなかつた。十八日に小林、福田（市太郎）福田（金左衛門）笠井の四巡査が戦死した外二十日には高塚巡査が二十一日に福山巡査が二十日中には中島巡査が戦死を遂げた。

ウライ山頂の占領ありたる後前進隊は二十九日より行動開始してマメー山を占領し兩山の連絡を遂げたのであるがマメー山占領行動にも屢々兇蕃の頑抗を受け十一月三十日には石塚巡査が十二月一日には村井隆勇伍長（巡査に昇進）が四日には紫谷巡査が五日には伊藤、中野兩隆勇伍長（共に巡査に昇進）が六日には山本巡査十三日には野口隆勇伍長（巡査

新竹廳巡査補 樹杞林支廳	鍾木清	新竹廳北一堡柯仔湖庄一三六	建功神社合祀
新竹廳巡査 樹杞林支廳李 嶺山監督所	瀧本三四郎	茨城縣猿島郡中川村大字長谷六五四	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡査 勳八等 樹杞林支廳給 水分遺所	龜田彌八	福島縣雙葉郡浪江町大字權現堂字新町六	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡査 勳八等 樹杞林支廳山 田分遺所	池田恭藏	秋田縣秋田市本町五ノ一七	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡査 樹杞林支廳山 田分遺所	原田秀則	熊本縣菊池郡加茂川村大字砂田一六〇七	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡査 樹杞林支廳山 田分遺所	佐野光燦	埼玉縣人間郡原市場村大字中藤下郷二六	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡査 樹杞林支廳川 中分遺所	吉岡良七	佐賀縣杵島郡佐留志村大字惣領分六一	靖國神社合祀 建功神社合祀

に昇進）が戦死を遂げてゐる。

以上の外マリコワン前進隊に参加し或は同方面駐在所等に勤務警戒中殉職を遂げたものは尠くない。即ち十月五日にはマリコワン線敵社分遺所の水波警戒中の石丸、多邊田の兩巡査及宜蘭廳より來援中の楠井巡査並川久保巡査が何れも蕃人の狙撃を受けて李嶺山に於て戦死した。此日李嶺山救援班にて死亡した佐伯巡査は前日隆勇線燒拂從事中全身に火傷を負ふたものである。十一日には樹杞林支廳内横屏山監督所南角分遺所の藤山巡査が線内伐採中を狙撃せられ即死し十二月一日には豪中廳より來援の森警部補が戦死（警部に昇進十二月に死亡）し、十二月八日には村上隆勇伍長（巡査に昇進）が戦闘中擲弾に依つて死亡し、十二月十七日にはマメー山高地にて作業中の元田巡査が牛角分遺所の東村政太郎巡査が線外伐採中兇蕃の狙撃を受けて負傷三十一日に死亡して居る。兎に角大田山蕃變以來之が回復並に隆勇線の前進終了迄に隆勇人夫を合すれば戦死のみにて二百五名、戦傷二百八十餘名の多きに達してゐる。十二月一應解除したが仍俊山マリコワン蕃及キナジー蕃等は未だ全く歸順するに至らないので一千餘名を以てする特別警備隊を配置して之に備へた。

新竹廳巡査 樹杞林支廳勇 職分遺所	片柳順一郎	栃木縣下都賀郡栃木町大字沼和田	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡査 樹杞林支廳李 嶺山監督所	神村勘太郎	群馬縣碓氷郡東横野村大字鷲宮四〇七	靖國神社合祀 建功神社合祀
桃園廳巡査 警務課	渡邊要	宮城縣志田郡鹿島臺村萬塚二〇八	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡査 樹杞林支廳	澤田了	熊本縣菊池郡城北村大字木野三三四	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡査 樹杞林支廳バ スコワラン監 督所	吉田緒雄	熊本縣鹿本郡櫻井村字滴水四八	靖國神社合祀 建功神社合祀
阿蘇廳巡査 警務課	大岡利三	熊本縣八代郡八代町一四三	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡査 樹杞林支廳	海上良藏	宮城縣名取郡館腰村飯野坂平方八一	靖國神社合祀 建功神社合祀

第二部 蕃地に於ける殉職者



新竹廳巡查 樹杞林支廳	君 强次郎	新潟縣新潟市寺裏通 リ一番町二四六	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡查 樹杞林支廳	松崎 茂作	熊本縣八代郡八代町 字袋小路一七九	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡查 樹杞林支廳	江口 藤七	新潟縣新潟市曙照町	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡查 樹杞林支廳	渡邊 寛治	宮城縣遠田郡南郷村 樋口屋敷一八	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡查 樹杞林支廳	佐藤 東五郎	宮城縣黒川郡富谷村 明石字上向田一五	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳巡查 樹杞林支廳	山本 新二	宮城縣北諸方郡庄内 村五八	靖國神社合祀 建功神社合祀
大湖支廳	中川 淺太郎	山口縣玖珂郡岩國町 大字錦見二六七八	靖國神社合祀 建功神社合祀
宜蘭廳巡查 警務課		三十一歳	建功神社合祀

新竹廳巡查 樹杞林支廳	李 阿旺	新竹廳竹北一堡南河 庄七九	建功神社合祀
新竹廳巡查 樹杞林支廳	東山 常雄	宮城縣桃生郡北村踏 返一ノ四一	靖國神社合祀 建功神社合祀
南投廳警部 理番課	佐々木 龍治	宮城縣遠田郡中埜村 平針八八	建功神社合祀
臺灣總督府警部 兼宜蘭廳警部 勳七等	諫山 幸太郎	福岡縣朝倉郡三奈木 村大字板屋六二	靖國神社合祀 建功神社合祀
叭哩沙支廳	氏 平廣雄	岡山縣久米郡坪和村 大字東坪和一四八九	靖國神社合祀 建功神社合祀
臺灣總督府警部 兼新竹廳警部 勳八等	草野 董八	熊本縣阿蘇郡黒川七 九	靖國神社合祀 建功神社合祀
新竹廳警部補 勳八等	鵜澤 秀松	千葉縣印旛郡本埜村 瀧二七九	靖國神社合祀 建功神社合祀
樹杞林支廳		三十二歳	建功神社合祀
新竹廳巡查 樹杞林支廳		二十八歳	建功神社合祀



宜蘭廳巡查 勳八等 警務課	新竹廳巡查	南庄支廳	宜蘭廳巡查 警務課	宜蘭廳巡查 警務課	宜蘭廳巡查 勳七等功七級 警務課	宜蘭廳巡查 警務課	宜蘭廳巡查 警務課	新竹廳巡查 勳八等	新竹廳巡查 樹杞林支廳	新竹廳巡查 樹杞林支廳	新竹廳巡查 樹杞林支廳
岡部 泰隆	平賀 澤吉	本田 吉太郎	久保田 重太	武山 八重治	清水 嘉三郎	木村 豊治					
宮城縣遠田郡南郷村 字和田沼五五 四十八歳	廣島縣賀茂郡志和堀 村四五七 四十四歳	福岡縣三池郡江浦村 大字江ノ浦七一六 二十七歳	岐阜縣養老郡廣幡村 大字岩道三〇 二十五歳	宮城縣桃生郡大谷地 村大字小船越一四〇 三十一歳	岡山縣淺口郡六條院 村大字六條院東一七 五六 二十五歳	宮城縣加美郡色麻村 大字黒澤土利増五〇 二十五歳					
靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀					

新竹廳巡查 勳八等	新竹廳巡查 樹杞林支廳	新竹廳巡查 樹杞林支廳	新竹廳巡查 樹杞林支廳	新竹廳巡查 樹杞林支廳	新竹廳巡查 勳八等	新竹廳巡查 樹杞林支廳	新竹廳巡查 樹杞林支廳	新竹廳巡查 樹杞林支廳	新竹廳巡查 樹杞林支廳	新竹廳巡查 樹杞林支廳	新竹廳巡查 樹杞林支廳
和田 雄一	吉田 喜八	向山 豊平	安廣 小吉	平本 十吉	澁谷 平藏	大沼 五十藏					
福島縣岩瀬郡長沼町 大字江花字中島二五 三十歳	宮城縣志田郡下伊場 野村一三五 二十八歳	山梨縣東山梨郡松里 村三九〇 二十九歳	鹿兒島日置郡永吉村 永吉一二八 二十七歳	熊本縣八代郡有佐村 字中島一二九八 三十四歳	宮城縣遠田郡湧谷町 六八一 二十八歳	山形縣北村山郡常盤 村大字六澤二五九 二十二歳					
靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀					



第二部 蕃地に於ける殉職者

宜爾應巡查 警務課	桃岡應巡查 大嶽塚支廳壹 原監督所	桃岡應巡查 警務課	桃岡應警部 正七位勳五等 大嶽塚支廳	宜爾應巡查 勳八等	警務課	新竹應巡查 樹杞林支廳	桃岡應巡查 大嶽塚支廳九 母駐在所
松藤辰次	佐々木雄隼	伊藤伊勢吉	福屋陽熊	酒井米吉	柴田富作	中村重義	
福岡縣山門郡大和 字垣開七〇七 二十五歳	愛媛縣伊豫郡原町村 大字麻生三二六 二十九歳	福岡縣糸島郡深江村 五六八 三十七歳	山口縣玖珂郡岩國町 大字川西一四八 四十一歳	熊本縣益城郡六嘉村 大字下六嘉三六一四 三十一歳	栃木縣上都賀郡落合 村長畑一一一 二十八歳	熊本縣阿蘇郡白水村 一關 二十六歳	
靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	

第二部 蕃地に於ける殉職者

宜爾應警部補 勳八等	羅東支廳	宜爾應巡查 警務課	宜爾應巡查 勳八等	警務課	宜爾應巡查 警務課	宜爾應巡查 勳八等功七級	宜爾應巡查 勳七等	警務課
中川吉三郎	横田彦太郎	松下量良	内田米吉	石橋隆	増永莊藏	操文治郎		
石川縣石川郡安原村 大字中屋目一八〇 三十一歳	熊本縣飽託郡春日町 大字萬日一九二三 二十五歳	香川縣大川郡松尾村 大字田面一 二十六歳	佐賀縣佐賀郡東川副 村大字大堂二三七 三十一歳	千葉縣山武郡陸岡村 大字埴谷二〇二〇 二十五歳	福岡縣八女郡福島町 大字本村四五六 三十一歳	宮城縣栗原郡高清水 町字臺町二 三十歳		
靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀		



第二部 蕃地に於ける殉職者

宜爾應巡查 警務課	宜爾應巡查 警務課	宜爾應巡查 警務課	宜爾應巡查 警務課	宜爾應巡查 警務課	宜爾應巡查 警務課	宜爾應巡查 警務課
小山勇二郎	森重武男	絲川武治	和田四嘉藏	竹崎慶太郎	佐藤圓吉	櫻井源九郎
大分縣宇佐郡東院內 村一六 二十七歲	大分縣東國東郡上國 崎村成佛四六 二十四歲	高知縣土佐郡江ノ口 町大川筋六〇 四十四歲	熊本縣鹿野郡小山戸 島村大字戸島四一四 三 二十五歲	熊本縣玉名郡川治村 大字内田六二〇 三十一歲	福岡縣伊達郡伏黒村 大字伏黒四一 二十九歲	宮城縣黒川郡鶴巢村 大字太平二八 二十八歲
靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀

第二部 蕃地に於ける殉職者

宜爾應巡查 警務課	宜爾應巡查 警務課	宜爾應巡查 警務課	宜爾應巡查 警務課	宜爾應巡查 警務課	宜爾應巡查 警務課	宜爾應巡查 警務課	宜爾應巡查 警務課	宜爾應巡查 警務課	宜爾應巡查 警務課	宜爾應巡查 警務課
田代米吉	小柳宗一	酒井喜代助	菅野市之助	細山田源助	片山糺一	林末次郎	東勢角支廳	東勢角支廳	東勢角支廳	東勢角支廳
佐賀縣神埼郡仁比山 村大字城原七三 二十九歲	佐賀縣佐賀市紺屋町 三五 二十六歲	宮城縣登米郡登米町 大字日根牛九八 三十八歲	福島縣伊達郡小島村 字東三四 二十九歲	鹿児島縣出水郡上出 水村上知識六四 三十五歲	香川縣香川郡鷺田村 大字勅使一三八四 二十六歲	鹿児島縣出水郡上出 水村字武本七六五四 四十歲	東勢角支廳	東勢角支廳	東勢角支廳	東勢角支廳
靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀







桃園應巡查 勳八等	桃園應巡查	大嶽嶽支應カ ウイラン監督 所	桃園應巡查	大嶽嶽支應パ ロン山監督所	桃園應巡查	大嶽嶽支應ラ ラ溪監督所	桃園應巡查	大嶽嶽支應バ ロン監督所	桃園應巡查 勳八等	大嶽嶽支應ラ ラ溪監督所	宜蘭應巡查	警務課		
小林勳美	福田市太郎	福田金左衛門	笠井芳太郎	高塚清次	福山猶助	中島和三郎	石塚春吉	村井直喜	紫合良輔	伊藤俊太郎	中野立藏	山本軍太	野口久平	
東京府南多摩郡元八 王子村八王子三〇三	福岡縣糸島郡元岡村 大字田尻四七九	鹿兒島縣始良郡西熊 山村嘉例川五二三	香川縣綾歌郡金山村 字福江一九二	熊本縣飽託郡鑛塘村 三〇九	佐賀縣杵島郡武雄町 武雄	福岡縣八女郡水田村 大字島田四一一	千葉縣東葛飾郡野田 町二六二	熊本縣下益城郡海東 村大字西海東一二六	兵庫縣川邊郡中谷村 大字紫合五三	廣島縣深安郡本庄村 一四五	熊本縣菊池郡下河原 村一五三	熊本縣飽託郡池上村 大字谷尾崎一三八	熊本縣菊池郡泗水村 大字豐水三一五	三十二歳
靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	

花連港應巡查 勳八等	璞石閣支應	花連港應巡查	警務課	新竹應巡查	樹杞林支應	花連港應巡查	警務課	花連港應巡查	警務課	桃園應巡查	大嶽嶽支應カ 原監督所	花連港應巡查	警務課
石塚春吉	村井直喜	紫合良輔	伊藤俊太郎	中野立藏	山本軍太	野口久平	警務課	花連港應巡查	警務課	桃園應巡查	大嶽嶽支應カ 原監督所	花連港應巡查	警務課
千葉縣東葛飾郡野田 町二六二	熊本縣下益城郡海東 村大字西海東一二六	兵庫縣川邊郡中谷村 大字紫合五三	廣島縣深安郡本庄村 一四五	熊本縣菊池郡下河原 村一五三	熊本縣飽託郡池上村 大字谷尾崎一三八	熊本縣菊池郡泗水村 大字豐水三一五	三十二歳	三十一歳	二十四歳	二十四歳	二十四歳	三十二歳	三十二歳
靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀	靖國神社合祀 建功神社合祀



南投應巡查	埔里社支應	南投應巡查	埔里社支應	宜蘭應巡查	警務課	桃園應巡查	大嶺嶽支應查 原監督所	宜蘭應巡查	警務課	新竹應巡查	樹杞林支應南 角分遣所	臺灣總督府警部 兼臺中廳警部 勳七等	東勢角支應牛 欄坑監督所
石丸光治	多邊田豪輔	楠井英一	川久保弘一	佐伯佐吉	藤山三熊	森喜太郎	福岡縣嘉惠郡大隈町 大字大隈九六五	千葉縣山武郡丘山村 小野五三七	和歌山縣那賀郡池田 村大字南勢田三七〇	佐賀縣西松郡東山代 村川内野一	岩手縣東盤井郡藤澤 村字柳平一五〇	鹿兒島縣鹿兒島郡伊 敷村上伊敷六二六	熊本縣菊池郡加茂川 村一六〇六
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	建功神社合祀	建功神社合祀	建功神社合祀	建功神社合祀	建功神社合祀	建功神社合祀	建功神社合祀

花蓮港應巡查	警務課	新竹應巡查	大湖支應卓蘭 派出所	新竹應巡查 勳八等	樹杞林支應牛 角分遣所	宜蘭應巡查 勳八等	宜蘭應巡查 勳八等	宜蘭應巡查 勳八等	臺中應巡查 勳八等	東勢角支應			
村上謙太郎	元田市太郎	東村政太郎	賀來常治	大江乙吉	結笹儀六	吉野種次郎	熊本縣菊池郡加茂川 村一六〇六	福岡縣久留米市篠山 町二五三	熊本縣上益城郡大島 村大字鯉一四〇七	大分縣宇佐郡院内村 大字齋藤五〇六	三重縣度會郡藤原村 大字始神二	佐賀縣小城郡小城町 五九二	千葉縣安房郡北三原 村上三原一五八七
靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	靖國神社合祀	建功神社合祀	建功神社合祀	建功神社合祀	建功神社合祀	建功神社合祀	建功神社合祀	建功神社合祀

大正元年九月十三日交通勤務中ピヤナン附近にて兇番の狙撃を受け戦死した。

大正元年九月十四日新竹廳下へ赴援途中清水、濁水の合流點徒涉場にて溺死した。

大正元年九月十七日桃園廳赴援の途中吉野巡查と共に角板山蕃童教育所にあつて暴風雨に遭遇應舎の倒壊に依り壓死した。